

# 官報

號外

明治三十九年二月二十三日

金曜日

印刷局

## ○第二十二回衆議院議事速記録第八號

明治三十九年二月二十二日(木曜日)午後一時五分開議

議事日程 第七號 明治三十九年二月二十二日

午後一時開議

第一 國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(長谷部純孝) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 市制中改正法律案(森田卓爾) 第一讀會

第六 町村制中改正法律案(森田卓爾) 第一讀會

第七 警視廳廢止ニ關スル建議案(江田俊一) 第一讀會

第八 精神病學科設置ニ關スル建議案(山根正次) 第一讀會

第九 (特別報告第一號)田租特免ノ請願外百九十三件 (委員長報告)

第十 (特別報告第二號)關稅輸入稅廢止ノ請願外一件 (委員長報告)

第十一 (特別報告第三號)關稅輕減及稅關檢查手續變更ノ請願 (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案

提出者 立川 雲平君 中西六三郎君

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

指定セラレタル委員左ノ如シ

民法施行法中改正法律案

宮古啓三郎君

田中定吉君

關信之介君

宅地地價修正法案外一件

江原 素六君

古賀 庸藏君

林 謙三君

矢島 浦太郎君

本出 保太郎君

初木 卿太郎君

入江 武一郎君

花井 卓藏君

澤田 佐助君

官報號外 明治三十九年二月二十三日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第八號 議長ノ報告

一〇三

橫井 甚四郎君 神前 修三君 湯山 壽介君  
林 小一郎君 小澤 愛次郎君 遠山 正和君  
川原 茂輔君 三輪 傳七君 鳥山 敬次郎君  
藤 金作君 三浦 盛徳君 大石 熊吉君  
尾形 兵太郎君 角田 眞平君 安念次左衛門君  
河井 重藏君 山口 達太郎君 佐々木 正藏君  
江藤 新作君 田寺 敬信君 小澤 龍藏君  
雄倉 茂次郎君 片山 正忠君 谷澤 龍藏君  
橫田 虎彦君 三井 忠藏君 七里 清介君  
持田 若佐君 島田 三郎君 淺野 陽吉君  
米田 實君 高木 龍藏君 岩本 晴之君  
地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案  
濱名 信平君 奥野 市次郎君 中西 六三郎君  
國井 庫君 星 松三郎君 野木 善三郎君  
福島 宜三君 松井 源内君 橋本 久太郎君  
鹽專賣法中改正法律案 鈴木 義雄君 久保 彦太郎君  
武滿 義雄君 鈴木 久次郎君 清水 隆徳君  
鈴木 友次郎君 是永 歲太郎君 小林 仲次郎君  
武市 庫太郎君 齋藤 珪次君 松浦 五兵衛君  
明治三十七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件 齊藤 珪次君 江藤 哲藏君  
森本 駿君 西山 彰君 天野 董平君  
中林 友信君 加藤 政之助君 大淵 龍太郎君  
青柳 信五郎君 福留 清四郎君 城 重雄君  
松原 九郎君 小川 平吉君 松本 大吉君  
兼松 輝君 飯島 省三郎君 中村 雄藏君  
加瀬 禪逸君 關口 安太郎君 星野 仙藏君  
渡良瀬川沿岸特別地價修正法律中改正法律案 山 森 隆君 永見 寛二君  
高橋 安爾君 飯島 省三郎君 日向 輝武君  
木村 半兵衛君 關口 安太郎君 松本 孫右衛門君  
武藤 金吉君 關口 安太郎君 朝倉 鐵藏君  
災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案 上野 彌一郎君 原田 鐵藏君  
長谷部 純孝君 阿部 德三郎君 宮部 武藏君  
遠藤 眞吉君 青地 雄太郎君 米田 武八郎君  
廣瀬 久政君 藤澤 幾之輔君 大野 久次君  
高橋 金治君 矢島 武徳君  
中谷 宇平君 菊池 武徳君  
大繩 久雄君 村松 愛藏君  
未成年者飲酒禁止法案外二件 根本 正君

山崎 眞純君 小田 文行君 合田 福太郎君  
丹尾 賴馬君 嶺山 時善君 富島 暢夫君  
東北三縣凶作地窮民救恤ニ關スル建議案  
遊田 研吉君 長 晴 登君 內山 吉太君  
佐藤 虎次郎君 福井 三郎君 平島 松尾君  
寺井 純司君 須藤 嘉吉君 萩野 左門君

委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案  
委員長 濱名 信平君 理事 福島 宜三君  
宅地地價修正法案外一件

委員長 江原 素六君 理事 片山 正中君  
民法施行法中改正法律案 理事 大石 熊吉君  
委員長 古賀 庸藏君 理事 川原 茂輔君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案  
委員長 長谷場 純孝君 理事 花井 卓藏君  
渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案

委員長 高橋 安爾君 理事 星野 仙藏君  
未成年者飲酒禁止法案外二件  
委員長 根本 正君 理事 小田 文行君

東北三縣凶作地窮民救恤ニ關スル建議案  
委員長 福井 三郎君 理事 佐藤 虎次郎君  
鹽專賣法中改正法律案  
委員長 島津 良知君 理事 小林 伸次君

明治三十七年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件  
委員長 加藤 政之助君 理事 松浦 五兵衛君  
小川 平吉君

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申スコトガアリマスガ、内貴甚  
三郎君病氣ニ付二月十四日ヨリ三週間ノ請暇ガ出テ居リマス、許シテ御異議ハゴサイ  
マセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ガ無イト認メマス、許スコトニ致シマス、北島具雄君  
病氣ニ付、二月二十一日ヨリ十日間ノ請暇ガ出テ居リマス、許シテ御異議ハゴサイマ  
セヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、齊藤良輔君病氣ニ付、二月二十  
一日ヨリ十日間ノ請暇ガ出テ居リマス、許シテ御異議ハゴサイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第一國債證券ノ取引所稅廢  
止ニ關スル法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第一 提出 國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律案 政府 第一讀會

(書記朗讀)

國債證券ノ取引所稅廢止ニ關スル法律案  
國債證券ノ定期賣買ニ付テハ取引所稅及非常特別稅ヲ課セス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 本案ハ公債ノ取引ヲ便宜ナラシメ、其價格ヲ  
成ルベク維持スルヤウニ致シマスルニハ、此取引所ノ取引ヲ盛シナラシムルコトニ必要  
要ラ感シマシテ、此法案ヲ提出致シマシタ次第ニゴザイマス、極メテ簡單ナル法律案デ  
ザイマス、御協賛ヲ仰ギタイト考ヘマス

○早速整肅君 今朝ト今ノ御説明ガ分ラナカッタデスガ、國債證券ノ價格ヲ維持ス  
ル必要ガアルコト云フヤウナ御言葉ガアツタヤウニ聴取リマシタ、ソレハドウ云フ次第デアル  
カ、モウ少シ詳シク御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ國債證券ノ取引ヲ圓滑ニスルコトニ必要  
ニ、此取引所稅ヲ免ズルコト云フコトノ必要ガアルカ、ドウカ、更ニ御尋致シタイノデアリマス  
ガ、モウ少シ詳シク其必要ヲ御辯明ヲ願ヒタイ

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 唯今此取引所ノ上ニ於キマシテハ、公債證券  
ノ取引コト云フモノハ殆ド無イノデ、稅ノ收入モ極メテ僅カナルデアリマス、ソレデ此公債  
證券ガ一體所持人ノ便利ヲ感シマスモ申シマスルノハ、取引所ニ於キマシテ盛ニ取引  
セラレテ、何時デモツレガ現金ニ變ルコトノ出來ルヤウナル便利ヲ持ツコト云フコトガ極メテ  
必要ナノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ收入モ殆ドナイヤウナ此稅デアリマス  
ノデ、之ヲ廢シマシテ取引所ノ公債證券ノ取引ノ今一層發達スルヤウニ期シタイト考ヘ  
マス、ソレ故ニ取引所ノ公債證券ノ取引ニ便宜ヲ與ヘルガタメニ、此稅ヲ廢シタイ、斯  
ウ云フ趣意デアリマス

○早速整肅君 今朝ト唯今ノ御説明ニ付イテ御伺ヒシタイノデアリマスガ、是マデ國債證  
券ノ取引コト云フモノガ、誠ニ僅カデタツコト云フコトハ、此課稅ガアツタメニ、國債證券  
ノ取引ガ僅カニ過ギナカッタコト云フデアアルカ、此取引所稅ヲ廢メシマハバ國債證券ノ  
取引コト云フコトガ盛ニナルコト云フ御推定デアアルカ、稅ガアツタメ尙且國債證券ト云フモ  
ノハ、今日以後ハ取引ガ盛ニナルコト云フ傾キガアルノデハナイカドウカ、ト云フノハ政府  
ハ昨年此開戰ノ當時ハ、國債證券ガ市場ニ於テ賣崩サレルト云フコトヲ憂ヘテ、ソレガ  
タメニ此取引所稅ト云フモノハ矢張課スル必要ガアルコト云フコトヲ御認メニナツタコト  
云フコトヲ聞イテ居ル、サウスルト公債ノ價格ヲ維持スルコト云フ必要ノ上カラ往ツテ、其課  
稅ヲ免ズルト云フコトハ、是ハ前内閣ノ話デゴザイマスルケレドモ、公債ノ賣崩シヲ憂フル  
ト云フ政府ノ御方針デアツタナラバ、却テ此課稅ヲ免ズルト云フコトガ、政府ノ御方針ト  
違ヒハシマイカ、國債證券ノ取引ヲ圓滑ニスルコト云フコトハ、唯課稅ヲ免ズルト云フコト  
デモツレ能フコト云フ、政府ノ御方針デアレバ、是マデノ御方針ト其間多少矛盾スルトコロ  
ガアリハシナイカト思フノデアリマス、其點ニ付イテ更ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此課稅ヲ免ズルト云フコトガ、國債證券ノ取  
引ヲ盛シナラシムルノ一ツノ手段ト考ヘマスノデ、即チ唯今デハ取引所ニ公債證券ノ上  
ルト云フノガ殆ドナイノデ、之ヲ盛シナラシメルニハ、此稅ト云フモノヲ撤去スルト云フ  
コトガ一ツノ手段デアラウ、之ヲ撤去スレバ總テノコトガ盛ニナルコトハ、政府ハ言ハヌノ

デアリマス、是が取引所ニ上ルコトヲ妨グルノ一ツノ原因ヲ爲シテ居ルト認メルカラ、其  
原因ヲ除イテ、成ルベク公債證書ノ盛ニ取引セラル、ヤウニ致シ、從テ公債證書ノ所  
持人ニ便宜ヲ與ヘルヤウニシタイ、斯ウ云フ趣意ナシテ、ツレバ此稅ヲ課シタト云フコトニ  
付イテハ、其事ノ研究ガ未ダ至ラナカッタ考ヘマスノデ、今日ニ於キマシテハ、是ハドウシ  
テモ撤去ノ必要ガアルト存ジマス

○議長(杉田定一君) 別ニ御質議モナイヤウデゴザイマス、日程第二、右議案ノ審査  
ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○元田肇君 本案ノ委員ヲ九名トシテ、議長ニ於テ指名アラシコトヲ望ミマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ通、委員九名、議長指名、御異議ハアリマセヌ  
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、元田君ノ發議通り決シマス、日程  
第三、陸海軍ニ關スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委  
員長報告

第三 陸海軍ニ關スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(野尻邦基君登壇)

○野尻邦基君 陸海軍ニ關スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案、此委  
員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ四回開會ヲ致シマシテ、質問又審議  
ヲ盡シマシタ、此臨時事件費ハ去ル二十七年ノ三月ニ臨時事件ノ終局ニ至ルマデハ、  
一會計年度ニシテ整理ヲ致スト云フ法律ガ、發布ニ相成テ居リマス、サウシテ他ニ更  
ニ此規定致シテ法律ト云フモノハ何モナイノデゴザイマスガ、今日ハ平和克復ニ至リマシ  
タノデ、此會計ヲ終結致シマスル其期日及整理ノ方法等ヲ定メルノハ最も必要ナル  
デアリマス、テ未ダ軍隊ノ凱旋ヲ致シテ居ラナイモノモアリマス、又其他陸海軍ニ關スル  
各種ノ事業ノ戰時中ニ著手ニナシテ居リマシタモノガ、終結致シテ居ラナイモノモアリマス  
ルガ、之ヲ四十年ノ三月三十一日マデノ猶豫ヲ與ヘマスレバ、大概終結ヲ告ゲルト云フ  
見込デアラ、此案ガ出來マシタノデゴザイマス、是ハ適當ナル法案ト認メマシタノデ、  
委員會デハ全會一致ヲ以テ原案ノ通可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

(委員長報告通「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 別段御議論モアリマセヌデ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコト  
ニ付イテ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ付イテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(賛成「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 元田君ノ發議ノ通、直ニ二讀會ヲ開クコトニ付イテ、御異議  
ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

陸海軍ニ關スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律 第二讀會  
案(政府提出)

○元田肇君 本案ノ委員會ノ經過ヲ見マシテモ、議場ノ有様ヲ見テモ、私ノ見ル所ニ  
據リマスルト、格別ノ御異議ハアルマイト思ヒマスカラ、二讀會ヲ省略シテ直チニ確定サ  
レンコトヲ希望致シマス

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 元田君ノ御發議通、二讀會ヲ省略シテ直チニ確定スルコトニ  
付イテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長ノ報告通、御異議ハアリマセ  
ヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○福井三郎君 日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、日程第九ノ特別報告ノ第一  
號ハ、東北三縣及群馬縣ノ凶作地ヨリ出願シタル、凶作地ノ地租特免ノ請願ニ係ルコ  
トデゴザイマス、其件數百九十三件ノ請願ハ、請願委員會ニ於テ其悲慘ノ狀況ニ鑑  
ミテ、悉ク採擇致シタノデゴザイマス、今日此報告ガ日程ニ上ッテ居ルノデゴザイマス、第  
四ノ日程ノ前ニ、此場合ニ於テ委員長ノ報告ヲセシメラシマシタナラバ、第四ノ日程  
アルトコロノ災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案ヲ議スルニ於キマシテモ、頗ル便宜  
メラレンコトヲ希望致シマス

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 福井君ノ御發議ノ通、日程ヲ變更セラレテ第九ノ第四ノ前ニ  
議ニ附スルコト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、第九ノ日程ヲ議題ト致シマス——  
竹越與三郎君

第九 (特別報告第一號)田租特免ノ請願外百九十三件(委員  
長報告)

(竹越與三郎君登壇)

○竹越與三郎君 私ハ宮城縣、巖手縣、福島縣及富山、群馬ノ二縣ヨリ出マシタ請  
願一百九十六件ノ報告ヲ一括シテ御報告申上ゲマス、此五縣ハ今年ハ明治三十五  
年ノ凶作ノ後ト承ケテ、サウシテ其凶作ノ模様ハ天保ノ凶作以來ノコトデアル、其悲  
慘ノ狀況ハ私が申上ゲルマデモナク、事實ハ最も雄辯ナル證據ヲ立テラレテ居ルコトデア  
リマス、請願委員會ハ滿場一致ヲ以テ此請願ヲ採擇スベキモノト決定致シタ次第デア  
リマス、ドウゾ諸君ノ御同意ヲ願ヒタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 本案ヲ採擇スルヤ否ヤニ付イテ採ヲ取リマス、之ヲ採擇スル  
コト云フコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、採擇スルコトニ決シマス、日程第  
九

四、災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委員長報告——長谷場純孝君

第四 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（委員長報告）  
（長谷場純孝君登壇）

○長谷場純孝君 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案、委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、此案ハ既ニ諸君ノ御承知ノ通東北三縣ヲ始メテ、天候ノタメニ非常ノ災害ヲ被ラタコトノ縣々ガ多クデゴザイマス、ソレニ對シテ地租ヲ特免スルト云フ法律案デアリノデ、全體昨年ハ我同胞中ノ壯丁、數十萬ハ外ニ出テ國事ニ盡シ、又内ニ在ル者ハ數層ノ稅ヲ負擔シテ、隨分困難極メツ、アル半バニ、天不辛ヲ降シテ、或地方ハ此災害ヲ被ラタデアリマス、故ニ是ノ如キ事ハ稀ニアルトコロノ事實デアリ、斯ウ云フ場合ニ於テ地租ヲ特免スルハ相當ノ所爲デアルト云フコトヲ認メマシテ、此法律案ヲ提出シタ所以デアリマス、而シテ昨日委員會ヲ開キマシテ、當局者モ出席セラレマシタガ、此本案ニ對シテハ大藏大臣ハ政府ヲ代表シテ、全案ニ向テ同意ヲ表セラレタデアリマス、唯此第二條ノ次ニ第四條ヲ加ヘテ、第四條ヲ第五條ニ繰下ゲルト云フコトノ修正ヲ加ヘテ決定ヲ致シマシタ、即チ其第四條ノ修正案ハ御手許ニ配付シテゴザイマセウケレドモ、念ノタメニ茲デ一應朗讀致シ置キマス、第四條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付テハ既ニ徵收シタル地租ハ之ヲ還附ス、即チ是ガ第四條ニナリマシテ、提出案ノ第四條ガ第五條ニ繰下ゲルトコトニナタノデゴザイマス、是ガケノ修正ヲ加ヘテ本案ハ可決ヲ致シマシタガ、御參考ノタメニ一言述ベ置キマスガ、本年ノ天候不長ノタメニ田畑ノ災害ヲ被ラタ縣ハ多數ゴザイマスケレドモ、其中ノ重モナルモノヲ凡ソ調査シタモノ——是ハ正確ナモノデアリナイ、凡ソ調査シタモノガ當局者ノ答ニ據リマス、宮城縣デ地租ガ七十六萬七千圓、巖手縣デ二十五萬千圓、福島縣デ八十四萬七千圓、埼玉縣デ千二百圓、山縣梨デ二千圓、静岡ガ四千八百圓、長野ガ一万六千餘圓、栃木ガ四萬四千圓餘、茨城ガ一万七千圓、群馬ガ十九萬千圓、秋田ガ二千圓、富山ガ四千圓、凡ソ斯ウ云フコトニナテ居ルノデゴザイマス、本案ハ最モ吾等ガ考テハ、此場合ニ處シテ適當ノ法案ト存シマスカラ、成ルベク滿場一致ヲ以テ、速ニ御可決アラントラ希望致シマス

○久保伊一郎君 チョット大藏大臣ニ質問ガアル、此第一條ニハ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租トアリマスガ、此收穫皆無ト云フモノデナケレバ免除ヲシナイト云フコトニナタテ居リマスガ、本員ノ聞クトコロニ據リマス、先ヅ普通通作ヨリ一割若クハ一割半ノ作柄デアリ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、此法文カラ見マス收穫ガ一ツモナカッタ場合ト云フヤウニ解釋ガ出來マスガ、一割半若クハ二割或ハ三割ト云フヤウナ場所ハ、如何ナルコトニ致サル、ノデアリカ、ソレカラ又既ニ二十八年度ハモウ水田ノ如キ、若クハ畑地ノ如キハ收穫ハ取入レテシマツテ居ル、取入レテシマツテ稔ラザル或ハ稻草ノ莖デモ或ハ刈取ツテ、少シモ無イヤウニナツタ所モアレバ、又ハ自然ノ結果ニ依ツテ、倒レテナクナツテシマワテ居ルモノモアラウト、思フ、サウ云フモノハ豫メ大藏省ニ於テ正確ノ調査ガ居イテ居ルモノデアリカ、サウ云フ所ハ如何ナルモノヲ標準トシテ、此免稅ノ歩合ヲ定メルカト云フコトノ二ツヲ承リタイ

（政府委員若槻禮次郎君登壇）  
○政府委員（若槻禮次郎君） 收穫皆無ト云ヒマスコトハ、全ク取レナイト云フコトデアリマス、併ナガラ全ク取レナイト云フコトヲ認定致シマスニハ、サウ五分トカ一割トカ云

フマデモ、尙取レテ居ルト云フヤウナ認定ノ仕方ハ致シマセヌカラ、ソコハ自然御尋ニナルヤウナモノハ、收穫皆無ト見ルノデゴザイマスガ、法文ノ意味ヲ御尋ニナレバ、全ク取レナイ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレカラ證據ノ既ニナクナタモノハドウスルカト云フ御尋ニハ元來證據ハ出願スル者ガ證明シナケレバナラヌノデ、證明ノナイモノハ政府デモ認メル譯ニイキマセヌ、併ナガラ此證明ハ方法ガ限ラデゴザイマセヌカラドナナ方法デモ收穫ガナカッタト云フコトガ認メ得ラル、方法ヲ以テ證明致シマスレバ、之ヲ認メルノデゴザイマス

○久保伊一郎君 チョット尙モウ一應伺ヒマス、一割若クハ一割半ノモノハ皆無ト見ルト云フ大藏政府委員ノ辯明デアリマス、サウスルト三割位ノモノモ矢張り、皆無ト見ルノデアリマスガ、（無用々々ト呼フ者アリ）無用デナイ

（採決々々「無用々々」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 別段答辯モナイヤウデアリマスカラ、採決致シマス——本案ニ付イテ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ付イテ採決ヲ致シマス——二讀會ヲ開クト云フコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイト認メマス

○元田肇君 直チニ御開キニナラムコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君） 元田君ノ發議通、直チニ二讀會ヲ開クトニ御異議ハゴザリマセヌカ

（「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 御異議ガゴザイマセヌカラ、直チニ二讀會ヲ開キマス

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（長谷場純孝君 第二讀會 外二名提出）

○元田肇君 直チニ確定セラレンコトヲ望ミマス

○駒林廣運君 施行期日ト云フコトハ、ドウ云フコトニナテ居リマスカ

（「法令々々」「採決々々」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 本案ニハ委員會ニ於テ修正ガゴザイマスガ、委員長ノ報告通御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 唯一ニ二讀會デアリマス

○議長（杉田定一君） 二讀會デアリマス

○恆松隆慶君 ソレデハ直チニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君） 恆松君ノ發議ノ通、直チニ第三讀會ヲ開クトニ御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス、直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議通り御異議ハゴザイマセヌカ

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（長谷場純孝君外 四名提出）  
（「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ） 確定議



カ、人民十分ニ保護スルカ、或ハ犯罪ガアツタナラバ、豫メ縛テ所謂犯罪必罰ノ例ヲ示シ、再ヒサウ云フコトヲスルコトノ出來ナイ、他人モ之ニ倣フコトガ出來ナイ、此二ツノ職責ヲ持テ居ルニ拘ハラズ、勿論相俟テ效用ヲナスノアルガ、行政警察ト云ヒ、司法警察ト云ヒ、殆ド其無能ナルニハ驚クノゴザイマス、角田君ノ述ベラレタ通、テヨット一例ヲ舉ゲテモ彼ノ通アル、人民保護ノ職責ニ居テ、騷擾事件ヲ見物ニ出タモノヲ斬テ、突イテ、サウシテ警察ヘ引張テ來テ、尙毆ケルト云フ、而シテ東京府民ハ此租稅ヲ拂ハナケレバナラヌ、多ク議論ヲ須ルマデモナイノデアリマス、吾ハ昨年九月五日六日ノ騷擾事件、其以前ニ於テハ、マダノヤサシイコトヲ言テ警視廳ノ改良ヲ求メ居タルノデアリ、四五年前東京府會ニ於テ、私ハ二時間バカリ演說シタコトガアル、或ハ其民ヲ蹴殺シ、毆テ病院ニ入レ、告訴スルト刑事巡査ガ往テ貴様ハ巡査ヲ告訴スルトメニナラナイ、ヨセト云フコトナ、或ハ營業柄ニ依テ泣寝入りニナレ、戸籍調ニ往ケバ「コラ、貴様」ト云フヤウナ言葉ヲ使テ、無禮千萬ナコトヲ言フノデアリ、行政警察ニ於テモ、到底其效用ヲナシテ居ラヌト云フコトハ、モウ殆ド以上述べタコトコロデ明白デアラウト思フ、是ハ以上私ハ先輩ノ述ベラレタノヲ概括シテ述べタデアリマスガ、實際東京府民ガ安息シテ居ラル、カ、ドウカト云フコト事實ノ上ニ付イテ見ルト、殆ド此御江戸ノ真中ノ道中スルノ、臺南アリノ生番ノ番窟ニテモ往テ、道中デモシナケレバナラヌト云フヤウナ考ヲ持テ居ル、例ヘバ麹町區ノ如キハドウゴザイマス、無邪氣ガ少年ガ風呂ニ往ケバ取ツカマヘテ鬻肉ヲ斬ラレル、七歳ガカリノ少女ガ縁日ニ往ケバ、取ツカマヘテ是モ亦鬻肉ヲ斬ラレルト云フヤウナ有様デアル、是ガ東京市デアルト云ヘバ實ニ驚入ルノ外ハナイノデアリマス、麹町區ニ往テ御覽ナサイ、日暮レタラ子供ヲ外ニ出スモノハナイ、是皆行政警察ノ不行居カラ來ルノデアリ、一面ニハ斯様ナル殘酷ナル犯罪人ガ澤山出テ來ルノ、ドウ云フ譯カト云フ、從來警視廳ガ司法警察ニ於テ、甚ハ無能デアツタ結果デアル、私ハ其例ヲ舉ゲル、司法警察ノ不能ナルト云フノハ、漫トシタコトヲ言ハナイ、其例ヲ舉ゲル、今ヨリ二十年間麻布永坂ノ邊ニ於テ「ラヂ」ト云フ米國人ガ殺サレタコトガアル、ソレガ十七八年ノ間一向誰ガ殺シタカ分ラナカッタ、之ガ田舎ニ參リマシテ諸君ノ縣ノ方ニ參テ、三箇村集テ交番一ツナドト云フヤウナ所デアレバ知ラズ、角ニハ交番ガアル、隨分澤山ノ巡査、殆ド三千人ヲ東京市ニ使テ居ルニモ拘ハラズ、殆ド十七年ノ間一向分ラナカッタ、結局ソレガドウデアツタコト云フ、四五年前二分、牢ノ中デ殺シタヤツガ自白シタ、是ハ所謂司法警察權ノ力デ捜査シタコトハナイ、何カ他ニ犯罪アツタ牢ノ中デ自白シタト云フコトデアアル、ソレカラ其次ハ本所ノ花町ノ兩替屋ノ鑒殺シト云フノガアツタノデアリマス、今ヨリ十年バカリ前ニ是モ今以テ誰ガ殺シタカ分ラナイノデアリ、第三ニハ深川ノ海邊新田ノ荒地屋ノ夫婦殺シト云フノガアル、是モ今以テ誰ガ殺シタカ分ラナイ、(笑聲起ル)大分長クナルカラ諸君ハ其御積リテ御聞キテ願ヒタイ、(謹聽)ト呼フ者アリ東京ニ一夜デモ、寢泊リタル諸君ハ能ク注意ヲシテ御聽キニナルガ宜イ、第四ハ京橋ノ越前堀ノ炭屋殺シ、是モ誰ガ殺シタカ今以テ分ラナイ、第五ハ四五年前デアル、淺草花川ノ倉島ノ隱居ヲ殺シタ、是モ今以テ誰ガ殺シタカ分ラヌ、其後ニモ殺人罪ガ分ラヌノデアリヤウゴザイマス、ドウデゴザイマス、御江戸ノ真中、人ヲ殺シテ誰ガ殺シタカ分ラヌ、凡ソ司法警察權ノ目的ナルモノハ、惡ルイコトヲスル必ズ罰スル、所謂犯罪必罰ノ例ヲ示シ其機關ニ過ギナイ、此犯罪ヲ必ズ罰スルコト云フ例ヲ示セバ、斯ウ續々不埒ナ者ハ再ヒ出テ來ナイノデアアル、一度惡事ヲシタ者モ、相當ノ制裁ヲ受ケルナラバ、本人悔悟シナケレバナラヌ、悔悟スレバ再ヒ罪ハ犯サヌト云フコトハ言フマデモナイ、而シテ我國ノ刑法ハ其犯罪ニ相當

スル——犯罪者ニ相當スル、即チ悔悟シ能フデケノ刑ノ盛リ方ガ付イテ居ル、必ズ罰スルト云フ例ヲ示セバ、先ア犯人自カラ悔悟シテ再ヒ之ヲ犯サヌコトニナル、ソレカラ又他人モ是ガ警戒トナツテ眞似ヲシナイト云フ效果ヲ生ズルノデアリ、此效果ヲ生ズテ始メテ世ノ中ノ治安ヲ保チ、或ハ秩序ヲ維持スルコトガ出來ルノデアリ、此勸キガ不十分デアツタナラバ、ナア東京ノ警視廳ハ盲目カラ、御江戸ノ真中デ人ヲ殺シテモ縛リコハナイ、旨ク往ケバ殺シ得デアルト云フ考ヲ持ツカラ、ドシ、眞似ヲスル者ガ出テ來ル、一度人ヲ殺シタヤツモ、一度モ二度モ、所謂二度ビシ二度ビスルコトニナル、斯様ナ次第デゴザイマシテ、行政ノ不行居、司法警察ガ、カラ見ルベキモノモナイ、是ニ於テ御江戸ノ真中ヲ夜分ニ道中スルニ、殆ド臺灣ノ生番ノ僻地ヘ往テ道中スルヤウナ心持ヲ生ズル結果ヲ見ルノデアリ、世界ノ日本、日本ノ東京、輦轂ノ下ガ此有様デアル、如何ニシテモデス、吾ハ何トカ言ハナケレバ相濟マヌノデアリ、棄置カレヌノデアリ、私ハ言フデス、斯様ナ問題ハ古イモノデ宿題デアリ、昨年ノ九月五日六日ノ騷擾事件カラ始マツタノデアリ、即チ警視廳ヲ改良シナケレバナラヌト云フノハ、モウ多年ノ宿題ニナツテ居ルノデアリ、併ナガラ私ガ茲ニ警視廳廢止ノ建議案ヲ出シタノハ、斯様ナ所謂警察ノ改良ト云フ問題デアリ、一步進シテ警視廳廢止シヤウト云フ問題ニナルノデアリ、警視廳ヲ廢シテ假リニ私ノ主張スル如ク、警視廳ヲ廢シテ警察事務ヲ東京府知事ニ移スト云フコトニナレバ、ドウデアラルカト云フ、矢張此改良ヲシナケレバナラヌノデアリ、今申サヤウナコトハ到底安寧秩序ヲ保ツコトハ出來ヌノデアリ、故ニ改良論ハ今日ニ止マラス、吾ハ目的ヲ達シテ、警視廳ヲ廢シタ後デモ、ドシ、吾ハ議論シナケレバナラヌノデアリ、デ私ガ警視廳廢止ノ主張スル主眼ハ、警察ノ改良ト云フヤウナ問題以上ニ上ツテ居ルト云フコトハ、豫メ御記憶ヲ願ヒタイト思フノデアリ、是ノ如ク警視廳ナルモノハ甚ハ不能有害物デアルノデゴザイマスガ、即チ有害ナル點ヲ尙試ミシ茲ニ舉ゲテ見マシレバ一朝何カアルト何時デモ、此警視廳ト云フモノハ、藩閥ヲ土臺ニシテ、所謂内閣諸公ヲ保護スルト云フコトヲ第一ニ置イテ、人民ハ第二位ニ何時デモ置ク、何事ガアツタモ、マア第一第二ニ置クノハ暫ク措イテ、主人ト番頭ヲ間違ヘテ保護スルノデ、是ハ暫ク恕スニシテ見テモ、甚シキニ至ルト、人民ヲ敵視スルノデアリ、露西亞人カ何カヤウナ考ヲ持テ拔フ、則チ昨年九月五日六日ノ騷擾事件ノ如クデアル、全ク東京市民ヲ彼等ノ敵ト心得テ居ル、無暗ニ斬リマケルト云フ考ヲ持テ居ル、(聲ガ低イ)ト呼フ者アリ東京市民——東京市ノ主人公タル市民ヲ第二位ニ置ク位ナラ宜シイガ、時トシテハ之ヲ敵視スルト云フ事實デアルノミナラズ、此警視廳ノ權力ノ多大ナルガタメニ志士ノ迫害、選舉ノ干渉、或ハ新聞記者ヲ迫害スルト云フヤウナコトハナカノ能力ガアルノデス、旨クヤルノデアリマス、四五年前ノコトデアリマシタガ、或警視廳總監ガ新聞屋ガヤカマシクテ、内閣維持ガ出來ナケレバ、オレヲ警視廳總監ニスレバ、新聞屋ヲ虐ゲル位ハ屈デモナイ、又代議士ガ彼は議會デ小ヤカマシイコトヲ云フテ厄介ニナルナラバ、拙者ヲ警視廳總監ニスラバ、是モ亦操縱シテ見ヤウ、サウ云フ操縱ヲスルニハ、警視廳ニ限ル、拙者ニ任セロト云フ、警視廳總監ニナツタ男ガアル、ソレガ又言ツタ通實行シテ居ル、四五年前ニ新聞記者ヲ迫害シタコトハ少ナカラヌ、拙者ノ知ツタ者バカリデモ、四五十人モフンシバラレタコトガアル、例ヘバ會社トカ銀行ガ惡口ヲ書カレタハ困ルカラ、御遺物ヲ持テ往ケト、是ハ脅喝取罪デアルト云フ又フンシカマヘ、ドシ、フンシバルノデ、新聞記者モ一時ハ避易シテ餘リ惡口ヲ書カナクナツタノデアリ、或ハ代議士ナドニ向テモ種々ナル非行ヲ評イテ——或ハ非行ガナクテモ之ヲ取ツカマヘテ、之ヲ苦メルト云フヤウナ筆法デモデ隨分澤山ナ議員ヲ操縱シタト云フ事實蹟モアル、元來警視廳ヲ置ク目的ハ左様ナ

モノアルマイト思フ、肝腎ノ本職ノ方ニハ眞暗デアッテ、サウシテ斯様ナ志士ノ迫害、新聞記者ヲ迫害シ、選舉ニ干渉スルコトノ一點張、其方ニ頭ヲ置イテヤテ居ルカラ、其結果東京市ハ臺灣ノ生蕃地ヲ道中スルヤウナ感ヲ生ズル結果ニナルノアル、ソレデ司法行政ノ警察ノ不能、又ハ志士ノ迫害、新聞記者ノ迫害ト云フヤウナ點ニ付イテ、是ヲドウスレバ矯正スルコトガ出來ルカト云フコトハ、無論吾々ガ研究シナケレバナラヌコトデアリマスガ、拙者ノ見ル所デハ、改良シ得ル點モアルノデアリマス、或方法ニ依レバ改良シテ一部ノ弊害ヲ去ルコトハ出來ルノデアアル、ケレドモ進シテ選舉ノ干渉デアルトカ、或ハ志士ノ迫害デアルトカ、新聞記者ヲ迫害スルコトカ云フ點ニ至ッテハ、全ク警視廳ヲ廢シテ、斯様ナ權力過大ナ警視廳監ト云フモノヲ置イタ以上ハ、到底此弊害ヲ除クコトハ出來ヌト私ハ斷言スルノデアリマス、ソレハ人民ヲ不親切ニ扱フ、職、殺スト云フヤウナ事柄ハ是ハ改良ノ方法ガ一ツアル、別ニ原君ガ御研究ニナラヌモ、結局刑法ヲ廣行スレバ、此弊害ダケハ止メルコトガ出來ルと思フ、則チ刑法ハ人ヲ殺シタ者ハ死刑ニ處スル、謀殺ノ犯人ハ死刑ニ處スルト云フ規定ガアル、此法律ノ廣行サヘスレバ、或ハ巡查ガ人民ヲ殺スルコト云フ弊害ダケハ矯正スルコトガ出來ルト私ハ信ズルノデアアル、例ヘバ昨年九月ノ五日六日ノ騷擾事件ノ如キ、斯様ナ事件ヲ再ヒ無イヤニスルニハ、犯罪必罰ノ例ヲ示シサヘスレバ、必ズ弊害ヲ矯正スルコトガ出來ルと思フ、巡查等ガ此良民ヲ斬ル殺スト云フヤウナ、是ハ巡查等ノ意思デ斬ツタモノハナイト思フ、私ハ必ズ長官ノ命令デアラウト思フ、人民ヲ保護シナケレバナラヌ巡查ガ、命令モシナイノニ無闇ニ目ヲ閉ヂテコノ見物ニ出テ來テ居ル者ヲ滅多矢鱈ニ斬ルト云フヤウナ、馬鹿氣ヲ現象ヲ見ル道理ガナ、是ニハ必ズ命令ヲ下シタ長官ナルモノガアルニ相違ナイ、假リニアリトスレバソレヲ捕ヘテ殺セト云ウテ命令ヲシタナラバ、謀殺デゴザイマスルカラ、是ヲ死刑ニ處スル(ヒヤノ)ト呼フ者アリ)所謂刑法ノ廣行スルコト云フコトニスレバ、是等ノ弊害ダケハ再ヒスルコトハナラナラウ、即チ若シサウ云フ處分ヲシタナラバ、後ニ警視廳監ニナル者ガ人ヲ殺セト云フ命令ヲ下サヌニ相違ナイ、命チ懸デ警視廳監ニナル馬鹿者ハアルマイト思フ、其他行政警察ナリ、司法警察ナリ、行届カヌトコロ行届カセルヤウニ改良スルコト云フ事柄ハデス、ソレハ警視廳ヲ廢サヌモ出來ルカハ知ラヌケレドモ、前ニ述ベマシタ、志士ノ迫害トカ、或ハ新聞記者ノ迫害トカ、選舉干渉トカ云フヤウナ事柄、斯様ナ事柄ニ相成ッテハ、到底警視廳監ト云フヤウナ、何レニ向ッテ責任ガアルカ分ラヌヤウナ、ア、云フ官制ニシテ置イタナラバ、他ノ方面ニ於テ如何ニ致シマシテモ、此一點ニ付イテハ、改良ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌと思フ、例ヘバ新聞記者ヲ無闇ニフンシバツテ調ベタトコロガ、罪モ何モナイ、無罪放免ト云ッテ、オ放シタトコロガ、警視廳監ハ何モ責任ガナイ、誣告ノ罪ニ處スルコトモ出來ナイ、或ハ又人民ヲ敵ノ如ク扱フテ見デモ、東京市民ハ直接ニ警視廳監ヲ監督シテ居ラヌノデアアルカラ、喧嘩ヲ吹掛ケルコトモ出來ナイ、言フマデモナク警視廳監ハ總理大臣ノ知事ノ間ニアッテ、吾々ガ「ナイ」デ斬ラウト思フデモ、骨ノ下ニアル肉ノヤウナモノデ手ガ届カヌ、斯様ナ無責任ノ地位ニアッテ、而モ蠻勇ヲ振フト云フコトハ、吾々ガドウカ廢メテ貫ヒタイト云フコトハ、是ガ警視廳廢止ノ骨髄デアアル、或ハ是マデ反對論者モ出マシテ、警視廳ガ惡ルイコトヲスル、警視廳其者ガスルノデハナイ、人其者ガ惡ルイカラデアアル、斯ウ云フ反駁ノ議論ガアルヤウデゴザイマスガ、私ハサウ云フ反對論ニハ一步モ譲ラナイノデ、間違ッテ反駁スル筋合ガ間違ッテ居ル、ドウカ此警察權ト云フモノヲ、東京府知事ノ手ニ屬セシメテ、ソウシテ東京府知事ヲ東京府民ヲ代表スル府會議員ガ監督スル、此監督ヲ受ケル府知事ノ手許ヘ移ス、然ラバ將

來警察事務ヲ執ル上ニ付イテモ、府民ニ對シテ責任ヲ持タケレバナラヌト云フ結果ヲ見ルト思フノデアリマス、イカサマ人宜シキヲ得レバソレハドシテ警視廳ガアツテモ宜イカ知レナイ、現内閣ノ如キ立憲的態度ヲ執ララル内閣大臣諸公ノ警視廳デアレバ、ソレハ是マデノヤウニ人民ヲ敵ニシテ斬ル職ルト云フヤウナコトハシナカラウト思フデゴザイマスガ、一朝蠻勇内閣ニ逆戻リスル時分ニハドウデアリマス、彼等ガ椅子ニ嚙リ付クニモ何か武器ガナケレバナラヌ、政黨内閣ハ政黨ト云フ地盤デアッテ立テ居ル、藩閥内閣ハ地盤ガナイノデゴザイマスカラ、何か武器ヲ以テ之ニ當ル、即チ警視廳ト云フモノガ唯一ノ武器ニナッテ居ル、人其宜シキヲ得レバ弊害ハナイケレドモ、若シ内閣ガ藩閥ニ逆戻スレバ、必ズ再ヒ從來ノヤウナ弊害ヲ見ルト云フコトハ、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアラウト思フ、故ニデス、私ハ如何ナル非立憲ノ内閣ガ出來テモ是マデノヤウナ警視廳ガ不都合ヲスルコトノ出來ナイ方法ニシテ置キタイ、即チ警視廳ノ事務ヲ東京府知事ノ手ニ移スト云フコトハ、私ノ警視廳廢止ノ根本ノ理由デアアル、之ヲ間違ッテ巡查ガ惡ルイコトヲシタカラ、巡查ヲ廢スルコト云フ議論カノヤウニ馬鹿氣ヲ反駁ガアツタモノト思フ、吾々ハサウ云フ馬鹿氣ヲコトヲ主張シタコトハナイ、或ハ露西亞ノ軍人ガ惡ルイコトヲシタラ露西亞ハ陸海軍ヲ廢スルカ、愈々出デ、愈々奇ナリ、諸君ガ二三十年前ニ專制政體ヲ倒シテ、立憲政體ヲ作ラウトシテ、御運動ニナッタ時分ニ、專制政體ガ惡ルイカラ政府ヲ無クセト運動シタモノハ一人モナイ、絶叫シタ者ハナイ、又其時分二三十年以前ニ於テ、專制政府ハ良クナイ、倒サナケレバナラヌト云ッテ、志士ガ絶叫シタコトヲ間違ッテ、政府ガ惡ルイカラ政府ヲ廢シテシマヘト云フヤウニ誤解シタ馬鹿者モナカッタ、漸ク進シテ世界ノ一等國トナッタ帝國ノ、而モ衆議院議員ニ於テ二十年前ニ誤解シタカッタヤウナコトヲ、今更ニ誤解シタデモゴザイマス(ヒヤノ)ト呼フ者アリ)警察ガ惡ルイカラ警察ヲ廢スル、殆ド專制政體ヲ倒セト云フ議論ヲ無政府ニシルト云ッテ議論ト間違ッテダガ如キ、隨分愚ナ反駁ノ出ルノハ、私ハ驚入ッテ話デアルト思フ、サウ云フ意味ガヤナイノデ、デ私ハ以上申シタ通、改良ノ一段ハ司法權ノ補助機關タル、或ハ行政警察トカ、司法警察トカ不能ト云フヤウナコトヲ完全ナラシムル、是ハ改良デ出來ル、サウ云フ點ハ改良デ出來マスケレドモ、吾々ノ廢止ト云フヤウナ根本ノ理由ニ至ッテハ、到底警視廳ヲ存續シテ置イテハ、満足スルコトガ出來ナイト云フコトニ歸著スルノデゴザイマス、此點ハ十分ニ今日モ反駁ノ議論モゴザイマセウカラ伺ヒマスルノデゴザイマスガ、ドウカ餘リ詰ラナイ反駁、或ハ吾々ノ主張シナイツツボノ反駁ヲセラレナイヤウニ希望スルノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ反對論ハ斯ウ云フノデアアル、免二角政治ノ中心デアアル、商工業ノ中心デアアル此東京ニ於テ、他府縣同様警察部長ニ警察權ヲ任セルト云フハ出來ナイコトデアアル、斯ウ云フ議論ガアツタヤウニ聞イテ居リマス、是ガチヨツト胡麻化シノ利ク議論デアアル、如何ニモ一今ノ東京ト云フ所ハ違ッテ居ルカラ、違ッタモノヲ置カナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘルノデゴザイマスガ、是モ具サニ研究シテ見ルト、一顧ノ價值モナイ議論デアアル、詰リ吾々ニ言ハセルト、警視廳監ト云フモノヲ東京府警部長ノ名ニ變ヘレバソレデ宜シイ、而シテ府知事ノ下ニ隸屬サヘスレバ宜シイト云フコトニナル、ソレデドウシテ東京市ノ警察事務ガ執レナイノデアアル、特ニ府知事ト大臣ノ間ノ子ノヤウナ、何レニ向ッテモ責任ノナイヤウナ、内閣デ免職シナケレバ誰ニモ怖イモノハナイト云フヤウナ無責任ノ警視廳監ヲ置カナケレバ、東京府民ノ安寧秩序ヲ保ツコトガドウシテ出來ナイノカ、吾々ニハ一向譯ガ分ラナイ反駁デアルト考ヘル、或ハ東京市ニハ恐レ多クモ、陛下ガ御住居ニナッテ居ル、不敬ノ者ガアツテハイケナイカラ十分ニ權力ノ過大ノヤツガ警衛ヲシナケレバナラヌト云フカモ知ラヌ、ソレハ御生憎様ダ、不敬ノ人間ハ日本國中一人モナイ、今マデ大騒ギ

ガアツモ、畏レ多クモ皇室ニ向テ不敬ガマシイコトヲシタモノハ一人モアツタコトガナイ、特ニ權力ノ過大ナ總監ヲ置カケレバナラヌト云フ理由ハ毫モナイ、偶々直訴ナドヲスル者ガアルガ、是ハ巡査ヲ澤山置ケバ捕マヘルニ何デモナイ、之ヲ防グニハ譯ノ分ヲ立憲的ノ役人ヲ置カナイデモ、サウ云フコトハ誰ニテモ出來ルノデアル、或ハ内閣大臣ガ皆東京ニ居ルノデアルカラ、特別ニ保護シナケレバナラヌト云フコトガアルカモ知レヌ、ソレモ巡査ヲ澤山置ケバ何デモナイ、護衛巡査ヲ附ケテ置ケバ何デモナイ、私ガ議論ヲスル上ニ引用スル趣意ハ違フガ、角田君ノ過日ノ御演説ト趣意ハ違ヒマスルガ、成程大臣モ澤山居ルノデ、馬鹿者ガ出デ足ヲ折ッたり、命ヲ取ッたりスルモノガアルカモ知レヌ、現ニ出タ例ガアル、角田君ノ言ハレタ如ク、大久保利通公、或ハ森有禮君、大隈伯、斯ウ云フコトガアルカラ、成ルテ權力ノ過大ナ警視廳總監ト云フモノヲ置カケレバ、ドウモ心細イト云フ考ガアルカモ知レヌガ、私ハ此三人ノ者ハ自業自得ト思フデ居ル、大久保ナカト云フ男ハ、薩摩人ハ互ニ同郷相扶ケルツ云フ氣質ヲ持テ居ルニモ拘ハラス、大西郷ヲ倒シテ自分ガ威張ラウト云フ考ガアツタラシク見ヘル、ソレカラ其黨與ノモノカラ怒マレノハ當然デアル、森有禮君ニシタコトコトガ本日ノ大臣トシテ大膽ニ向テ不敬ガマシイコトガアツタ、隨分日本ニハ斯ウ云フ場合ニハイロ／＼ナモノガ飛出シテ來ル、大隈伯ハドウデアルカ、是モ自業自得、條約改正ノ時分ニドウ云フザマデアル、彼ノ條約ヲ改正シヤウト思ッたノハ、輿論ガ反對デアル、議會モ反對デアル、内閣モ反對シタ、而モ御前會議ニ於テモ反對、畏レ多クモ 陛下モ御反對デ、ソレヲ胡麻化シテ、尙裁判官ニ外國人ヲ歸化セセタラ宜カラウト云フマデニクドクヤツタカラ、是ニ於テ天罰ヲ受ケタノデアル、立憲的ニ万機公論ニ決シ、輿論ヲ重シテ臣民タル職責ヲ盡ストカ、大廟ニ參拜シタラ、參拜シタヤウニシタナラバ、斯ウ云フモノガ出來ル氣遣ハナイ、又斯ウ云フモノガ出ルコトハ、幾人警視廳總監ガアツテモ、止モ止メルコトハ出來ナイ、御氣ノ毒ナ譯デアル、非禮壓制無理ナコトヲスレバ、國王デモ首ヲ曝ラサレタ例ガ幾ラモアル、(ソレハ誤解ナシト呼フ者アリ)決シテ誤リデハナイ、ソレガタメニ却テ文明ニ赴クノデアル、歴史ヲ讀給ヘ、斯様ナ次第デ、殆ド輩敵ノ下デ、政治ノ中心デ、商工業ノ中心デアルト云フデモ、權力過大ノ警視廳總監ヲ置クベキ必要ハ毫モ見ナイノデアル、アルト云フナラバ、警視廳内閣ガ一ノ武器トシテ志士ヲ迫害スルヨリ外ニ必要ハナイ、桂内閣モ隨分昨年九月ノ五日六日ノ騷擾時分ニハ、桂内閣ヲ威カシタノデアル、人民ガ——桂内閣ヲ露戰爭以來膏血ヲ捧ゲ、同胞ノ壯丁ハ骨ヲ曝シ血ヲ流シ、日々幾方ノ生命ヲ擲テ、サウシテ露西亞ニ戰ツテ居ラノデアル、恐レ多クモ 陛下ニハ開戰以來日曜大祭日ト雖モ、政治ヲ續ハセラレテ居ラノデアル、此時ニ當テ講和談判ノ始末ハ何事デアル、空前絶後ノ大屈辱ヲ招ギ、而モ一朝事アツテ 陛下ノ御生母タル中山邸ガ燒ケテ居ルノ、ソレニハ巡査ヲ向ケナイデ、己ノ妾ノ方ヘ巡査兵隊ヲ向ケタト云フコトヲ、新聞デ開テ居ラノデアル、講和談判ニ於テ屈辱ヲ招ギ、尙國民ガ此場合ニ於テ大ニ意見ヲ發表シヤウト云フノヲ壓倒スル(嘘ヲ吐クナト呼フ者アリ)尊王家タル彼ノ高山彦九郎、蒲生君平等ハ地下デ泣クデアラウト思フ、帝國大宰相ノザマハ何デアルカ、斯様ナコトヲスレバ、國民ガ騒グノハ當リ前ノコトデアル、當然自業自得ト思フ、將來ノ内閣ガ若シモ眞面目ニ政治ヲ執リ、國民タルノ本分ヲ明カニシ、帝國ノ宰相ナラ宰相ラシキ仕事ヲシタラ宜カラウ、万機公論ニ決シテヤツタナラバ、昨年九月五日六日ノ騷擾ノアリヤウ答ゲナイ、故ニ警視廳ヲ存シテ置カウト云フノハ、將來蠻勇ヲ振ハウト云フ亂暴ノ人間ヨリ外ニ、サウ云フコトヲ主張スルモノハナイ道理デアル、吾々モ或時分ニハ蠻勇ヲ振ヒタイノデアルカラ、吾々ガ天下ヲ取ッ

タナラバ、善イ道具ヅト思フノデアル、ケレドモサウ云フコトヲ致シテハ、矢張其時ノ人民ニ御氣ノ毒デアルカラ、今日ヨリ廢シテ置キタイト云フ志願デアル、是ノ如キ次第アリマスカラ、能ク諸君ノ御再考ヲ求メルノデアル、(「シセロ」曰ク何人ト雖モ誤ラサルモノナシ、誤リヲ知ッテ固執スルモノハ愚人ナリト申シテ居ル、拙者ノ演説デ能ク眞意ノアルトコロガ御分リデアツタナラバ、ドウカ餘リ固執シナイデ速ニ御賛成アラントラ希望致シマス)

○楠目玄君 質問ガアリマス、本員ハ此廢止案ニハ精神ヨリ云ヘバ、大ニ同情ヲ表シテ居ル、同情スル一人デアルガ、ドウモ提出者ノ言フコトコロノ理由ニ依テハ、據處ナク賛成ガ出來ナイト思フ、ソレハ其點ニ付イテ一應分ヲナイトコロノ理由ニ依テハ、提出者重モナル理由トストルコトコロノモノハ、警視廳ガ權力ヲ濫用シタ、又無能デアル、此二點ガ此廢止案骨子トナッテ居ルト思フ、然ルニ之ヲ如何ニシテ矯正スルカト云フノ點ニ付イテ、府知事ニ之ヲ委ヌル、府知事ニ委ヌタナラバ、之ガ矯正ガ出來ルト云フコトコト、今ノ言葉デアル、然ルニ本員等ハ其府知事ニ大ニ苦メラレテ居ルコトガアル、即チ明治二十五年ニハ府知事ガ大ニ亂暴ヲヤツテ、則チ警察權ヲ濫用シテ、人ヲ屠リ家ヲ燒キ、ソレガ幾ツニモ涉ッテ、サウ云フコトコト、吾々ハ此警察權ノ濫用ノタメニハ大ニ苦メラレテ居ル一人デアルカラシテ、昨年ノ九月ノアノ亂暴ニ依ッテハ、大ニ吾々ハ之ニ同情ヲ寄セテ居ル、又府民ハ之ニ依ッテ怒ルト云フコトニ依ッテモ、本員ハ大ニ同情ヲ寄セテ居ル、ケレドモ之ヲ以テ府知事ニ此權力ヲ委ネテ此二百萬人ガ能ク安心ガ出來ルト云フコトハ、ドウシテモ吾々ハ思ハレナイノデアル、何トナレバ此濫用ト云フモノハ或ハ此先日以來其人ガ惡ルイト云フ論モアツタケレドモ、吾々ハサウ思ハナイ、惡ルイコトヲスルノハ弊デアル、(質問ニアラズ、議論デアル)ト呼フ者アリ議論デナシ(議論デアル)ト呼フ者アリ議論デナシ……改良ヲ求ルメ矯正ヲ求ルメト云フコトハ出來ナイヤウニナル、モウ少シ明カニ其理由ヲ聽キタイ、或時ハ府知事ニ移シタナラバ、吾々ノ直接ニ監督スルコトガ出來ナイ、自分ノ直接ニ監督ノ下ニアルモノヲ廢シテ、之ヲ府知事ニ委ネルト云フコトハ、ドウ云フコトコト安心シ得ラル、カ、ソレガ聽キタイノデアル、此兩點ニ付イテ聽キタイ

○肥塚龍君 今ノハ反對論ヲ唱ヘラル、ノデゴザイマスカラ、直チニ順ラ逐ウテ登壇ヲシテ、今ノ發議ヲセラレタモノハ、登壇シテ發議ヲ御述ベニナツタラ宜カラウ

○議長(杉田定一君) 立川雲平君

○楠目玄君 答辯ガアリマセヌカ、今ノ質問ニハ……

(答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ)

(立川雲平君登壇)

○立川雲平君 ツリヤ君、答辯ガナイノガ宜イノゴヨ、ナイノガ即チ此案ノ不可ナル所以ダカラ——諸君、此建議案、即チ警視廳廢止問題デアリマスガ、是ハ昨年ノ十月十一月頃ヨリ東京市ニ於ケル大分ヤカマシイ問題トナッテ參リマシタ、私ハ東京府トハ申シマセヌ、東京市、殊ニ東京市ノ自治機關ニ於キマシテ、ソレ／＼御決議ニモナツタヤウニ承ツテ居リマシタ、其故ニ本期議會ノ大問題ノ中ニハ、確カニ此問題モアルコトハ豫期致シテ居ラノデアリマス、過日請願委員會ニ於テ當局大臣ノ質問ニ答ヘルトコロノ答辯モ承リマシタ、又紹介議員諸君ノ辯明モ承リマシタ、請願委員會ニ於テハ採用セヌト云フコトニナリマシタ、殊ニ又先日豫算ノ本會議ニ於キマシテモ、警視廳ノ新築費ノトコロニ於テ反對ノ議論ガアル、即チ警視廳ヲ廢スルト云フ議論ガ出マシテ、隨分花々シイ討論モ拜聽シマシタ、是亦論者ノ議論ガ採用ニナラズシテ、否決ニナツタノデゴザイマス、

是等二箇所ニ於テ既ニ問題トナリマシテ、段々議論ヲ承ツタノデアルガ、未ダ以テ此問題ノ死活ヲ十分ニ決シタトハ云ヘナカッタ、一ハ請願委員デアル、一ハ豫算ノ會デアルガタメニ、謂ハバ牛家屯ノ逆襲カ、黒溝臺ノ戰位ニナッテ居ル、必ズヤ此問題ヲ活スカ殺スカ、確カニ其形式ニ於テ其場合宜シキヲ得テ問題トナルデアラウト思ヒマシタガ、果セテ今茲ニ建議案トシテ出マシタ、殊ニ政友江間君ガ之ガタメニ自己ノ立場ヲ換ヘテマデ議論ヲサレテノデゴザイマス、丁度奉天ノ開戦トモ申シマセウ、是ニ於テ此案ニ止メテ刺シテ、最早葬ルコトガ出来ヤウト思フノデアル、樂ミキタ江間君ノ御議論ハ失望シタ、私ノ心ハ違ヒ、私ノ耳ガ惡ルイノデ、江間君ノ議論ヲ十分ニ咀嚼シテ此廢止案ノ由テ來ル理由ヲ審ニスルコトノ出来ナイノハ、自カラ甚ダ耻入ル次第デアリマス、此江間君ノ議論ニ付キマシテハ、後ニ又本問題ノ此四箇ノ理由ニ付イテ議論シタ後ニ、聊カ報ヒテ置カウト思フ、本問題ニ入ル前ニ、一ノ御斷リヲ致シテ置キタイ、本員ハ警視廳廢止案ニ付カズト云フ議論ハ立デマスガ、是マデノ警視廳ノヤリ方ニハ全然賛成スルモノデハゴザイマス、現ニ前期議會ニ於キマシテ、言論印行ノ自由ニ關スル質問ヲ試ミテ、彼レ警視廳ノヤリ方ニ付イテ、大ニ攻撃ヲ試ミタノデアリマス故、此警視廳廢止案ニ付カズト云フ議論ハ致シマスレドモ、警視廳廢止案ニ全然賛成ヲ致シテ居ナイ、其弊害ノアルコトモ諸君ト御同意デアル、改良シナケレバナラヌト云フ點ノアルコトモ、能ク承知シテ居ルト云フコトヲ一應御斷リ致シテ置クノデアリマス、尙一ツノ諸君ノ注意ヲ惹イテ置キタイ事柄ハ、過日來請願委員會、若クハ豫算本會ニ於テ、警視廳廢止論者ノ御議論ヲ承ルニ、或ハ東京市ニ住ム吾ハ不幸デアルトカ、地方ノ御方ハ羨シイトカ、長ク東京ニ住ンデ御覽ナサイマシト云フ御言葉ガアル、私ハ是ガ甚ダ感心ヲ致サヌノデアアル、何トナレバ此地方ノ感情ニ依テ議論ヲ立デマスルト云フト、マ、眞理ヲ見失フコトガアルノデゴザイマス、是ヨリ後ニ或ハ我帝國ノ政治機關ノ上ニ大革新ヲ加ヘ、府縣ノ合併ヲシナケレバナラヌ、各省ノ廢合ヲセナケレバナラヌト云フ議論ノ起リマシタトキニ於テモ、常ニ地方ノ頭ヲ以テ議論ヲスルト云フコトガゴザイマス、到底其眞理ノ存スルトコロヲ見ルコトガ出来ナイノデゴザイマス、警視廳ハ東京府ノ警視廳デ、東京市ノ警視廳デゴザイマス、帝國ノ政治機關ノ一部デゴザイマス、所謂帝國政治機關ノ一部ナル警視廳ヲ廢スルヤ否ヤト云フ問題ハ、即チ帝國全體ヨリテ觀察シテ以テ議論ヲシナケレバナラヌノデアアル、或ハ東京市民ハ聊カ忍ンデ貫ハナケレバナラヌコトガ起ルカモ知リマセウガ、併ナガラ是ハ是レ立憲政治ノ下ニアルコトノモノガ、常ニ此德義ハ守ラナケレバナラヌコトデゴザイマスカラ、ドウカ東京市ノ者ニ取テハ、東京ニ居ル者ニ取テハト云フ御議論ハ、御遠慮アツテ然ルベシト思ヒマス、此議論ガアツテ正々堂々帝國全體ノ政治機關ノ上カラ論下シテ以テ廢スルヤ否ヤト云フコトノ議論ヲ致シテ貫ヒタイト思ヒマス、此過日來ノ大家先生ノ御議論ヲ屬シ伺ヒマシタガ、何分ニモ警視廳廢止案ニ付テハ議論ガ確カニ茲ニアルト云フコトヲ見据ヘルコトガ出来マセウ、幸ニシテ此建議案中ノ理由書ト致シマシテ、第一、第二、第三、第四ト掲ゲ來テアル、此理由ニ依テ、私が此理由ニ同意スルコトノ出来ナイ所以ヲ申上ゲマスルナラバ、先ツ廢止論者ノ議論ヲ駁撃スル正論ヲ失ハナイモノデアルト信ジマスカラ、此各項ニ付イテ、是ヨリ聊カ論議ヲ試ミテ往カウト思ヒマス、此第一ノ時勢ノ進運ニ伴ハザルト云フコトガ一ノ條目、サウシテ元々川路大警視が佛國巴里ノ警視廳ノ事柄ヲ取調ベテ、之ニ模倣シタ、即チ專制、寧ろ壓制ノ遺物デアルト云フヤウニ書イテゴザイマス、是ハ雙方ノ議論ノ立テヤウデ、時勢ノ進運ニ伴ウテ居ルカ伴ウテ居ヌカト云フ事柄ハ、是ヨリ以上ニ進ンデ以テ事實ト、尙詳シキ理由ガ生ジテ來ナイト、直チニ以テ廢止案ニ付テハハナルマイト思フノ

デゴザイマス、詰リ文明ト云フモノハ此職分ノ分業トカ、事物ノ分類ノ分類ガ繁クナルト云フ方ノ原則カラ致シマスレバ、ドウシテモ政治上ノ仕事ト云フモノモ、進メバ進ムニ從ツテ、此一ツデアツタモノガ二ツニナリ、一ツノモノガ二ツニナリ、一人デ兼ネテ居タモノガ、各々專ラ其事ニ從フト云フヤウニ分レバナラヌモノデアラウト思フノデアリマス、サウ致シマス今ノ警視廳ノ官制、及其設計等ヲ見マスルト云フト、ナカノ一容易ナモノデハゴザイマス、之ヲ今時勢ガ進ンデ居ルカラシテ、警視廳ヲ廢シテ一ツノモノニ合併スルト云フコトハ、恐ラク論議ガナクナルデアリハシマイカ、今マデ一緒ニアツタモノヲ、一ツニスルト云フコトナラバ、議論ハ立タウト思フガ、是ニ於テ試ニ我警視廳ガ最近ノ歴史ヲ御話シテ見ヤウト思フ、蓋シ島田君ノ領分ニ這入ルカモ知リマセウ、島田君ハ先日警視廳ノ歴史ハ乃公ヨリ外ニ知ルモノハナイト云フ言語ト舉動トヲ以テ御話シナリマシタガ、私ノ思フ所トハ聊カ相違ノ點ガアリマス、警視廳ハ明治十年一月十一日ヲ以テ一度廢シマシテ、内務省中ニ警視局ト云フモノヲ置イテ、事務ヲ執ッテ居リマシタ、所ガ社會ノ進運ハドウシテモ許サナイ、時勢ノ進運ガ内務省中ニ一ノ警視局ヲ置イタノハドウシテモ處理スルコトガ出来ヌ、ソコニ二三年間之ヲ試ミマシタレドモ、到底ハ一獨立ノ一ノ官衙トセネバナラヌト云フコトノタメニ、明治十四年一月十四日ヲ以テ再ビ警視廳ヲ獨立セシメテ、既ニ之ヲ試ミテ見タ、所ガ到底行フコトガ出来ナイカラ、更ニ獨立ノ官衙トシタノデアアル、近クハ彼ノ憲政内閣ノトキニ於テ、此憲政内閣ノトキニ於テモ、此問題ガ確カニ出マシタ、此時ニハ行政整理若クハ財政ノ上ニ於テ、政費節減ト云フヤウナ事柄カラシテ、警視廳ヲ廢シテハドウデアアルカト云フコトガ、政府部内ニ話ガ起ツタ、調査局ガ之ヲ取調ベテ見マシト、警視廳ハドウシテモ廢スルコトハ出来ナイ、東京ノ警視廳ヲ廢スルコトガ出来ナイノミナラス、大阪ニモ追ヒテ警視廳ヲ置カネバナラヌト云フコトマデ取調ニナツタノデアアル、即チ憲政内閣ノトキニ於テ、政費節減セネバナラヌト云フ場合合ナルカラ、大阪ニ警視廳ヲ更ニ置イテマデ、警視ノ事業ヲ擴張シヤウト思フケレドモ、ソレハ到底行ハレナイト云フガタメニ、是ハ遂ニ爲スコトガ出来ナカッタ、併シ此時ニ警視廳ヲ廢スルコトガ出来ヌト云フコトニ調査ノ結果ガナツタ、是ニ起因シテ各府縣ニ警視ナル官ヲ置キマシタ、今現ニ各府縣ニ一府縣ニ一ノ警視ノ事務ヲ置イテアリマス、是ノ如クシテ警察ノ事務ト云フモノハ、時勢ノ進運ニ伴フテ進ンデ往クト云フ場合合ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ論者ハ專制時代ノ遺物デアアル故ニ排斥セヨ、斯ウ議論ヲサレハ、殊ニ島田君ノ如キハ、過日舊世界ノ遺物ガ今ノ世ニ存シテ居ルノデアルト言ハレタ、常ニ醜態微妙ナル言葉ヲ組織シテ演説ヲセラルトコロノ島田君、院內第一流ノ雄辯家ト私が尊崇スル其人ガ、舊世界ノ遺物ガ今ノ世ニ存シテ居ルノデアルト云フ、一種ノ趣味アル言葉ヲ以テ議論ヲサレマシタノニハ、ツイ人ガ感動ヲ起シマシタ、併シ私ハ之ニ服シマセウ、我之ヲ動物學者ニ聞ク、彼ノ象ハ前世界ノ遺物デサウデゴザイマス、(笑聲起ル)彼ノ象ノ皮ハ吾人ニドレ程ノ利益ヲ與ヘマセウカ、或ハ工業上ニナクテハナラヌ必要ナデアリマス、アノ大キナ身體ヲシテ、小サナ小供ノ守ラスルト云フコトヲ、西洋ノ話ニ承ツテ居リマス、ナント面白イ話デアリマセウカ、島田君ノ此博愛家ガ象ナルモノガ、前世界ノ遺物ナルガタメニ、吾人人類ハ彼ノ生存ヲ許サヌトハ申サレマスマイ、(拍手笑聲交ル)要ハ唯吾人ノタメニ有要ナルカ否ヤト云フコトヲ檢スルニアルノデゴザイマス、吾人ノタメニ有要ナルナラバ、其品物ハ前世界ノ遺物デアラウトモ、近世紀ノ產出デアラウトモ、ソレハ問フトコロデナイ、吾人ノタメニ用ヲサヌモノナラバ、今日唯今ノ產出物デアラウトモ、決シテ之ヲ捨ツルニ吝ナルモノデナイ、其吾人ガ取ツテ以テ己レニ有要ナルモノハ之ヲ用井テ可ナリ、不要ナルモノハ之ヲ捨テ、可ナリ、決シテ前世

紀ノ遺物アルトカ、前世界ノ遺物アルト云フテ、之ヲ拾テント欲スル所謂時勢ノ進運ニ伴ハナイト云フ御議論デハ、甚ダ服スルコトガ出來ヌデアリマス、過日請願委員中ノ神崎君デゴザイマシタ、承ツタコトニ、此警視廳廢止問題ニ四箇ノ理由ガアルガ、其四箇ノ理由ハ、盡ク獨立シテ理由デナクテ、第一ノ時勢ノ進運ニ伴ハザルト云フコトハ、第二、第三、第四ノ事實ガアルメデアルト云ツテ、是ハ概括的ノモノデアルト云フヤウナ御議論ガアリマシタガ、近頃大分請願委員中ニハ心ヲ度ツテ、能ク解釋シテ吳レルコトガ流行シテ居リマス、是ハ建議者ノ意思アルカドウカ知りマセヌカ、時勢ノ進運ニ伴ハザルト云フコトヲ申シマセケデハ理由ニハナリマセヌ、一、二、三、四ノ理由ガ果シテアレバ、之ガ以テ時勢ニ伴ハナイモノカ否ヤト云フコトヲ、是カラ徐々ト檢シテ見ヤウト思ヒマス、第二ノ理由ハ「權力濫用ノ弊アルコト」此項目ノ中ニハ、各府縣ト同シク知事ノ管掌ニ屬セシムカ知事ハ一般ノ行政ヲ執行スルモノナルヲ以テ主トシテ警察事務ニ偏スルノ弊ナク云々」ト云フ、其前ニハ行政事務ト異ニシテ法規ノ束縛ヲ受ケルコト少ナク、只漠然公共ノ安寧秩序ヲ保持スルニ於テ職務ヲ行フカラシテ、權力ガ濫用セラル、ノデアアル、斯様ニ議論ヲサレデアル、一體警察ノ事務ト云フモノハ、法規規則ヲ以テ牽束ヲ致スコトノ出來ナイノハ、警察事務其物ノ性質デアル、矢張此漠然安寧秩序ヲ保持スルコト云フコトニ依テ、運用ノ妙ガ生シテ來ルノデアリマスカラ、是ハ何處ニ往テモ警察ノ事務ハ矢張安寧秩序ヲ保持スルニ維持スルコトヲヨリ外ナイノデアル、論者ノ言フ如ク之ヲ知事ニ委シマシタラドウデゴザイマセヌカ、此頃ノ議論ハ私ガ此處デ喋々セヌデモ、政友楠目玄君ガ名ヲ質問ニ藉リテ、此議場ニ於テ御議論セラレタ通、知事ニ警察權ガアルカラト云デ、必シモ濫用ヲセラル、モノデナイトハ申サレマセヌ、若シ試ミニ東京府ノ知事ニ警察權ヲ附シテ、此建議案ノ如ク致シマシタ曉ニハ、卿等或ハ「憂シト見シ世ツ今ハ懸シキ」ト云フコトニ至ルコトハナイデゴザイマセヌカ、望ムハ何時ガ何時マデ萬却未代肥塚君ノ如キ人ガ、東京府ノ知事デアラウナラバ、ソレハ警察權ヲ御託シ申シテ置イテモ間違ハゴザイマシケレドモ、此東京府知事ナルモノハドウ云フ御方ガナカ分リマセヌカ、此知事ニ此權力ヲ託スルノハ如何デゴザイマセヌカ、又江間君ナリ其他角田君ナリハ無能デ、此處ノ警視、東京府ノ警視廳ハ何ヲ仕事シテ居ルカ、大久保、森、大隈、是等ノ諸公ガ遭難サレタ、或ハ何處ノ隱居殺ノ犯罪ガ分ラナイトカ、或ハ何處カデ不逞ナコトヲ致シタ、斯様ニ云ウ、是ハ東京ニ限ラナイ、若シ其論法デ往クナラバ羨シイト思フタ、地方ニモ、亦甚ダ警察ハ感心シナイコトガゴザイマス、彼ノ滋賀縣デハドウデス、彼ノ滋賀縣デハ津田三藏ト云フ巡查ガ外國ノ貴賓ニ危害ヲ加ヘタ、外國ノ貴賓ニ危害ヲ加ヘタ、山口縣ノ警察デハドウカ、小山何某ト云フモノガ講和談判ニ來タ李鴻章ニ爆發物ヲ投付ケタ、若シ斯ウ云フコトガアルカラ不都合ダト云フナラバ、山口縣ニ爆發物ヲ警察モ廢シテ宜カラウト、眞逆サウハ仰シヤルモセヌカ、サウ云フ論理ニナリハシマセヌカ、又知事ニ警察權ヲ與ヘタナラバ、濫用セラル、コトガナイト御考ニナリハ、是ガ最モ誤リノ甚シイモノデアル、私ヲシテ言ハシメタナラバ一層是ハヒドイコトニナリマス、東京ノ如キ都會ニ於キマシテ、此府知事ニ此權力ヲ與ヘテ置キマシタナラバ、仕事ガ出來ナイノミナラズ、此權力ヲ濫用セラル、上ニ於テ、ドコマデ往クカ分リマセヌ、是ガ却テ心配デゴザイマス、成程仰シヤル通、獨立シタ官衙デアラカラ、權力濫用ノ弊ガアルト、斯ウ言ハレマスガ、之ヲ知事ニ與ヘタトコロガ、或ハ少シ違ウカ知レマセヌガ、權力ヲ濫用セラル、弊ガアル、唯ストセラル、トノ別ガアルデケデ、之ヲ以テ警視廳ノ弊害ガ無クナラシマフト云フ御議論ハ、甚ダ感服スルコトガ出來ナイノデアリマス、第三ノ事務ノ統一ヲ缺クコト」此項ニハ斯様ニ書イタル「他ノ各府縣ニ於

テハ一人ノ長官ヲシテ一般ノ行政事務ト共ニ警察事務ヲ兼掌セシムルカ故ニ其組織簡明ニシテ能ク事務ノ統一ヲ保持スルノ便アリ然レニ獨リ東京ニ於テノミ府知事ト警視廳ト相對立スル爲徒ラニ事務ノ複雜ヲ來シ當ニ東京市政ノ運用上ニ不便少カラサルノミナラス市民亦殆ト適歸スル所ヲ知ラサルノ害アリ」由來文章ト云フモノハ事ヲ大業ニ書クモノデアル、針小棒大ニナルモノデアリマス、ケレドモ東京府ノ市民ハ——東京ノ市民ハ一方ニ知事ガアデ、一方ニ警視廳總監ガアルカラ、其適歸スル所ヲ知ラズトハヒドイデアリマセヌカ（笑聲起ル）是ガ官制ノナイノナラ宜イガ、國家ニ法律ガアデ、官制制度ガキチント立ッテ居ッテ、役人ノスベキ事ト、スベカラザル事トハ、官制制度ノ上ニ於テチヤント定マツテ居ル、然レニ一方ニ警視廳ガアリ、一方ニ知事ガアルカラ、ドツチニ往ッテ宜イカ、東京市民ハ迷フデハナイイカト云フコトハ、餘リ東京市民ヲ愚ニシタ話デアル、私ハ地方ノ人間デス、東京市民ハ全國ニ對シテ先覺者デアリマス、其先覺者ガ官制ノアルノ辯ヘズシテ、ドツチニ往ッテ宜イカ分ラヌト云フヤウナコトハ、決シテゴザイマセヌ、若又官廳ハ各職權ガゴザイマスカラ、互ニ其職權ヲ支持シテ敢テ下ラザル事柄ト云フノハ、寧ろ是ハ立憲制ノ妙用ガ是ニ存スルノデアル、一方ニ彼ノ職權ヲ存シ、一方ニ此職權ヲ存スルト云フコトハ、立憲制即チ法治國ニ於テ屢アル、是ガアルノデ吾人ガ幸福ヲ得ラル、ノデアアル、御覽ナサイ、司法裁判ニ於テ議員ノ資格ガ無イト云フ判決ヲ下シタニモ拘ハラズ、殆ト同一ノ事實ニ於テ衆議院ハ此議員ニハ資格アリト判決ヲ下シタガ如キ、互ニ己ノ職權ヲ以テ立ツ上ニ於テ、何處ニ弊害ガゴザイマスカ、若シ是ガ衝突スルコトガアツタナラバ、其場合ニ當ッテ裁決スルコトコノ方法、裁決スルコトコノ手段ハ幾ラモアルノデアル（ツレコソ行政ノ統一ヲ缺クト呼フ者アリ）行政ノ統一ト云フコトハ、ドウ云フコトコノ云フノデスカ、唯何ンデモカンデモ一人デ處辨シ得ルコトガ統一トハ仰セラレマスマイ、警察ノ事務ト、即チ府知事ノ事務トハ、官制ヲ一見スルナラバ明カニ分ル、是ガ二ツアルカラ甚ダ迷惑デアルトハ言ハレマス、私ハ東京市民ニ教ヘント欲スル、汝警視廳總監ニ願フコトアラバ、警視廳總監ニ往クベシ、東京府知事ニ願フコトアラバ、東京府知事ニ往クベシ、若シソレガ衝突シタコトガアルナラバ、言ウテ來ナサイ、教ヘテ上ゲマセウ、是ガドチラニ往クモノデアル、是ハ斯クノ／＼スベキモノデアルト云フコトヲ教ヘマセウ、サウ云フ知識ノナイ東京市民デハ決シテナイト考ヘマス、ツレカラ第四ノ理由、是ガ私ハ免ニ角此本問題ニ付イテハ直接ノ理由デス、「獨立官衙トナスノ理由ナキコト」前ノ事務ノ統一ヲ缺クコト云ヒ、權力濫用ノ弊アルコトト申シマスル事柄ハ、警視廳ヲ廢シテモ他ノ官省ニ之ヲ合併シテモアル事柄デ、此點ハチヨット江間君モ言ハレタヤウニ聽エタ、廢サナケレバナラヌト云フ理由ハ第四獨立官衙トナスノ理由ナキコトニアルト、是ハ接近シテ居ル直接ノ理由デアルカラ、私ハ之ニ對シテ少シ念ヲ入レテ、反對ノ議論ヲ試ミテ見タイト思フノデス、是ハ大分過日以來他國ニ例ガ有ルトカ無イトカ云フ論ガアリマシタ、警視廳ト云フモノヲ東京府ニ置クノハ、他國ニ例ガ有ルトカ無イトカ云フガ、本員ハ元來他國ニ例ガ有ルトカ無イトカ云フコトニ重キヲ置イテ、日本ノ政治ヲ執ラルコトニハ多ク賛成ヲセヌ、又他國ハ他國デス、有ッモ無クツテモ宜イデヤナイカ、我國ニ取ッテ以テ便利ガアルナラバ、之ヲ置クニ何カアラン、是ハドチラデモ宜シウゴザイマスガ、論者ノ言フ如ク、單ニ佛蘭西ニノミ之ガアルトハ言ハレマス、先刻モ申シタ通、川路大警視ガ外國ヲ廻ッテ歸ッテ來タキニ、當時ノ政府ノ建議草案ヲ見マスルト云フト、泰西諸邦ニ於テ云々、何レモ司法ト警察トハ互ニ分立シテ居ッテ云々ト云フコトニ書認メテアルヤウニ承知致シマス、決シテ佛蘭西ノミヲ見デ居ッテ佛蘭西ノミニ行フカラト云フコトデハゴザイマスマイ、況ヤ今ノ場合ニモ英國ノ倫敦、或ハ埃國ノ維也納、獨逸ノ柏林、

佛蘭西ノ巴里、米國ノ紐育等ニモ警察事務ハ別ノ官署ヲ以テ致シテ居ルト云フコトヲ  
承知シテ居リマス、(「ノウ」ト呼フ者アリ)肥塚君ハ市俄古ニ無イト云フコト  
ヲ請願委員會ニ於テ御話ニナリマスガ、市俄古ニ無イト云フコトハ、日本ノ大阪ヤ京都  
ニ無イト云フコト同一ノ論法デアラウト思フ、併ナガラ先刻モ言フ通、外國ニ例ガ有ルト  
カ無イト云フコト問フ必要ハナイ、前ニ申シタ通、此警視廳ヲ廢スルト云フ事柄ハ、  
帝國全般ノ上カラ觀察シナケレバナラヌ、同時ニ土地ニ於テモ其通デアアル、此東京ヲ東  
京市ノ東京ト見ルコトハ出來ナイ、即チ東京ハ日本帝國ノ東京デアアル、日本帝國首都  
デアアル、然ラバ日本帝國ノ上カラ此警視廳ト云フモノヲ、特別ニシテ置クノ必要ガ有ルカ  
無イカラ觀察シナケレバナラヌ、私ハ之ヲ知事ニ付託スルヨリハ、内閣ノ一、即チ内務  
省——内務大臣之ヲ直轄シテ居ル方ガ、其責任ノ重イトコロダケ宜イノデス、英吉利  
アタリデ警察官ガ少女ニ向テ不都合ガアルカラト云テ、内閣ガ其責任ヲ負フコト、或ハ  
内閣ニ其責任ヲ負ハシメタカ云フ事柄ノアル所以ハ、是レ則チ警視廳ト云フモノ、責  
任ガ重イ、即チ其權力ノ重イ所以ナラデス、内務大臣ガ直轄スルカラ此責任ヲ重ク見  
ル、之ヲ府知事ノ下ニ屬セシメタナラバ、此責任ハ府知事ニ限リ負フト云フコトニナ  
ル、吾人ハ常ニ人權ヲ貴ム、吾人々權ヲ貴ムニ於テ特別ナル官署ヲ置イテ、之ニ充テ  
シテ此官制ノ上ニ於テ不都合アリト云フコトハ出來ヌト思ヒマス、殊ニ私ニハ大分昔デ  
ゴザイマシタガ、鹽札事件ト云フモノガアッタ、時ノ貴顯ガ是ニ關係ガ有ルトカ無イトカニ  
ウテ、警視廳ガ非常ニ骨ヲ折テ取調ベタコトガゴザイマス、札ノ蜻蛉ノ足ガ一ツ足ルト  
カ足ラヌトカ云フ事件ノアッタ時分ニ、警視廳ガ非常ニ骨ヲ折タノデアリマス、又近クハ  
教科書ノ問題——彼處ノ知事モ教科書事件ニ關係ガアルトカ、此處ノ視學官モ教科  
書事件ノ犯罪人デアルトカ、被告人デアルトカ云テ縛テ來テ、之ヲ檢舉シタノデア  
ル、是ガ若シ府知事ノ下ニアッタ警視廳デアリマシタナラバ、是ガ出來マセウカ、私ハ前ニ  
於テ兼々嫌ヒナ警視廳ノヤリ方デアレドモ、此二ツノ事柄ノ如キハ、警視廳アレバコ  
ソト思ッダ、若シ府知事ノ下ニ警視廳ガアッタナラバ、此檢舉ハドウデアッタカ、或ハ出  
來ナカッタカモ知レマセヌ、是ガ著々歩ヲ進メテ立派ニ檢舉スルコトガ出來タノデア  
ル然ラバ  
獨立ノ官制トシテ置イテ、不都合ガ無イノミナラヌ、獨立ノ官制トシテドウシテモ置カ  
ネバナラヌト私ハ考ヘル、要ハ唯獨立官制トシテ經費ガドウデアラウ、或ハ日本ノ財政ノ  
上ニ於テハ是ダケノ金ヲ出スコトガ出來ヌカラト云フヤウナ議論カラ、是ヲ約メルトカド  
ウ  
スルトカト云フノハ、別ノ問題デアリマス、是ハ金錢ノタメニ不便ヲ忍ブコトハ止ム得ヌ、  
併シ論者ノ論ノ如ク、此警視廳ノ今マテノ遣リ方ガ不都合デアルカラ、是ヲ廢サネバ  
ラヌト云フ御議論ニハ、服スルコトハドウシテモ出來マセヌデゴザイマス、若モ之ヲ東京  
府知事ガ管掌シテ、總テノ警察事務ヲ東京府知事ガスルコトニナリマス、東京市會ノ  
決議バカリデアイケマス、東京府ガ今ヨリ何十萬ト云フコトノ大金ノ負擔ヲ、負ハ  
ナケレバナリマス、是亦一方カラ論ジマシテモ、一考セベキ事柄デアラウト思フ、況ヤ  
日本全國カラ考ヘマシタナラバ、東京ト云フ所ハ善人モ集リマス、此東京ニ於テ是ヲ檢  
集リマス、日本全國ヨリ惡事ヲナシタル者ガ、東京ニ集リマス、此東京ニ於テ是ヲ檢  
舉スルトカ、捕縛スル上ニ於テハ、區々府知事ノ手ニ委ネルト云フコトハ、決シテ其當  
得タルモノデハナイ、獨立ノ官制ガアッテ、機敏ニ此働キカ付クノデアアル、江間君ノ言  
ウ如ク、彼モ檢舉ガ出來ヌ、是モ檢舉ガ出來ヌ、之ヲ私ニ言ハシメタナラバ、獨立ノ官  
制ガアッテサヘモ、見エナイデハナイカ、之ヲ兼務デナシメタナラバ、警察ノ事務ハ緩慢ド  
ロデナイ、無能ガ尙更無能ニナリマセウト思ヒマス、獨立ノ官制タルコトノ必要デアルト云

フコトハ、唯今申上ゲマシタコロデ、大抵御分リニナタラウト思ヒマスガ、終リニ一言致  
シテ置キタイノハ、此廢止論ハ種々ナル理由ヲ以テ、主張セラル、ニモ拘ハラズ、其根本其  
眞意ト云フモノヲ考ヘマスルナラバ、昨年九月月上旬ノ東京市ノ騷擾、之ニ因テ以テ此案  
ガ出來タトヨリ外思ハレナイ、是ハ角田君ノ御議論ト云ヒ、江間君ノ御議論ト云ヒ、  
其他ノ人々ガ必シモ巡査ノ劍ニ斃レタ者幾人、殺サレタル者幾人、昨年九月五日ハ是  
ノ如キモノデアルト云フ議論ニ依ッテ、我々ハ十分承知致ス、是レ御尤ナ話、昨年九月上  
旬ノ出來事ニ付イテハ、本員ハ大ニ御同感デアリマス、實ハ彼ノ事柄ヲ以テ、諸君ハ警  
視廳ヲ廢シテ、以テ満足セラル、ト思フノハ、實ニ淺薄ナル話デアラウデゴザイマセウカ、私ハ巡  
査ヤ警部ノ責任デアリマセヌ、是ハ警視廳總監否テ、寧ロ内閣ガ責任ヲ負ハネバナラヌ  
ト思フ、故ニ本期議會ノ開ケザルニ當テ、本員ハ「ボーツマウス」ノ條約ハ免モ角、九月  
五日、六日、七日ノ東京市ノ出來事ニ於テハ、是コソ内閣ノ責任ヲ問フベキモノデア  
ル、之ヲ提ケテ内閣ニ肉薄シテ、十分ニ闘ハウト云フ考ヲ持ッテ居ッタノデアアル、其時ニ憲政  
黨諸君ノ驥尾ニ附スドコロデハナイ、急先鋒トナッテ働カウト思ヒマシタコロガ、豈圖ラ  
ンヤ警視廳總監ヲ更ヘテ、ウレデモイケナイカラ、内務大臣ヲ更ヘテ、トドノ詰リハ本家本  
元ノ桂内閣ハ倒レテシマッタ、斯ウナッテシマヘバ立憲政治ノ本義ニ據ッテ、此内閣ノ責  
任ヲ問フコトモ出來ナイノデアアル、然ルニ此憤リヲ持ッテ來テ、警視廳ヲ廢サウト云フ  
御議論ニナッテハ、餘リ大人氣ナイヤウニ思フ、江戶子ハサウ云フモノデナカラウト思フ、  
江戶子ハ機ヲ見テ進ミ、機逸スレバ退クノガ、江戶子ノ江戶子タルトコロデアリマス、機  
ヲ見ルニ敏ナルハ、是亦政治家ノ尙ブトコロデアリマス頃者九月五日、六日ノ出來事ヲ  
以テ、警視廳ヲ廢スルト云フコトハ甚ダ淺薄デアアル、本員ノ如キハ縱令内閣ガ更迭シタ今  
日デアルカラ、此事柄ハ議場ノ問題ニナラヌトシテモ、千載不磨ノ歴史ニ於テ、桂内閣  
ナルモノガ是ノ如キ失行ガアルモノデアアル、ト云フコトハ何時マデモ記憶シ、何時マデモ此  
責任ヲ負ハシメテ置クコト云フコトハ、道德ノ上カラ記憶シテアル問題デアルト信ズルノデア  
リマス、此建議案ヲ以テ諸君ガ通サウト云フガ如キハ、決シテ其方法宜シキヲ得タモノデ  
ハアリマセヌ、併ナガラ大分東京市ヲ杯ニ於テ、ヤカマシク言ッテ問題、今更之ヲ葬ル所ガ  
無イト云テ、詰リ此建議案ニナッテスレバ、此所デコソ御望ノ通ニ、成佛ヲ爲サシムル  
コトガ確カニ出來ルト思ヒマス

(肥塚龍君登壇)

○肥塚龍君 諸君、唯今立川君ガ滔々ト數千萬言ヲ費サレマシタガ、本員ハ唯一ツ遺  
憾ニ思ヒマス、立川君ヲシテ東京市、東京府ニ、今少シ利害ノ關係ノ厚キ御方デ  
アッタナレバ、モウ少シハ事實ガ分ッテアラウト思フノニ、一向事實ガ御話トハ遠ザカデ  
居ルノヲ、甚ダ遺憾ニ思ヒマシテゴザイマス、是ヨリ私ハ本案ノ賛成者ノ一人トシテ、東  
京市ニ於テ、東京府ニ於テ、警視廳ヲ廢止ヲシナケレバナラヌト考ヘマシタル、其理由ヲ  
バ、事實ヲ舉ゲテ申シマスルカラ、暫ク御清聴ヲ煩ハスノデアアル、警視廳廢止ト云フコ  
トニ付キマシテハ、諸家ノ議論モ種々アリマスルケレド、大體ヲ捉ヘテ見マスレバ、内務大  
臣ノ說、竝ニ之ニ同意セラル、トコロノ諸君ノ說ハ、警察ハ人サヘ直セバ、遣方サヘ直セ  
バ宜イ、昨年ノ九月五日ノコトハ、人ノ遣方ガ惡ルカッタノデアアル、斯ウ云フノガ即チ此  
警視廳廢スベカラヌト云フ骨子ニナッテ居ル、ウレカラ吾々ノ如キ警視廳廢スベシト云フ  
トコロノ說ノ根據ハ、ドウデアルト云フ、此警察ノ不都合ハヤ——此警察ノ不都合  
ト云フノハ、能クウコハ御聽分ケテ願ヒタイ、私共ハ昨年ノ九月五日ノコトダケラバ、不  
都合トハ決シテ言フテ居ルモノデナイガ故ニ、其邊ハ能ク御承知ヲバ願デ置キタイ、吾々  
ハ此警察——東京市ノ警察ノ危險、警察ノ不安全、此不安全危險ト云フモノハ人ニ

在ラズシテ、警察制度其物ニ在ルト云フノガ、吾ノ根據ニテ居ル、此二ツノ爭テアルカ故ニ、此點ニ付イテ一應ノ辯明ヲシテケレバナラヌ、又内務大臣原君ヲ初メ、過日來ノ御説明ヲ聽ケバ、現在ノ儘デモ、吾ガヤレバ、左様ナコトハサセナイ、現在ノ儘デモ改其シテ往ケバ、宜イデハナイカト云フノガ、千言萬語、悉ク此一點ニ歸シテ居ルノデアル、誠ニ思召ハ添イガ、甚ダ失禮デアルケレドモ、是ハ内務大臣トシテ私ハチト出過ぎタ説デアルト考ヘルノデアル、ナセ出過ぎタ説デアルト申シマスニ、制度ハ變ヘナケレバ、十年ガ百年デモ命ヲ長ラヘテ往クモノデゴザイマス、私ハ現内務大臣原君ガ、亂暴狼藉ヲナスル人トハワレハ思ワヌ、民間ノ事情ニモ熟シテ居ル方デアルカラ、ツシナ亂暴狼藉ヲスル人デハナイト思フ、ナイトハ思ヒマスケレドモ、オレガ遣レバ旨ク遣テヤルカラ、貴様達安心シロト云フ此一言ハ、身ノ分限ヲ超ヘタ一言ナリト私ハ斷定スルノデアル、ワレハ何シテアルト云フト、諸君、内閣ノ壽命ハ何箇年續クモノデアル(「セヤノ」ト呼ブ者アリ)是マデ國會開設以來ノ内閣ノ壽命ヲ平均シテハ見ナイガ、平均シテ見タコトデ、長クモ二箇年前後ノ平均ニテ居ルデラウト私ハ思フ、假リニ現内閣ヲ此平均數ノ壽命ト見マスルト先ヅ二箇年内閣ノ御方ニ二箇年ノ壽命デアルガ、東京市民ハ百年經テモ、千年經テモ永續スルトコロノ東京市民デゴザイマス、此東京市民ガ此制度ノタメニ、苦痛ヲ受ケテ居ルノニ、吾ガ内閣ニ居レバ、ツシナ酷イコトハシナイカラ、安心シロト斯ウ云フ話デアルガ、原君ノ在職中ハ成程亂暴ハナイカモ知レヌ、多分ナイデラウト思フ、是モ未來ノコトデアルカラ確定ハ出來ヌガ、多分原君其者ニシテハ亂暴ナカラウト思フガ、タダ僅ノ二年ノ平均數ノ壽命ヲ持チナガラ、(拍手スルモノアリ)其時ハ憲政本黨ト呼ブ者アリ)十年、二十年、百年ノコトマデモ安心ナサレトハ、之ヲ私ハ出過ぎタ説デハナイカト思フノデアル、決シテ私ハ理窟ノ間違タ話デハナイ、又原君ハ左様ナ亂暴ナドスル人デハナイト云フコトハ、知テ居リマスケレドモ、縱シ此内閣ガ續クシテモ、諸君ト吾等トモウ一ツ考ヘテ見ナケレバナラヌコトガアリハシナイカト思フ、承レバ先日ノ委員會ニ西園寺總理大臣ガ、行政整理ハ今度ハ打切アルト云フコトヲ言ハレタカ申スコトデアアル、サウシマスルト原君ガオレ達ガ職ニ在ル間ハ、御安心ナサレト云フ此一言モ、何時是ガリ打切アルト云フ、打切ラセラル、カモ分ラヌ、併シ左様ナコトハ萬ナカラウトハ思ヒマスケレドモ、言葉タケテハ誠ニ不安心ナモノデアルガ故ニ、吾ハ人ニ信用スルヨリハ、先人ガ變テモ枕ヲ高クシテ、眠ルコトノ出來ル遣方ヲシテ貰ヒタイト、斯ウ云フ趣意ナシテアル、御承知デゴザイマスルカ、ゴザイマセカ知リマセヌガ、今カラ四五十年以前ニハ、日本ニハ二ツノ政府ガアルト云フデ、外國人ノ書イタ書物ハ——皆此維新頃ノ外國人ノ日本ノコトヲ書イタ書物ヲ讀ンデ御覽ナサイ、餘程不思議ガデ居ル、何處ヲ不思議ガデ居ルカ、何處ヲ不思議ガデ居ルカト云フト、日本ト云フ國ハ政府ガ二ツアル「ジュニアルガヴァーメント」其二ツト云フモノハ、一ツハ「デューニール」一ツハ「デファリット」權利ノ政府ト、事實ノ政府ト、此二ツガ日本ニアルト云フデ、實ニ外國人ハ不思議ナ思フシテ書物ヲ書イテ居ル、成程不思議ニ思フタニ違ヒナイ、天ニ二日ナク地ニ二王ナクト云フコトガアルガ、政府ガ二ツアルデハ、滔々モノデハナイ、處ガ今日ノ唯今ノ東京ト申シマスルモノハ、政府ガ二ツデハマダ足りナイ、政府ガ二ツニナツテ居リマスルカラ、立川君ナドハ殊ニ御聽取ヲ願ヒタイ、多分事實ノコトハ御承知ナイノデアラウト思フ、其二ツノ政府ハ

何處デアルカト申シマスレバ、即チ一ハ東京府、一ハ警視廳、一ハ東京市、事ニ依ルト四ツニナルヤウナ場合モアル、其事實ヲバ一二舉ゲテ御話ヲ申シテ見マスルト、最モ新シキ實例ガ宜カラウト思フ、新シキ實例ガ宜カラウト思フガ、昨年來御承知ノ通深川方面ニ「ベスト」ガ流行テ、實ニヤウモ皇居ノ近邊ニ「ベスト」病ガ流行タト云フ、是ハ大變ナコトデゴザイマスカラ、内務省、警視廳、東京府、東京市役所、上ヲ下ヘト大騒ヲ致シテカラニ、直チニ清潔法施行、消毒法施行、鼠族ノ驅逐ト云フヤウナコトデ大騒ヲ致シタ、大騒ヲ致シマシタコロガ——私ハ咽喉ガ惡ルイノデ、誠ニドウモ演説ガ御聽取惡イデゴザイマセウガ、是ハ病氣デゴザイマスカラ、ドウモ我慢ヲ願ヒマス——「ベスト」ガ流行テ來テ大騒ニナツタ、大騒ニナリマス、第一ニハ此清潔法ヲ掃除ヲ致サナケレバナラヌ、掃除ヲ致シマスルトキニ、ドウデアツタコト申シマス、掃除ノ監督ト云フモノガアル、掃除人足ノ監督、監督ト云フモノハ當リ前ナラバ、警視廳カラ出スベキモノデアラウト思フケレドモ、警視廳カラ五人ノ監督人ガ出マシタ、是ハ隨分不思議ナ監督人、何故ニ三方カラ左様ナ監督人ヲ出サナケレバナラヌカト申シマスルト云フトデヤ、市役所筋ノ者ハ、市役所ノ命令デナケレバ、ナカノ「チヨット」承知ヲ致サヌ、警視廳筋ノ者ハ、警視廳ノ命令デナケレバナカノ「承知ヲ致サヌ、東京府筋ノ者ハ、東京府ノ管轄デナケレバ、承服ヲ致サヌ、柔順ニヤラヌト云フ譯デヤリマス、茲ニ私ハ澤山ナ實例ヲバ、若シ立川君ナリ其他ノ諸君ガ御入用ナラバ、御覽ニ入レマスガ、此通私ガ調ベサシテ置キマシタ、東京府ト警視廳ト東京市役所ト一ツノ事務デ、三箇所カラヤテゴツタクサヤルトコロノ實例ハ、此通二書イテゴザイマス、是ハ細カイコトデゴザイマスルカラ、一ハウルサイカラ申上ゲマセヌケレドモ、何事デモ此三ツノ役所ノ關係デアル、公園地ニ一軒家ヲ建テ、公園地ニ一軒家ヲ建テ、地所ハ市役所ノ管轄デアルガ故ニ、其地所ニ付イテハ市役所ニ出願ヲシナケレバナラヌ、家屋ノ營業ノ取締ハ、是ハ警視廳ガシナケレバナラヌ、其他ノコトハ東京府ガシナケレバナラヌ、何事デモ此三箇所ノ役所ノ手ヲ經ナケレバ、一ツノコトガ出來ナイト云フノガ今日ノ事實デアル、手數ヲ多ク掛ケルコトガ、行政ノ本旨ト云フコトナラバ、是ハ私ハ異議ハ申サヌ、異議ハ申サヌガ、手數ヲ多ク掛ケテ、人民ニ迷惑ヲ掛ケテ、費用ヲ澤山ニ掛ケルコト云フノハ、行政ノ本旨デナイト云フコトハ、是ハ誰モ能ク知テ居ル話デアルガ、唯今ノ遣リ方デ見マスルト、手數ヲ多ク掛ケナケレバナラヌ、費用ヲ多ク掛ケナケレバナラヌ、火事ガ起ツテ來タ、大キナ本害ガ起ツテ來タ、直チニ東京府、警視廳、事ニ依リマスルト市モ關係スルト云フヤウナコトガアツテ、一ノコトニ二重ニ三重ニ重ニモ、手間ヲ經マスノガ今日ノ制度デアルノデアル、斯ル不都合ナル制度ヲ止メテシマツテ、サウシテ東京府ト云フモノハ警視廳ヲ兼メマシテモ、隨分マダナカノ混雜シマスケレドモ、ワレデモ三ツノモノガ二ツニナルケレバ、事務簡捷ニナルト云フハ確カナ事實デアルノデアル、ワレデモ東京府ヘ之ヲ合併シマスルト、唯今ノ立川君ノ御説デアルト、東京府ヘ合併シタレバ、獨立ノ官衙デアレバ、實ニ機敏ナル働ガ出來ルケレドモ、東京府ヘ合併シタレバ、先年ノ教科書事件ト云フヤウナコトガアツタキハ、一進モ三進モイカヌト云フヤウナ御心配ノ説モアツタ、是モ私ハ立川君ナリ、其他

ノ諸君ノ御考ヲ願ヒタイ、今此東京市民ノ希望致シマスニコロ、吾々ノ希望スルニコロノ、警視廳ヲハ東京府へ合併スルシメテモ、東京府ノ所轄ニスルシテモ、警視廳ノ唯今管掌シテ居ルニコロノ事務ヲバ、ソツクリ持テ來ルト云フノハ決シテナイ、此理由書ニモ其事ハ書イテアリマス、警視廳ガ唯今管轄シテ居ルニコロノ事務ノ中ニハ、國事ノ警察モアレバ、地方ノ警察モアル、種々難多モノヲ包含シテ居リマス故ニ、是等バ十が十、百が百マテ舉ゲテ、東京府ニ取テシマフコト云フ譯ハ決シテナイ、政府ガ是ハ地方行政ニ任セテ不都合アル、是ハ國家警察ノモノデアル、地方警察ノモノデナイ、ト政府ガ見込マレタトキハ、ツレバケハ別ニシテ内務省ノ直轄ノ警保局ヲ執ラレタニコロガ、更ニ異議ハ申シマセヌ、即チ國ノ警察ト地方ノ警察トヲ別ケテ、地方ノ警察ニ屬スベキモノハ、東京府へ屬シテ貫ヒタイト云フ、是ガ趣意デゴザイマスカラシテ、立川君ノ如クニ糞モ味増モ一緒ニ舉ゲテ、東京府へ取テシマフコト云フ趣意デハ決シテゴザイマセヌ、警察權ハ國家ニ屬スル事務ハ澤山アルノデゴザイマスカラ、ツレ位ノ分別ハ東京市民モ知テ居リマスカラシテ、其邊ノ御心配ハ決シテ要ラナイ、ツコデ之ニ反對セラル、トコロノ諸君ハ、昨年ノ九月ノ例ヲ引イテ、昨年九月以來俄ニ警視廳廢止問題ガ起タモノ、如クニ思ハル、デゴザイマスケレドモ、是ハ決シテ昨年九月以來ニ始マタ問題デナイト云フコトハ、唯今立川君ノ御説デモ分テ居ル、即チ憲政黨内閣ト言ヒマスカ、大隈板垣ノ此兩氏ノ組織セラレタトキノ内閣、アノ内閣ノトキニモデス、警視廳廢止ノ説ハ起タ、其節カラ私共ハ警視廳廢止ノ説ヲ持テ居ル、其書類ト云ヒマスモノハ、私ハ丁度茲ニ書類ガアル、是ガ御入用ナラ御見セ申シマスガ、是ハ明治三十一年ニ私が書イテ置イタ、此意見書デゴザイマス、此時カラ吾々ハ警視廳ヲ廢シタ方ガ宜イト云フ意見ヲ持テ居ル、又大隈伯ニ於テモ矢張同一意見ヲ持テ居ラ、同一意見ヲ持テ居ラ、同一意見ヲ持テ居ラ、テ居ラケレドモ、御承知ノ通時ノ内閣ハ、此警視廳廢止ノ意見ト云フモノヲ採ラズシテ、警視廳ヲ置クト云フコトニナッタノハ、即チ當時ノ事實デアル、然ラバ此問題ガ昨年九月五日カラ、俄ニ湧イテ出タ如ク言ハレルノハ、如何ニモ此建議案ヲバ認ムルト云フモノデアル、決シテ左様ナシ細工ノモノデナイト云フコトハ御承知ヲ願ヒタイ、又昨年九月ニ警視廳ガ彼此シタガ故ニ、警視廳廢止論者ハ、懲罰的ニ斯様ナ舉動ヲナスモノデアルト云フコトヲバ、過日原内務大臣モ度々申サレタ、又其外ノ反對ノ諸君モ度々申サレタノデゴザイマスガ、是モ私ハ餘程間違テ居ル説ト思フ、ナゼ間違テ居ル説カト云フニ、警視廳ノ一事ニ付イテ、懲罰的ノ復讐的ノト云フコトハ、吾々ノ方ニ於テハ決シテナイノデアル、先ツ其實例ヲ舉ゲテ見マセウナラバ、昨年ノ九月五日ノ晚ノ八時頃デゴザイマシタ、昨年九月五日ノ晚ノ八時頃ニ、私ハ日比谷ノ公園ニ亂暴者ガ火ヲ放ケタト云フ報知ヲバ、自分ノ宅ヘ持テ來タモノガアル、ツレバ私ハ一人ノ書生ヲ連レテ、直グニ日比谷ノ公園ヘ出掛ケテ、外務省ノ少シ横マデ出マスルト、サウスルト外務省ノ前ニ、二十人ハカリ臚列シテ居ルトコロノ白服ノ警察官、白服ノ警察官ガ其中ノ一人ガ出テ參リマシテ、私が歩ルイテ居ル向フノ三人目ノモノ、イキナリ警棒ヲ「サーベル」デブンナグタ、ブンナグリマスルト、サウスルト私ノ連レテ居ル書生ガ、其次ニ居タ其書生ガコラ何ヲスルゾト、巡査ニ言ヒマスルト、拙者ノ書生ノ腕ヲ捕ヘテ、貴様ハ何故ニコナナ所ヲウロウイデ居ル、コナナ來イト言ウテ、拙者ノ書生ノ腕ヲ持テ引張リカケタ、引張リカケタカラ、

私ハコイツ怪シカラヌヤツデアルト私ハ怒鳴リツケタ、コラ貴様何者、此天下ノ往來ニ於テ用向キノヲメニ此所ニ往來シテ居ルモノヲ、警察官タル者ガ横合カラ出テ來テ、帯ビテ居ル劍デ人ヲ叩ク、人ヲ拘引スルトハ何者、其儘ニ決シテ置カヌ、逃ケルトコトハナラヌアト云フコトヲ號令スルト、サウスルト其先生太キニ吃驚シテ逃ケタ、逃ケタケレドモ私ハ承知シナイ、外務省ノ前ニ列シテ居ルトコロノ、巡査三十人ハカリノ白服ノ巡査ノ中ヘ逃込シタ、逃込シタガ私ハ承知シナイ、直グニ追駈ケテ、サア此所ヘ亂暴巡査一人逃込シタカラ引出セ、警部ヲ出セト談判シマシタトコロガ、一人ノ警部ガ出テ參リマシテ、ツレハドウ云フコトヲ致シタカ知ラヌケレドモ、甚ダ不埒ノコトヲ致シタデゴザイマセウガ、現雜ノ際デアルガ故ニ、ドウ云フ今晩ハ御免ヲシテヤツデ貫ヒタイ、斯様ナ譯デ警部ガ訥ルケレドモ如何ニモ亂暴ナリ、コナラモ腹ガ立タガ故ニ承知シナイ、兎モ角モ斯様ナ所デ、御前ト談判スルコトガ出來ナイ、外務省ノ門ヲ開ケ、大臣ハ居ラヌデモ、恐クハ次官宿直ハ居ルダラウ、外務省ヲ護衛シテ居ル巡査ガ、亂暴ヲ加ヘタガ故ニ、外務省ヘ往テ談判スルカラ門ヲ開ケ、鐵門ガ鎖シテアタ、鐵門ヲ鎖シテアタガ、不精々々ニ到頭其門ヲ開キ居ラ、其門ノ内ヘ私ハ這入ッタトコロガ、其警部頻リニ訥ル、訥ルカラ私ハ誠ニ警部ニ對シテハ、氣ノ毒ノ思ガアタ、其警部ノ名前モヤント名札ヲ持テ居ル故ニ、見タケレバ名札モ見セマセウ、其警部ガ段々訥ルニ依テ、私ハ其所デハ其儘ニシテ外務省ニ談判シテモ仕樣ガナイガ、餘リ巡査ガ亂暴スルト遂ニ飛シテモナイコトガ起ルツト、私ハ名札ヲ取テ其場ヲ去ッタノガ、即チ自分ガ經驗シタ事實デゴザイマス、彼等ガ亂暴シタ事實ハ、斯様ニ私自身ガ經驗シタケガツレデ、其外ノコトハ過日來度々引合ニ出テ居ルカラシテ私ハ申シマセヌガ、彼程ニ亂暴シタノデアル、亂暴シタノデアルケレドモ、私ハ懲罰的ノ考ト云フモノヲ以テ、警視廳廢止ト云フコトハ決シテ言ハナイ、其證據ニハ政友會ノ中ニモ名アル、而モ衆議院議員ノ磯部君ニモ話シタ、又吾々懇意ナ東京市選出ノ衆議院議員ニモ話シタ、私ハ東京露ケ關デ亂暴シタトキ、警部ガ出テ來テ、其警部ガ私ニ接シタトコロヲ見テ、アノ警部ハ北多摩トカ南多摩トカノ人ト云フガ、誠ニ行届イタ人デアッタガ、可哀サウニ此一方ニ東京ノ巡査並ニ此警察警部、是等ハ決シテウナ惡黨亂暴者ト云フ譯デハナイケレドモ、唯之ヲ號令スル者ガ不都合千萬デアルガ故ニ、斯様ナ亂暴ガ起ルノデアル、此亂暴ナ號令スル者ハ、誰ガ號令スルカト云ヒマスレバ、警視廳總監ニアラズ、内務大臣ニアラズ、總理大臣ニアラズ、唯今ノ警察制度其モノガ號令シテ、斯様ナ亂暴ヲサセルノデアル(ノウノ)ト呼フ者アリ制度カラシテ是ハ起テ來ル、制度サヘ直セバ、東京市民東京府民ハ枕ヲ高クスルコトガ出來ルガ、制度ガ直ラザル以上ハ、原君ガ如何ニ保險ヲ附ケラレタモ、此保險ハ恐ラクハ二百數十万人ノ人民ハ、此保險ナラ大丈夫デアルト云フ信用ヲ、能ウ致スマイト思フノデアル、唯今現在、此警視廳廢止ハ不可デアル、警視廳ヲ置カナケレバナラヌト云フ説ヲ述ベラレル諸君ハ、大抵ハ東京府東京市ニ利害ノナイカ、然ラザレバ極ク關係ノ薄イ人デアアル、之ヲ置カナケレバナラヌト云フ主張スルノハ、誰デアルト云フト、警視廳吏員ハ勿論ノ話、其他餘リ市ニ關係ノナイトコロノ人モデゴザイマスルガ、斯ウ云フ理窟諸君ノ如キハアルマイカ、丁度此警視廳ヲ置カナケレバナラヌト云フ人ハ、東京市ニ利害ノ關係薄キ人デアアルガ、東京市民ガ警視廳ト云フモノヲバ、一ノ株式會社ト見レ

ハ、是ハ東京市民ハ會社ノ株主ナルノデアル、又其役人ハドウデアルカト云フト、此會社ノ役員デアルガ、役員株主以外ノ人ガ寄ッテ、役員ニ給金ヲヤラナケレバナラヌト云ウテ主張スル、株主ハ是ハ危險デアルカラシテ、此會社ハ解散ヲシテ、外ニ組織ヲシテ貫ヒタイト云フ斯ウ云フ今日關係ニナッテ居ルノデアルガ、株主以外カラシテ株主ノ利害ヲモト云フモノガナクナッタアトハ、警察ト云フモノガ決シテナクナルモノデナイト云フコトハ、先刻來縷々吾々ノ同說ノ諸君ガ述ベラレタ通デアリマスカラ、ドウゾ此事情ヲ能ク御察シニナッテ、サウシテ唯一時ノ感情ニ制セラレズシテ——反對ノ諸君ハ、或ハ吾々ハ一時ノ感情ダト言ハル、ガ、吾々ハ決シテ一時ノ感情ヲ持タヌ、懲罰ト云フハ寧ろ政府ノ方カラシテ吾々ニ懲罰ヲ加ヘル、即チ東京府民東京市民ニ懲罰ヲ加ヘルヤウニシテ居ルヤウニ私共ハ思フ、ソレハ事實ニ付イテ申シテ見マセウカ（モウ宜イ）ト呼フ者アリ）警視廳ヲバ存立シナケレバナラヌト云フ說ハ吾々ヲ以テ懲罰的ニス様ナ説ヲ出スト申サレマスルケレドモ、ドチラガ懲罰的舉動、復讐的舉動ヲ爲スカト申シマスレバ、私ハ今ノ内閣ガヤッタト云フ程デハナイケレドモ、内閣モ幾分ノ關係ハゴザイマスルガ、政府ノ側カラシテ寧ろ人民ニ懲罰的復讐的ノ舉動ヲシテ居ルト思フ、ソレハ如何ナル事實デアルカト申シマスルト、諸君、如何デゴザイマスルカ、昨年九月五日ノ最モ此亂暴ニ責任ノアルトコロノ警視總監ト云フモノハ罷メラレタカラシテ、大層民意ヲ容レラレタ如クニ思フケレドモ、ドウデゴザイマセウ、其時ニ最モ指揮命令ヲシタ其時ニ最モ責任ノアル警視廳ノ第何部長ト云フ人ハ、昨年九月五日ニ亂暴ヲシタ、其褒美トカ恩賞デデモアルカ知ラヌケレドモ、富山縣知事ト云フ所ヘ御出世ニナッタトハ如何デゴザリマセウ、（拍手起ル）亂暴ヲシタ故ニ出世ヲサセルト云フ、是ハ則チ復讐ナラザレバ——人民ニ對シテ復讐ナラザレバ懲罰、又警視廳ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ黨々々々聲ノ真中デ、何デモ此三十九年度ニ之ヲ出サナケレバナラヌト云フ程ノモノデナイ、吾々ガ惡ルク申シマスレバ、警視廳ヲ殆ど魔窟ト云ウテ居ルノデアル、此魔窟ト人民ガ思ッテ居ル其魔窟ヲバ、新ニ建立ヲ致シテ、三十九年度ニハ拾六万何千圓、繼續費トシテ四拾六万何千圓、魔窟建築ノタメニ四拾何万圓ト云フ金ヲバ出サナケレバナラヌト云フノハ、即チ政府ノ方カラ吾々ニ軍ヲ挑ム、吾々ガ決シテ警視廳ニ懲罰的舉動ガナイト云フコトハ、此一事ヲ以テモ明カニナッテ居ルノデアルカラ、若シ懲罰復讐ト云フナラバ、其責任ハ吾々ニアラスシテ寧ろ政府ノ方ニアルト私ハ斷言スルコトガ出來ルト思フ、（拍手起ル）斯様ナモノデアリマスルカラ、ドウゾ警視廳廢止ハ諸君ノ贊成ヲ得テ其目的ヲ達シタイ、縱シヤ此議場ニ於テ少數ニナリマシテモ、東京市民ハ今申シマス通、十年ヤ二十年三十年ニ消滅スルモノデナイ、本年敗ルレバ明年、明年敗ブルレバ明後年、恰モ曩ニ東京市特別市制ヲバ七八年ノ辛苦經營テ打敗ッタト同様ニ、警視廳モ今年ナラザレバ明年、明年ナラザレバ明後年、遂ニ目的ヲ達スルマデ、此方針ヲ執リテアリマスルカラ、ドウゾ諸君ハ御贊成ニナッテ、以上ノ事實ニ依ッテ、警視廳ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ御覺悟ヲ願イタヒト思ヒマス

○議長(杉田定一君) 荒川五郎君  
 (荒川五郎君登壇)  
 ○荒川五郎君 唯今肥塚君ハ政府ノ壽命ヲ算用シテ、約束ハ當テニナラヌト云ハレマ

シタ、若シ政府ノ云フコトが當デニナラヌデ、其法ヲ改善スルノ必要ヲ認メマシタナラバ、斯ウ云フ此警視廳ヲ東京府ニ付ケルトカ、一部ヲ警保局ニ付ケルトカ云フ、姑息ノ一決シテ諸君ノ希望ニ適フ改良ノ出來ナイ此姑息ノ法案ヲ出サズニ、何故ニ其目的ヲ達セラル、方法ニ依ッテ御建議ニナラヌノデアルカ、政府モ此中ニ改善ヲ認メルトコロガアリト云ヒ、諸君モアルト云フ、是ハ政府ト議會トノ一致ノ議論ニナッテ居ルノデアル、然ラバ其點ニ付イテ改善ノ方法ヲ求メナケレバナラス、諸君ハ、殊ニ肥塚君ハ東京デアル、東京ノ株主ノ議論ヲ株主外ノ脇ノ者が差出口ヲスルト云フコトが間違デアル、ト斯ウ言ワレマシタガ、ソコハ則チ諸君ハ此中ニ御出デニナルカラ分ラヌノデアル、曩ニ言ハレタ如ク、段々地方デモ警察權ノ濫用ハアツタノデアル、選舉干渉ノ如キハ、九州ニモ四國ニモ入斬ハ澤山アツタノデアル、東京ニ居ル人ハ東京ノ弊害ヨリ外ニハ御承知ガナイカラ、斯様な議論モ出ル、併シ此問題ハ決シテ東京市ノ問題デハナイ、若シ肥塚君ハ株主以外ノモノ、議論ヲ不必要トセラル、ナラバ、頭カラ此議會ニ御出シニナラヌノガ宜シイノデアル、議會ニ建議案トシテ吾々ガ國家ノ進運ニ伴フ必要ノモノデアルト信ジ、或ハ其弊害ヲ認ムル上ニ於テ、之ヲ議論致シマスルノハ、是ハ肥塚君ガツレヲ兎ヤ角言ハレルト云フコトハ、問題ヲ以テ左程ノ大問題トハ思ヒマセヌ、併シ過日議會ニ出マシテ、其關係トシテ茲ニ出マシタ譯デゴザイマスルガ、其警視廳ヲ廢止シヤウト言ハレル四箇ノ理由ノ中ニ付イテハ、吾輩モマルデ反對デハナイノデゴザイマス、中ニハ又其理由アリト認ムル處ガゴザイマス、ソコデ私ハ公平ナル見地ニ立ッテ、簡單ニ此所思ヲ茲ニ陳述致サウト考ヘマス、肥塚君ノ段々申サレタコト、又江間君ノ申サレタコトモ、要スルニ此建議案ノ理由ニ依ッテ其中ノ部分ヲ説明セラレタニ過ギナイ、所ガ肥塚君ハ今日ノ制度ハ、政府大臣ハ改良スルト云ハル、ガ、改良ガ出來ナイ、其モノガ惡ルイノデアル、警視總監ガ惡ルイノデハナイ、内務大臣ガ惡ルイノデハナイ、總理大臣ガ惡ルイノデハナイ、制度其物が惡ルイノデアルト言ハレタ、サウスルト制度ハドウスベキカト云フコトノ御説明ガナケレバナラヌノニ、啗ニ此東京府トカ警保局トカ云フダケノ御説明デ、肥塚君ハ制度其物が惡ルイト云フコトノ論決ガ明カナナッテ居ラヌ、即チ肥塚君ハ議論ノ上ニ二制度其物が罪惡デアルト言ヒナガラ、其警視廳ノ役人ガ知事ニナッテ往ッタノヲ攻撃セラル、ハ何事デアル、則チツレハ人ノ罪、デヤト云フコトヲ認メテ、其人ガ知事ニ代ッタコトヲ攻撃セラレナガラ、制度ノ罪ダト云フ、制度ガ惡ルイナラバ、其人ノ惡ルイノデハナイ、一方デハ制度ノ罪ヲ唱ヘ、一方デハ警視廳ノ人が惡ルカッタト云フノハ、甚ダ支離滅裂ナル議論ト言ハナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアル、肥塚君ノ主トシテ論ゼラレタノハ、此理由書ノ第三點、事務ノ統一ヲ缺クト云フコトヲ以テ重モニ言ハレタ、ツレガタメニ深川ノ「ベスト」ヲ擧ゲラレ、或ハ公園地ニ家ヲ造ルト云フヤウナコトヲ擧ゲラレタ、成程斯ウ云フ點ハツリヤアゴザイマセウ、ゴザイマセウガツレガ何モ警視廳廢止ノ理由ニハナラヌ、是ハ明カナ話デアル、警視廳ヲ廢シテ東京府ニ合セタダケデ、何故ニ此事務ガ往キマスカ、肥塚君ノ「ベスト」ノ話、公園地ノ問題モ、決シテ警視廳ノ廢止ノ理由ニハナラヌノデアル、ツレ等ハ即チ内務大臣ガ言ハレル警視廳改善問題ノ中ニ這入ルベキモノデ、若シサウ云フヤウナコトヤ、過日守屋君デアリマシタカ言ハレタ如ク、電氣鐵道ヲ東京府ニ願ヒ、警視廳ニ願フナント云フヤウナコトガ

アテ面倒ト言ハレマスガ、是ハ若シ事務が統一出來モノナラバ、便宜ノ上デ、行政ノ方ヲ改メテ一ツニ願フテ差支ナイヤウニ出來ラレモノナラバ、シタラ宜カラウ、是ハ即チ改善問題トシテ講究スベキ價ノアルモノデ、決シテ廢止ノ理由ニハナラヌノデゴザイマス、若シコレガコトニ臨ミテ出ルカラシテ、ソコヲ廢止シナケレバナラヌト云ヘバ、彼ノ電氣鐵道ノコトデモ、内務大臣ニ持テ出テ、又遞信大臣ニモ持テ出ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデハイケンイト云フナラバ、遞信省ヲ廢シテ内務省ニ付ケテ吳レト云ハナケレバナラヌ、即チ論究スレバ皆サウナラバ、然ルニ唯其一部分ノ小事例ヲ取ツテ、制度其モノ、攻撃ノ材料ニセラル、ノハ、甚ダ其理由ヲ得ヌト私共ハ信スルノデア、(一)支離滅裂ナル「ト呼フモノアリ」是等ハ實ニ支離滅裂ナル議論デアル(笑聲起ル)第一義ニ立川君が十分ニ述ベラレタ通ニ、時勢ノ進運ニ伴ハヌト云フコトヲ根據ニ置キ、ウレカラ權力ノ濫用何ヤト云フ一ツノコトヲ見テ、サウシテ楯ノ半面ヲ幾ツモ見テ居ル理由デアル、殊ニ此理由由書ニ持テ往テ巴里ニ於ケル專制時代ノ遺物ヲ持ッテ來タノヤト云フヤウナコトハ、實ニ是ハ理由由書ガ文章ヲ舞シテ人ヲカケリ込マサウト云フニ過ギナイ、若シ西洋ノ例、是ハ勿論立川君ノ言ハレル無理ニ西洋ノ例ヲ必シモ喋々スルニハ及バナイケレドモ、西洋ノ例ト致セバデス、英吉利デモ、獨逸デモ、何處デモ、斯ウ云フ警視廳ハアル、殊ニ倫敦ノ如キハ市ニ警視廳ガアルケレドモ、其上ニ又倫敦都府ノ警視廳ト云フモノヲ置イテヤテ居ル、若シ此廢止論者ガ議論セラル、ガ如ク、其一部ヲ東京府ニ入レ、一部ヲ警保局ニヤルト云フコトニナッタラバ、丁度倫敦市ノ警視廳ト同コトニナリシマフノデゴザイマス、警視廳ハ今日人民ノ直接ノ事務ヲ執テ居リマセヌガ、若シ之ヲ警視廳ラシテ高等警察ノ事務ヲ執ラスト云フコトニシレバ、是ニハイロ／＼ナ機關ガ要ル又役人モ要ル、ソレ等ハ則チ又直チニ反對論者ノ言ハル、ガ如ク、藩閥ノ爪牙何カニナリヤルト云フ時分ニハ、再ビ此弊害ヲ除去スルコトノ出來ヌノハ同ジコトデアルノミナラズ、ヨリ一層ノ弊害ヲ見ルコトガアルカモ知レヌト思フノデア、元ト警視廳ニシテモ或ハ別ニ置ク必要ガナイ役所デモ之ヲ置イテヤッタラ 又出來テ來ル 必要モアル、是ハ諸君モ御承知ノ通ニ、歴史ハ便利ヲ產出スモノデアル、又時勢ハ必要ヲ生ジテ來ルモノデアル、況ヤ今日マデニ來テ居ル我警視事務ノ發達ハ、例ヘバ此火事ノ如キデモ、東京ニハ是ハ實ニ江戸ノ花ト唱ヘラレタノガ、今日ニ至テハ、此時勢ニ於テ非常ニ其害ヲ減シテ來タ、是等ハ明カナル一例デ、其他衛生ノ上、或ハ交通ノ上、非常ニ増シテ居ルトコロノ事務ハ、皆此制度ニ據テ取り得タルコロノ效能モ、確カニ認メナケレバナラヌノデア、諸君ノ中ニハ段々申サレ、殊ニ此理由由書ニモデス、警視廳ノ威信ガ俄ニ失墜致シタ、市民ノ信頼ガ無イト云フコトガアル、是等ハ免角此人民——我儘ナ人民ハ、ソレハ警視廳何カハ具合ガ惡ルイデアリマセウ、右ヲ歩ル者ニ左ヲ歩ル者ト云ッタラ、便利ガ惡ルイタラウケレドモ、ソレハ即チ此取締ノ事務ノ必要ガアル所因デアル、地方デモ此巡查何カ、村落デ評判ノ惡ルイノハ、却テ其實地ハ——實際ノ事務ハ能ク舉テ居ルト云フコトガ段々アル、我儘ナ人ガ便利ガ惡ルイカラ、ソレデ制度ガ惡ルイト云フコトハ、甚ダ公德ニ乏シイトコロノ議論ト云ハナケレバナラヌ、諸君ハイロ／＼ニ言ハレテ、殊ニ提出者ノ如キハ、花川戸ノ隱居ガドウトカ、イロ／＼ノ事ヲ取り出シテ話サレマスレドモ、是モ何ニモ警視廳ガ、惡ルイ警視廳デヤカライケンイト云フコトコロノ

議論ニハ更ニナラナイノデ、殊ニ昨年ノ九月——彼ノ九月ノ騷擾事件ノ如キハ、是ハドウ云フ譯テ起キタモノデアルカ、當時我日本ハ此大敵ヲ控ヘテ、所謂舉國一致デ政府ノ意氣、人民ノ意氣、共ニ此一致ノ上ニ、社會ノ人モ遣リ、或ハ新聞ナドモ皆是ニハ一致ヲケシ掛ケテ遣タノデ、其日本ノ勢ハ非常ナル勢力ヲ以テ、進シテ往キ居タノデア、ソレガ一時談判ト云フトコロデ、ヒシヤト止マラネバナラヌト、云フトコトニナリテハ、其衝動ガ何處ラニカ來ナケレバナラヌノデア、併シ其國家ノ大動力ヲ持ッテ行クベキトコロノ此衝動——其衝動ガアノ位ノ事件デ濟シタノハ、國家ノ大衝動トシテハ、其餘波ガナカ／＼少ナイト云デモ宜カラウト思フノデア、(成程其通りト呼フ者アリ)然ルニソレ等ヲ取り、殊ニサウシテ以テ是ヲ一ツノ動機トシテ、サウシテ角田君ノ如ク口取書ヲ讀上ケテ、サウシテソレヲ以テ此警視廳ト云フ制度、其物ノ議論ニセラル、ト云フトコトハ、マルデ議論ニナラヌコト、本員ハ信ズルノデゴザイマス、若シ諸君、警視廳ノ制度ガ惡ルイ、事務ノ統一ガイケンイト云フナラバ、其イケル方案ヲ茲ニ具シテ出サレタラシ、今日ノ事務ヲ唯東京府ニ遣ラセ、或ハ警視廳ニアレヲ持ッテ往テバコトハ、愈一層姑息デ、一層ノ弊害ヲ見ル所因デアル、決シテ諸君ノ目的ヲ達スルコトノ出來ナイノミナラズ、先ニ立川君ガ言ハレタ如ク、實ニ是コソ憂シト見シ夜今ハ懸シキデアラウト考ヘ、諸君ハ此問題ニ於テハ、其事件ヲ取出シ、東京市ノ問題ニナッタト云フヲ取ツテ、其將來ガドウナルカト云フトコトモ研究セズ、一目散ニ此警視廳(衝キ當テ往カレルト云フノハ、是ハ唯一時ノ感情論トシテ、我帝國議會ノ問題トシテ出スノハ、決シテアリ得ラヌモノト本員ハ信ズルノデア、吾輩ハ昨年ノ事件ハ、諸君ガ述べタ如ク、甚ダ遺憾ニ思フ、併シ其衝動ガ濟ミ、驟雨一過シタラバ、諸君モ其當時ノ感情ハ洗ウテ宜シ、又之ガタメニ河野君ヤ、或ハ大竹君ヤ、小川君ナドガ刑事ノ身分トナレテ、サウシテヤルト云フトコトモ、甚ダ本員等ハ分ラナイコト、思フ、ソレモ一向關係ナイ話シデア、此警視廳問題ヲ以テ騷ガレノモノ、一部ノ感情デ價ノナイ話ト本員ハ感ズルノデア、此全體之ニ付イテ、組織アル基礎アル議論ガ出レバ、此四箇條ノ理由ニ付イテ、私ハ一々辯駁ヲ致ス積リテ、其要點ヲ調ベテ來テ居ルケレドモ、斯様ニ唯感情デナイト云ウテ、感情ヲ持テシ制度デナイト云テ、人ヲ持出ス、サウ云フ支離滅裂ナル議論ニ對シテハ、其以上ノ辯ズル必要ハナイト存シマスカラ、是デ今日ハ……

(「討論終結」ト呼フ者アリ)

(内務大臣原敬君登壇)

○内務大臣原敬君 一應政府ノ所見ヲ申シ述ベマス、私ハ此建議案ニ對シテハ、最早此演壇ニ於テ、多辯ヲ費スノ必要ヲ認メマセヌ、ナゼト申スノニ、是ハ請願委員會ニ於テ、私ハ充分ニ政府ノ所見ヲ陳述致シマシタ、其結果多數ヲ以テ採用スベカラズ、即チ否決ニ相成リマシタ、次ニ(「速記録ヲ見ロ」ト呼ビ又「謹聽々々」ト呼フ者アリ)次ニ豫算分科會ニ於テモ、此議論ヲ生ジテ是亦少數デ否決サレテ居ル、又此議場ニ於テ豫算ノ會議ノ折ニ、問題ヲ生ジタ、ソレハ警視廳建築ノ項デアリマスガ、端ナクモ警視廳ノ存廢論ニ及致シタデアリマスガ、此時ニモ十分ニ私ノ所見ヲ述ベ、諸君ノ御意見モ承リ、討論ノ結果、殆ド三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ否決ヲ致サレテ居リマス、斯ル明々白々タル問題ニ向ッテ、屢々此議場ヲ煩ハスコトハ私ハ好ミマセヌ、故ニ私ハ諸君ト

共ニ、理非曲直若クハ利害ニ於テ充分ニ討論スルハ、少シモ辭サヌノデアリマスガ、斯クマデ明白ナル問題ヲ、屢ニ繰返スコトニハ、同意ハ出來ヌノデアアル、故ニ私ハ政府ノ所見ヲ簡單ニ再ヒ述ベマシテ、政府ハ警視廳ノ改良スベキ點ヲ發見致シマシタナレバ、少シモ此改良スルコトニ吝ナヌヲ、既ニ其改善ヲ計ルコトニ著手ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此警視廳ヲ全廢スルコトニハ御同意ハ出來ヌ、其理由ハ再ヒ同ジコトヲ繰返ス必要ハナイ、建議者ハ請願ト同ジ理由ヲ以テ、建議サレテ居リマスガ、私ハ同ジ理由ヲ何回モ繰返スコトハ好ミマセヌ、常識ヲ以テ判斷シテモ、東京ノ如キ所ニハ警察ノ特別ナル機關ヲ置ク位ノコトハ、何人モ容易ニ判斷スルコトガアル、然レドウ云フ次第デアリマスルカ、何回モ同ジ事ヲ繰返サレテ、其論ハ或ハ右ニ往キ左ニ往キ、唯同ジコトヲ幾回モ繰返サル、ノニ過ギヌノデアリマスルカ、是ノ如キ論旨ノ跡ヲ逐ウテ、私モ同ジコトヲ繰返シテ、此議場ヲ煩ハスコトヲ好ミマセヌ、政府ノ所見ハ諸君ニ於テ十分御了解ト信ジマスルニ依リテ、此案ハ速ニ否決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 島田三郎君

(討論終結ト呼フ者アリ)

(島田三郎君登壇)

○島田三郎君 諸君、本員ハ御問題ニ付イテハ一定ノ確信ガゴザイマス、併ナガラ、公ケノコトハ一個人ノ確信ヲ以テ何處マデモ之ヲ貫クト云フ偏頗ノ心ヲ持テハナラヌ、能ク御議論ヲ承テ、本員ノ所信ヲ變更スルノ機會アルヤ否ヤト云フコトヲ謹シテ待ツテ居リマシタ、所ガ不幸ニシテ巧ミナル演說ヲ立川君ヨリ承ハリ、尙音吐強大ナルコロノ演說ヲ荒川君カラ承ハリマシテ、不幸ニシテ立川君ノハ如何ニモ愉快ニ聽取レマシタケレドモ、事枝葉ニ涉ッテ實ハ新タニ辯駁スル程ノ事實ヲ見出シマセヌノハ、本員ノ理解力ノ乏シイト云フコトヲ歎スルカ、若クハ御話ニナタルコトガ言語ノ枝葉ニ涉ッテデアラウト本員ハ思フ、荒川君ノ御議論ニ至リマシテハ、徹頭徹尾本員ハ其要旨ヲ理解スルニ苦ミマス、(ヒヤ／＼ト呼フ者アリ)是ハ一種ノ蓄音器ヲ承ツタト私ハ理解致シマシテ、サウシテ音樂的ニ拜聴ヲ致シマシテ(笑聲起ル)併ナガラ是ハ矢張本員ノ理解力ガ乏シイトデアタカ、罪ハ何レニアルト云フコトハ、多數ノ御方ノ判斷ヲ請ウテ公平ナル決斷ニ任スヨリ外ニ仕方ハナイ、捉ヘテ見マスレバ、唯今演壇ニ立タレタルコロノ、原内務大臣ノ御話デアルト思フ、實ハ此三時間程ハ甚ダ議會ノタメニ大切ナル時間ヲ浪費シタト云フ歎息ノ聲ヲ漏ラサナケレバナラヌ、併ナガラ原君ヨリ承ツタルコトハ、原君ノ申サレタル通、同ジ事ヲ繰返スコトヲ忍ビヌガ故ニ申サヌ、再ヒ此議場ニ現ハレタルコロノ問題ニ付イテハ、既ニ豫算委員會ニ於テ述べ、尙請願委員會ニ於テ述べタル通デアルト云フコトデゴザイマシタガ、本員ハ謹シテ是等ノ逐記録ヲ讀ミマシタノデゴザイマス、併ナガライロノ辯論ガアツテモ、要スルニ一ツノ點ニ歸スルと思ヒマスノデ、一ハ過去ノ失策ハ現代ノ内務大臣ガ其責ニ任ジナイ、是ハ其通、本員ハ承諾ヲ致シマス、今一ツハ改革ヲ加フレバ決シテ警視廳其モノハ無益ナモノデナイ、其弊害ヲ認メテ居ルコトハ改革ヲ加ヘル、斯ウ云フデケニ止マツテ、其改革ハ如何ナル内容デアルカ、如何ナル趣向デアルト云フコトハ、本員ハ之ヲ承ハルコトガ出來マセヌ、是ハ將來ニ屬シマスカラ、原君ノ技倆ト信用ニ任セルヨリ致方ハナイ、併ナガラ不幸ニシテ本員ハ是マデ政治家ノ約束ト云フコ

トニ餘リ重キヲ置クコトノ出來ヌ不幸ナ歴史ヲ持ツテ居ルノデアアル、本員ガ前回ニ於テ減債基金並ニ増稅繼續ノ上ニ付イテ述べタル如ク、曾テ民間ニアラレタルトキハ僅カニ七百萬圓ノ増稅ノタメニ議會ノ解散ヲ賭シテモ、爭ハレタルコロノ人ミガ、一度其權力ヲ得マスレバ、一億六千萬圓ニ向テ無言ノ間ニ繼續ニ承諾セラル、ト云フ、此歴史ヲ考ヘテ見マシタナラバ、後來ノ約束ニ向テ本員ハ信用ト技倆ト、此二ツヲ無形ノ文字ニ依頼スルコトノ出來ナイノヲ誠ニ歎息スルコロノ者デアリマス、本員ハ是ヨリシテ其改革ノコトヲ分析シテ見テ、如何ナル點マデ改革ヲ行ハル、カト云フコトヲ推測シテ評論ヲ加ヘテ見タイト思ヒマス、兎ニ角ニ原君ハ警視廳ノ廢止ニハ反對デアルト云ヒマスレバ、大體ノ基礎ヲ警視廳ノ繼續ニ置イテ、其内部ノ改造ニ著手セララル、モノト理解シテ、少シモ間違ハヌト思フノデアリマス、本員ノ不幸ニシテ原君ト所見ヲ異ニシマスルハ、警視廳其モノガ制度ノ凝結シタルモノデアツテ、其制度ヲ根柢ヨリ改メナケレバ、改善ト云フコトハ所謂名ノミノ改善デアツテ、本員ハ東京多數ノ市民ト共ニ満足ナ結果ヲ希望スルコトハ出來ナイト確信シテ居リマスルカ、其確定ノ次第ヲ是ヨリ述ベテ依然トシテ矢張反對ノ意ヲ表サナケレバナラヌト思フ、屢ニ贊成ノ方ミガ繰返サレタル如ク、警視廳ノ廢止ト云フコトハ警察制度ノ廢止ト云フコトハ全ク違ウタルコトデ、寧ろ吾々ノ所見ニ依リマスレバ、進歩ト整頓トヲ意味シテ警視廳ノ根柢ヲ變更シヤウ、即チ廢止シヤウト云フ意味デアリマス、ソレ故ニ警視廳ノ何故ニ根柢ヨリ變革ヲシナケレバ國民ノ依頼スベキコロノ基礎ヲ立テルコトガ出來ナイト云フコトヲ說カナケレバナラヌト思フ、此警視廳ノ性質ニ付イテハ、我國警察ノ沿革系統ヲ論ズルノ必要ガアルト思ヒマスルカ、其實事ヲ御承知ノ諸君ニ向テハ、甚ダ御氣ノ毒デアリマスルケレドモ、是ノ如キ問題ガ屢ニ否決セラル、ノハ、事實ヲ御承知ナイトコロノ結果デアラウト本員ハ推測シテ、其事實ヲ舉ゲヤウト思フ、抑、我國ノ警察ニハ一ツノ系統ガアルノデ、一ツガ人民保護ノ系統、一ツガ政權確立ノ系統ト本員ハ名稱ヲ下スノデアリマス、是ガ今日ニ於テハ地方ト中央ト分レテ、警視廳ヲ中央トシテ居リマスル、中央警察ハ政權確立ノ系統ヨリ出タルコロノモノデアアル、地方ノ人民ニ向テ保護ヲ與ヘルコロノ地方的ノ警察ト云フモノハ、人民保護ノ系統ヲ受ケテ出タル警察デアルト思フ、抑、我國ノ警察制度ハ警視廳ニ依リテ定ツテ、警視廳ニ依リテ始ツタト云フノハ、明治初年ノ警察歴史ヲ知ラヌトコロノ御方デアルト思フ、明治四年頃ト本員ハ記憶シテ居リマスルケレドモ、其以前ニハ警察ノ思想ノ泛ビマシタノハ、外國人ニ對シテ日本ノ暴徒ガ危害ヲ加ヘルト云フノニ付イテ、是ハ國ノ基礎ノ上ニ危害ヲ與ヘルモノデアアルカラ、先以テ之ヲ取締ラナケレバナラヌト云フノガ、我國ニ警察思想ノ起リマシタ起原デゴザイマス、ソレ故ニ明治四年頃、時ノ神奈川縣令ヲシテ居リマシタ陸奥宗光君ガ、何トカシテ内外ノ制度ヲ改革シタイト云フ、斯ウ云フ案ニ對シテ、ソレマデハ矢張幕府ノ遺制ヲ持ツテ居リマシタ、幕府ノ遺制タルコロノ制度ヲ持ツテ居リマシタ、番兵ノ如キモノガ兩刀ヲ帶シテ關門ヲ守ツテ居リマシテ、外人ノ危害ヲ防イテ居リマシタノデゴザイマスルケレドモ、是ハ單ニ外國人ノ危害ヲ防グニ止マツテ、一般人ノ保護ヲ兼ネルコトガ出來ナイカラ、此制度ヲ一變スルコトシテモ、何シノ制度ヲ執ラウカト云フノデ、香港上海アタリノ居留地ヲ守ルコロノ英國ノ警察制度ヲ翻譯シテ、日本ノ國情ニ充テ、兩刀ヲ帶シテ居ルコロノ番兵ヲ廢メテ、之ニ換フルニ劍ヲ廢セシメテサ

ウシテ、保護ノ棍棒ヲ携ヘル制度、遷卒ト稱シテ初メ用井タノガ神奈川縣ノ横濱ニ現  
ハレタルトキガ、警察ノ起原デアデ、此以前ニハ實ハ我國ニ警察ト云フモノハナイ、此  
警察ノ起原ハ地方ニ起テ中央ニ發シタノデナイ、是ハ人民保護ノ目的トシテ居レバ、  
其制度ハ英國殖民地ノ制度ヲ採リマシタカラ、極メテ人民ニ親密ナルトコロノ精神ガ初  
メヨリ漲テ居タ、私ハ今日全國ニ於ケル警察制度ノ中、地方ノ分ハ人民保護ノ系  
統ナリト評スルケレドモ、此系統ノ初メテ起リマシタノハ、地方カラ起タト申シテ少シモ  
差支ナイトコロノ事實デアルト思フ、是ト反對デアデ東京ニ起リマシタ政權確立ノ系  
統、即チ今日ノ警察廳ノ起原ハ、ドンナモノデアルカト言ヒマス、是ハ法令全書ヲ繰  
返シテ見レバ、直チニ分リマスガ、明治七年ノ一月ニ始メテ警察廳ガ起タ、一月ニ始  
メテ警察廳ヲ起シマシタガ、其前年ノ十一月ニ内務省ト大藏省ト分テ、始メテ地方ヲ  
鎮壓スルトコロノ中央集權ノ權力ヲ、内務省ニ集メタノデ、其結果トシテ全國ヲ鎮壓ス  
ルトコロノ中心ノタメニ、警察廳ヲ其内務省ノ設立ノ三月以後ニ立タ、内務省ガ全  
國ノ危險ナルトコロノ、土族ノ殘者ニ對シテ、施シタトコロノ勢力ヲ使用スル其一部トシ  
テ、現ハレタル政權確立ノ系統デアルト云フコトヲ、直チニ承諾セラル、ト思フ、此時代  
ニハ私ハ内務省ノ設立、政權ノ確立ハ、最モ時ノ宜シキニ適シタルモノト、今日カラ追  
テ贊成スルモノデアリマス、之ト同時ニ警察廳ガ政權確立ノ羽翼トナテ、天下ノ動  
搖ヲ鎮壓シタト云フコトハ、當時ニ盡力シタトコロノ川路大警視ニ向テ、追讃ヲ客マ  
ストコロノ公平ナル心ヲ以テ、歴史的ニ此事實ヲ證言スルデアル、當時ノ思想ハドウデ  
アル、政權ノ確立ト云フモノガ、此國民ノ動搖ヲ防グト云フ、此精神ニ成立タノハ、  
警察廳ガ變遷セザルヲ得ヌコトナリマシタノハ、人民直接ノ事務ガ殖エテ來タ、行政警  
察ガ殖エテ來タノデアル、ソレデ行政警察ノ區域ガ段々擴張セラレタノデアリマス、此明  
治七年ニ設立セラレタトコロノ警察廳ガ、四年ノ繼續ニ依テ、最早此制度ノ必要ハ  
ナイト云フコトヲ感ジ、當時ノ當局者ガ明治十年ノ十月ノ布令ヲ以テ、官制改革ノ一  
部トシテ警察廳ヲ廢スルコトニナタ、警察廳ヲ廢シタトコロガ、警察事務ヲ廢スルコト  
ハ出來ナイ、無論一方ニ廢シタルトコロノ、其國事ニ必要ナル部分ヲ内務省ニ移シテ、  
警察局ヲ置イテ、警保局デハナカッタ、此警察局ニ屬シタ役人ハ、矢張警視、警部、警  
部補、巡查ト云フモノガアリマスカラ、是等ハ法令全書ヲ御覽ニナレバ、本員ガ申述ベル  
コトニ一ノ誤リノナイト云フコトヲ、確證スルコトガ出來ル、此場合ニ於テ、既ニ警視  
廳ガ中央集權ヲ遂ゲテ、政權確立ノ效力ヲ現ハシタトキニハ、當時ノ政治家モ警察廳  
ノ必要ヲ認メナカッタカラ、行政警察ハ地方ノモノトシ、國事ノ警察ハ警視局、當時ノ  
内務省ニ於テ掌ルト云フコトニナッタノデカラ、誠ニ時ノ宜シキニ適シタ、然ラバ何故ニ明  
治十四年ニ至テ、再ビ制度ヲ變革シテ、再ビ警保局ト改メ、再ビ警察廳ヲ起スニ至  
タカト申シマスルト、先日警視廳舍ノ建築ノトキニ、其一端ハ略述ベテ置キマシタ通、  
一ツハ西南ノ役ニ盡力シタトコロノ、警視廳ノ有功者ヲ何レノ地ニ置カンカト云フ問題  
ト、一ツハ當時民權論ガ勃興致シマシテ、人民ト政府ノ間ニ種々ナル新ナル混雜ヲ起  
シタメニ、前ニハ士族ノ殘者ガ此制度ヲ起シタ警視廳設立ノ原因トナリ、後ニハ民權  
論ノ勃興ガ、再ビソレヲシテ人民ニ鎮壓力ヲ加ヘナケレバナラヌト感ゼシメタ原因デ、西南  
ノ亂ニ盡力シタ警視廳ノ拔刀隊ノ士官ヲ、何レノ地ニ置カンカト云フ問題ト相結ンデ、

一ツハ憲兵ノ設置トナリマシタ、若シ此時ニ民權論ガ勃興セズ、政治論ガ社會ニ辭勃  
トシテ起ラヌケレバ、恐ラクハ此制度ノ沿革ヲ今日ニ引續ケテ、警察廳ヲ今日ニ見ナシ  
ト思ヒマスカラ、警察廳ハ東京市ニ固有ノモノデ、東京府ニナケレバナラヌト云フノハ、實  
ニ此制度ノ沿革、此性質ヲ知ラザルトコロノ、失禮ナガラ無學無智ノ結論デアルト本員  
ハ評スルデアリマス、是ヨリ後ノ歴史ハ、諸君ハ諸君ノ如ク、殊ニ政友會ノ古キ方々  
ニ於テ、警察廳ト奮戰激闘セラレタトコロノ歴史ヲ御承知デアラウト思フ、明治十四年  
ヨリ二十年ニ至ルマデハ、各地ノ演說會ハ解散セラレ、新聞ハ發行停止ヲ被リ、或ハ刑  
事ニ觸レテ牢獄ニ繋ガレルト云フ、此中心トナッタノハ警視廳デ、當時ノ民權論者ハ、  
此警視廳ト奮戰激闘ヲ爲シタ、其事實ヲ身ニ經歷セラレタ者ハ、今ハ氣力消磨セリト  
雖モ、尙記憶ハ全ク失ハヌト思ハレル、先ヅ大略斯ウ云フ譯デアル、ナケレバナラヌト思  
タノハ、間違テ無クシテ、濟シタ時代ガ三箇年四箇年アッタト云フコトヲ思ハレタナラバ、當  
時ノ東京ノ、東京市ノ人口ト云フモノハ、今日ヨリハ少ナカッタ、併ナガラ當時ノ時代ハ、  
多事ノ時デアデ、今日ノ如ク憲政ハ施カレズ、議會ハ開カレズシテ、人民ト政府ト格闘  
シタ時代デアルカラ、警察廳ノ事務ハ繁多デアツタ、併ナガラ警察廳ガアツタメニ、政府  
ノ便利トナルコトハアツタケレトモ、民權ノ發達史ニ思ムベキトコロノ歴史ヲ止メタト、本  
員ハ追テ歎息ヲシナケレバナラヌ、本員ハ一片感情ニ奔ラズシテ既往ヲ評シマスル、政權  
確立時代ハ川路君ガ四股トナテ、犧牲的精神ヲ以テ盡力セラレタノハ、大久保利通  
君ト共ニ、明治ノ功力ニ追隨スベキモノト本員ハ評スルト、同時ニ二十三年以後二十年  
後ニ現ハレタトコロノ警察廳ノ鎮壓勢力ト云フモノハ、如何ニシテモ稱讃スルコトハ出  
來ナイデアリマス、之ガ從來ノ譯デアリマスガ、然ラバ是ノ如キ歴史ヲ持ッテ居ルナラ  
バ、現在ノ制度ハ如何、現在ノ制度ハ誠ニ原君ノ論ゼラル、ガ如ク、改革ニ依ッテ善  
ナルト云フコトデアルガ、既往ノ改革ハ此歴史ヲ抹殺スルニ足ルモノトシテ善キモノデア  
ラバ、強チニ歴史ニ依ッテ警察廳ニ反對論ヲ立テルモノデハナイ、現在ノコトニ於テ  
モ又大ナル弊害ヲ見ルデアルト、立川君ノ述ベラレタ事實ノ間違ハ、訂正スル必要  
ガアルト思ッテ居ル、明治二十三年ニ始メテ議會ニ現ハレタルトコロノ豫算案ノ議事、是  
ガ本會ニ附セラレヌ以前ニ、豫算委員會ガ査定案ヲ作ッテ、行政費ヲ減ズル官制ヲ改  
革スルト云フ一部トシテ、警察廳廢止ノ豫算ガ委員會ニ確立シテ居リマス、當時此豫  
算委員ノ多數ヲ占メタ聯合會ノ政友會ノ方々ガ、熱心ニ警察廳廢止ニ贊成セラレタ、  
討論セラレタコトハ、豫算會議ノ速記録ヲ其處ニ於テ諸君ガ廣クセラレタナラバ、其中ニ  
恐ラクハ立川君ノ名前ヲ見出スカモ知レヌト本員ハ思ウテ居ル(立川雲平君「ノウ」  
誣ルモ甚シト呼フ)立川君ハ居ラヌトモ、政友會ノ多數ガ中心デアッタト云フコトヲ、本員  
ガ確言スルコトガ出來ル、立川君ハ居ラナカッタカモ知ランガ、政友會ガ多數デ先鋒トナ  
テ、政府ニ向ッテ査定案ヲ議決シタ、若シモアノ時ニ大同俱樂部ナル同意ガナケレバ、  
政友會ハ警察廳廢止案ニ多數起立セラレタデアラウト思フ、確カニ本員ハ此歴史ヲ抹  
殺スルコトハ出來ヌコトヲ、立川君ニ告ゲナケレバナラヌ、次ニ憲政内閣ノトキニ、大阪  
ニ警察廳ヲ置クノ議ガアツタ、本員ハ幸ニシテ憲政内閣ノ内部ニ入ルコトハ無能故ニ嫌  
ヒデアツタ、ソレ故ニ憲政内閣ノ内部ノコトハ知ラナイケレドモ、本員ノ朋友ヨリ聞クコ  
ロニ據レバ、當時ノ自由派ノ所見ニ反對セラレテ、警察廳ヲ増スト云フコトニ、進歩派

が廢スト云フコトデ、是が憲政内閣ノ混雜ヲ生ズル一ツノ原因デアット承知シテ居リマスカラ、之ヲ以テ當テ此議ガナカッタト云フコトハ、事實ヲ知ラザルトコロノ者ハ、當時ノ政治史、新聞紙ヲ御調ベニナレバ、其通アルト本員ハ確カニ記憶シテ居ル、ソレカラ東京府ノ中ニ成立チマシタ此警視廳ガ、如何ニ變化セネバナラヌカト云フコトニナリマス、其以前ハ費用ハ國費ヲ支辨シタモノデアリマス、地方ノ建築費、道路費、其他警察ノ費用ハ國費ヲ支出シマシタガ、政治ノ變化ト改革ノ結果、之ヲ地方費ニ移シマシタ、今日テ何レノ地方ガ建築ナリ、或ハ巡查ノ給料ナリ、警察ノ總テノ費用ヲ、地方テ負擔セザルトコロノモノガアリマセウカ、國テ負擔シテ居リマスモノハ、警部以上ノ給料、東京デ云ヒマスレバ、警視廳官舎ノ如キモノデアッテ、其他ノ警視廳ノ巨多ノ部分ヲ占メテ居リマス費用ハ、悉ク市民府民ガ支出シテ居ルノデアリマスカラ、此市民府民ガ快ク費用ヲ與ヘルト云フ警察制度ガアッテ、始メテ警察官ハ事務ヲ圓滑ニナシ遂ケルコトガ出來テ、而シテ事務ノ後援ヲ有スルト云フコトガ出來ルデアラウト思フ、國民ニ親切ナル政治ヲ執ルニハ、此消息ヲ知ラナレバナラヌト本員ハ思フ、而シテ其事務ハ如何、其事務ヲ取調ベテ見マス、國事鎮壓ノ性質ト全ク異リ、變ノ事ト常ノ事トアリマスガ、常ノ事ガ多イノデアリマス、道路ノ費用、衛生ノ費用、營業取締、風俗ノ取締等、皆ナ複雜シテ東京府下ニ出テ來ル、殊ニ市内ニ多ク出テ來タノトラ、併セテ二百萬以上ノ人口ノ生活ニ、毎日現ハル、トコロノ細大ノ事務ハ、警察ニ關係スル事ガ多イノデアリマスカラ、是ハ純然タル人民生活の、行政警察アルノデアリマス、其他ニドウ云フモノガ、時勢ノ變革ニ依ッテ湧イテ出タカト申シマス、政府ハ裁判所構成法ノ變革カラ致シテ、檢察ガ犯罪ナリ其他緊急ノ事件ヲ、搜索スルタメ警察ノ助ケヲ要スルト云フ、所謂搜索の事務ノ警察ガ殖エテ來マシタ、此二ツノモノ、一ツハ行政警察多分ヲ占メテ居リマス、道路、衛生、營業免許、風俗取締ト云フヤウナモノガ起ル、一ツハ檢察ニ專屬シテ、檢察ノ事務ヲ受クベキ性質ノモノガ、警視廳ノ中ニ湧イテ來マシタカラ、此二ツノモノガ當時ノ國情ヲ鎮壓シテ、中央ノ政權ヲ確立スル、警視廳ノ起源ノ下ニ組織サレタ、此元ノ權限以外ニ現レタモノガ多ク占メテ居リマスカラ、斯ウ考ヘテ見マス、獨立トカ或ハ多クノ人口ノ處ニハ、是非トモ斯様ナル警視廳ガ要ラナド、云フコトハ、實ニ夢デアッテ、唯知ラザルトコロノ人ノ耳目ヲ驚スニ過ギナイトコロノ、本員ハ噓デアルト思フ、國事的性質ノモノハ、國事的性質ニ依ッテ其專屬スベキ系統ガアルノデアリマス、民事若クハ刑事ニ其指揮ヲ受クベキモノガ、他ノ系統ヨリ起ルノデアリマスカラ、内閣ニ直轄セシメテ、之ヲ警察ノ本職トシテ、サウシテ多分ノ警察費ヲ府民ニ課シ、市民ニ課スルト云フコトハ、市民ガ欣シシ警察費ヲ出ストコロノ情ガ、何レカラ起ルカ、是レ制度變革ニ依ッテ警視廳ノ上ニ變革ヲ加ヘナレバナラヌ原因ノ大ナルモノト本員ハ思フノデアリマス、且又茲ニ事實ノ大ナル不都合ヲ指摘シテ、諸君ノ御聽キヲ煩ハサナレバナラヌ、警視廳ノ權力ト云フモノハ、内務省ト共ニ起シタモノデアリマスガ、政治ノ上ニ重大ナル位置ヲ占メテ居ル、東京府知事ハ内務省ニ屬シテ居ッテ、唯地方官ノ首座ヲ占メテ居ルニ過ギナイ、大阪、神奈川、新潟ノ知事ト別ニ勢力ニ變リハナイ、唯首府ノ知事デアルガタメニ、席順ガ上デアルト云フ位ニ過ギヌノデアル、トコロガ警視廳ト他ノ地方ノ警察ノ權限ト云フモノガ、重大ナル相違ガゴザイマシテ、内

務省ニ屬スルトハ云ヒ、其重モナルモノハ内閣ニ屬シテ居リマスノガ、警視廳ノ組織デアリマスカラ、此警視廳ノ權力ハ優ニ東京府知事ヲ壓スルニ足ル、況ヤ檢事局ヲヤト本員ハ云フノデアル、然レニ此重大ナル權力ヲ占メテ居ルモノニ向ッテ、東京府知事ガ脇カラ此部分ダケノ事務ヲシロ、此部分ダケノ人民ノ事務ニ奔走セヨト云ッテモ、其進退ハ警視廳總監ニ在テ、此警視廳總監ハ一轉シテ内閣員トナルトコロノ歴史の經歷ヲ持ッテ居リマスカラ、此刑事モ之ガタメニ滯滞シ、此民事モ之ガタメニ阻滯スルト云フコトハ、即チ政治上大ナル弊害デアルト思フ、現ニ警視廳總監ガ内閣ニ這入ッテ、當テ受ケテ大ニ權力ヲ、退イタ後マデモ持ッテ居ル人ヲ見出スコトガ出來マス、ケレドモ内務省ハ一旦這入ッテカラ内閣ニ這入ッテ、東京府知事ハ見出スコトガ出來ルガ、東京府知事カラ一轉シテ内閣ニ這入ッテ人物ハ、本員ハ見出サナイ、是ハ人物ニ大小ノ差ガアルニアラズシテ、威勢ノ輕重異ナレバナリト本員ハ思フ、例ヘバ大山侯ハ元老トシテ文武官僚モ仰ギ瞻、國民モ元老トシテ仰ギ瞻シテ居ル、後進ノ一人タル樺山伯ハドウデアアル、ソレカラ唯今ノ宮内大臣田中君ハドウデアアル、是皆警視廳總監カラ内閣ニ這入ラレ、其威力聲望ハ他ノ部分ヲ壓スルダケノ權力アル人デアアルガ、東京府知事ノ内閣ニ這入ラレタノハ、内務次官ニ一逼ナラレテ、ソレカラ大臣トナラレタ芳川子爵ヲ一人見出スコトモゴザイマス、(立川雲平君「蜂須賀侯ガアル」ト呼フ)蜂須賀侯、成程御氣付ノ通餘リ蜂須賀侯ハ現在ノ政治ニ關係ガナイ故ニ、本員ハ言遺シテ居ッテ、其通同シク位ヲ退イタ大山侯爵並ニ樺山伯爵ノ如ク、權力他ニ振ハヌ御氣ノ毒デアアルガ、本員ノ演説ノ中デ忘ラレル程ノ蜂須賀侯デアリマセウ、是ニ於テ警視廳ノ權力ガ檢事局ノ言フコトモ聽カズ、東京府知事ノ言フコトモ聽カナイト云フコトハ當リ前デアル、是ハ如何ニ改正シテ原君ガ山ヲ拔タカヲ有ッタトコロガ、此積年根柢ノアル歴史ヲ、獨力ヲ以テ覆サウト云フコトハ、所謂愚公ノ山ヲ移スモノト本員ハ云ハウト思フ、詰リ改正スルト云ヘバ、其言葉ハ立派デアアルガ、此虛名ニ驚カズ誠心誠意ニ聽カント欲スルノデアアルガ、誠心誠意ト云ヘバ、倫理學ノ講座ニ於テ聽クベキコトデアリマシテ、唯今ノ政界ニ誠心誠意ヲ見ルコトハ難イ、餘リ重キヲ置カスト同時ニ、約束ノ改革ト云フコトハ、實ニ名ハ美デアアルガ甚ダ覺束ナイモノト本員ハ思フノデアアル、サウ云フ譯デアリマシテ、其故ニ實地ニ現ハル、ノハ本員ノ推論結論デアリノデアアル、現在肥塚君ガ唱ヘラレタ「ベスト」ヲ清メル事件ニ於テモ、混雜シタト云フコトデアリマスガ、本員ノ見マス所ニ據リマスレバ、實ハ司法權ノ獨立ヲ上ニ損害ヲ及ボス惡結果ガアルト思ヒマス、警視廳ヲ別ニ置キマスレバ、機敏デアルト云フガ、是モ形容ノ言葉ア、事實ニ於テ何ニモ機敏ガナイ、警視廳ヲ別ニ置クト、大層イロノクノ政治上ノ罪惡ヲ檢索スルニ宜イト云フケレドモ、本員ノ實見スルトコロニ據レバ、之ト反對デアアル、或部分ノ政治上ニハ、警視廳ハ非常ナ勢ヒヲ以テ現ハル、デアアルガ、併ナガラ内閣ガサウサセマイト思ヘバ、直チニ地下ニ埋メルト云フ鎮壓力ヲ持ッテ居ル、其著名ナル事實ヲ舉ゲマスレバ、教科書事件はナリ、愈々此事件ニ著手シテ見ルト、初メハサウデナイト思ッタガ、段々チラニモコチラニモ蔓延シテ來タカラ、内閣ガ是ガ收拾ニ苦シテ、一度電話ヲ警視廳ニ掛ケタラ、末路振ハズシテ終ッタ、此時剛邁ナル檢事ハ、ドコマデモ檢査セントシタガ、氣ノ毒ナルカナ手足ノナイ檢事ハ、法律ヲ楯ニシテハ何事モ出來ナイ、警視廳ノ力ノタメニ檢査サレタ旨ハ罰セラレテ、或分子ハ社會ニ浮シテ

居ルト思ヒマス、是ヲ見タナラバ警視廳ト云フモノハ、政治上ノ潔白ガ期スルコトが出來ヌト云フコトハ、現在アツタ事實デ、之ヲ判定スルコトが出來ルと思フカラ、公平ナル立川君ハ恐ラク前言ヲ取消サル、デアラウト本員ハ思フ(拍手起ル)全體ノ處申シマスルト、東京市民ハ、警視廳ヲ恐レ憚リマススケレドモ、併ナガラ敬愛シテ後楯トナラウト云フモノハ甚ダ少ナイ、實ハナイデアラウト本員ハ思ヒマス、是亦本員ノ想像ニアラズシテ、是ヨリ其事例ヲ舉ゲテ本員ノ虚言ニアラザルコトヲ諸君ノ前ニ提出致サウト思ヒマス、平生警察ノ力ニ依リテ營業ヲ左右セラレモ、警察ニ向テ尊敬ノ意ヲ拂ッテ居リマスガ、是ハ外形ノ禮貌デ、心カラ警視廳ナリ警察ニ尊敬ヲ拂ッテ居ラナイカラ、一旦變事ガアルトキニハ、警察ハ直チニ力ヲ失フテ後援ヲ絶タレノデアリマス、昨年九月五日ノ事件ガ著明ナル著大ナル事件ト思ヒマス、是ハ地方ノ他ノ系統ヨリ成立タ事壓ト對照シテ見レバ、本員ノ言ノ決シテ形容ニアラズ、決シテ虚言ニアラズ、証ユル言葉ナイト云フコトガ分ラウト思ヒマスガ、東京九月五日ニ騷動ガアツテ、丁度是ノ如キ弊害ガ社會ニ傳染スル勢ヲ持ッテ居リマスカラ、各地ニ騷動ガアツテ、神戸ニモ一騷動アリ、殊ニ近クハ横濱ニ大イナル騷動ガアツテ、示威運動モ九月五日ト彷彿タル示威運動ガアツテ、市民ノ集會ガアリマシタ、ソレカラ距ル八里ニ平沼停車場ノ廣場ガアリマスガ、此停車場ノ側ニ集マタコロノ示威運動ノ集會者ガ三万人アリマシタガ、東京ノ人口ハ違ヒマスカラ、其數ハ東京程多クハアリマセスガ、當時有力ナル人ノ忠告ニ依リテ、神奈川縣ノ警察官並ニ憲兵ハ其四邊ニ要所ヲ立テ、示威運動ヲ自由自在ニサシテ、若シ違法違則ノ者ガアレバ之ヲ鎮壓スルニ止メ、朗讀ヲスル者ハ朗讀ヲシ、演說ヲスル者ハ演說ヲシ、愉快ニ自分ノ氣焰ヲ吐イテ去ッテシマッタ、此三万ノ集會ト云フモノハ、平和ノ市民ニ害ヲ及ボサナカッタ、其忠告ヲ東京ノ警視廳ガ容ルベキモノカドウカト云フコトヲ、本員ハ贊成論者ニ反問ヲ致サウト思ヒマス、是ノ如キ忠告ヲ容レヌト云フハ、元ト鎮壓ノ性質ノモノデアツテ、世ノ中ニ行ハレテ居リマス輿論ノ聲ヲ聞タハ、甚ダ感觸ノ乏シイ歴史ヲ持ッテ居リマスカラシテ、民事ノ經歷ヲ持ッテ居リマスルコロノ神奈川縣ノ警察ガ賢明ナルニアラズ、本員ハ公平ニ申シマス、警視廳ノ人、他ニ異ナル惡ルイ人デハナイ、歴史然ラシムルナリ、制度然ラシムルナリ、彼處ニ立籠デヤルトキハ、之ヲ使フモノハ内閣ナリ、費用ヲ出スモノハ市民ニアラズ、府民ニアラズト云フ觀念ガ生ズルカラ、是ノ如キ違ヒガ生ズルデアラウト本員ハ思ヒマス、其後ノ歴史ヲ言ヘバ、愈々本員ノ言フトコロガ虚言ニアラズ、虚言ナイト云フコトヲ證明スルコトが出來テ、大イニ原君ノ御參考ニナラウト思ヒマスガ、其後數日——此示威運動ノ三万ノ集會ガ、平和ニ解散シタ其後數日、演說會場ノ會主ト聽衆トノ間ニ混雜ガ生ジテ、當時ノ流行ノ熱ニ多數ノ聽衆ガ打レテ、家屋ノ破壊ガアリ、平和ノ市民ニ妨害ガ加ヘ、又巡查ノ出張所ニ火ヲ放チ、破壊サレタコトガ横濱ニ起ツタメニ、外國人ガ狼狽ヲシテ軍隊ヲ中央カラ出シテ、其騷動ニ應ジタト云フコトガ、昨年九月十二日頃ト記憶シテ居リマスガ、日ハ確カニ確言スルコトが出來マセヌカラ、十二日頃ト本員ハ明言スル、此時ニ警察ハドウカ、今ノ神奈川縣ノ警察ハ一人モ人ヲ斬ラナイ、非常ニ人民カラ攻撃サレタケレドモ、他ノ良民ガ能ク警察ニ親シテ居リマスカラ、警察ノ後援トナツテ、却テ其亂暴人ヲ鎮メルトコトニ手成ッダカラ、東京カラ送ッタコロノ軍隊ハ無用デアツタト云フコトハ事實デア

リマス、其後ノ形跡ハ速ニ暴民ヲ鎮壓シテ呉レテ、外國人ノ居留シテ居ル町ヲ驚カサズシテ、日本ノ名譽ヲ保存シテ、怪我人ヲ出サナカッタノハ、警察官ノ功デ云ツテ、謝狀ヲ送ッテ居ル、其謝狀ハ世ノ中ニ公ケニサレテ居リマスカラ、若シ本員ノ言フ所ニ一照ノ虛欺ガアルト云フナラバ、諸君ガ之ヲ御調ベニナレバ直チニ分ルコトデアツテ、是ハ世ニ公ケニサレタ事實デアル、是ハ神奈川ノ警察ガ賢明デ、東京ノ警視廳ガ賢明デナイト云フ意味デハナイ、養ハレテ居ルトコロノ風紀、其由テ來ルトコロノ慣習ト云フモノガ、人ヲシテ此變化ヲ爲サシムルデアルト云フコトヲ見タナラバ、其弊ヤ人ニアラズシテ制度ニアラト本員ハ結論シテ少シモ差支ナイト思ウテ居リマス、(拍手起ル)ソレナラバ東京市ニ於テ、數日間亂暴ノ續イタノハ何カト云ヘバ、初メ有志ノ忠告ヲ容レズシテ、有惡ヲ驅ッテ暴民ノ傍ニ冷淡ニ立タシメタト云フコトガ一ツノ憂デアツテ、モウ一ツハ平生、前ニ此本案ノ贊成者トシテ屢々述べラレタ人ノ口ヲ通シテ出デタルガ如ク、東京ノ市民ハ此鎮壓力ノ歴史ヲ受ケテ居ル、警視廳ニ向テ親ムコトが出來ヌ、恐ルベク敬フベキモノト云フ觀念ハ下層ノ民ニアリマシテモ、親ムベク愛スベキト云フ觀念ガ東京府民ニナイトデアリマス、市ニ持ッテ往ッテソレカラ府ニ持ッテ往ッテ、ソレカラ警視廳ニ持ッテ往ッテ云フコトデ、詰リ此等ノ煩雜ニ堪ヘヌノミナラズ、尙又斯ウ云フ弊害ヲ等閑ニシナケレバナラヌコトニナル、東京市ハ人口ガ殖エテ來マスカラ、行政警察ノ事務ガ頻々トシテ増加スルデアリマス、ソレト共ニ物價ガ非常ニ騰貴シテ居リマスカラ、實ハ巡查其他ノ人ニ向ッテ、モウ少シ費用ヲ厚クシナケレバ、斯ウ云フ人ニ方正ノ行ヲ保タシムルコトハ、今日ノ時代ニ於テハムツカシイト本員ハ思ウテ居リマス、此點ニ於テ本員ハ當時官署ニ居ラレドコロノ給料ノ低イ官吏、其他巡查ノ人ニ向ッテハ、生活ノ困難ニ同情ヲシナケレバナラヌト思ウテ居リマススケレドモ、此等ノ者ニ必要ナ度合ダケ厚ク給セシムルト云フ、極ク新シキ思想ヲ持ッテ新シキ時勢ニ應ズルト云フ改革ヲ遂ゲントスルナラバ、東京府民ハ喜ンデ、便利トシテ、警察ノ下ニ服スルト云フコトヲナケレバ、凡テノ費用ヲ増加スルコトハ出來ナイ、凡テ爭ノ下、凡テ反目ノ間ニ立タ東京府知事ガ、如何ニ盡力ヲシテモ、此警察ノ費用ヲ増スト云フコトハ出來ヌ、恐ラクハ人數ノ方ニ割合テ見マシタナラバ、組織ノ太ナルニ拘ハラズ、東京ニ居ル下層ノ警察官ハ、此點ニ於テ困難ヲ他ノ府縣ヨリハ多ク嘗メテ居ルデアラウト本員ハ思フ、如何トナレバ都會ハ物價ガ高ク、地方ハ物價ガ低キソレヲ一ツニ立テ、居ルノハ、餘程氣ノ毒デアルト本員ハ思ウテ居リマス、ソレデアリマスカラ警察力ヲ有力ナラシメ、地方ノ民ヲシテ警察力ニ親シマシムルニ付イテハ、根柢ノ上ニ民事ノ警察、所謂營業ノ取締トカ、風俗ノ取締トカ、道路警察トカ、凡テノ店、凡テノ商ヒ人ノ便利ニナルヤウナ、親和シタ警察ノ制度ヲ立テ、國事處理ノ警察——高等警察ト引別ケルトコロノ此段階ガ出來タナラバ、東京ノ警察ハ大イニ振ッダラウト思ヒマス、強テ市民ノ多數ガ快ク感シナイコトヲ制度上ニ束縛シテ置クノハ、野蠻内閣ハ卒知ラス、耳ヲ人民ニ傾ケル新シイ内閣ガ、依然トシテ舊政策ヲ維持セラル、ニ至ッテハ、本員ハ其考後レタリト言ハンケレバナラヌ之ヲ以テ改革ヲ企テラル、ノハ、其改革ハ恰モ小刀ヲ以テ大木ヲ伐ルガ如ク、之ヲ本員ノ目カラ見タナラバ改革ノ名稱ヲ與フルコトが出來ナイト思フテ居リマス、前ニ申シマタ通、斯ア云フ譯デアル、且又東京ノ巡查諸君ニ本員ハ同情ヲ表サナケレバナラヌ事實ヲ記憶シテ居ル、ソレハ外デモナイ、此低キトコロノ

警察官ハ民同ノアチラノ家ヲ借り、コチラノ家ヲ借りテ住リマスガ、昨年九月五日以後ニハ巡捕ガ其近鄰ニ居ルト、危險ト言ハレノデ、其札ヲ取去テシマツタ、平生ノ國情ハドウカト云フト、盜賊ヲ防グニハ巡査ガ近處ニ住リテ居ルト安心ダト思フノガ、自然ノ情デアッテ、各地方皆然ラザルハナシト思フ居ルノニ、東京ハ之ニ反シテ恐ラク九月ノ月ノ終ル頃マデハ東京市中ニ同居スル巡査ノ札ヲ見ルコトガ出來ナカッタデアラウト思ヒマス、本員ハ一二ノ實例ヲ見テ、全般ヲ推測シテ然ラント思ヒマスカラ、是ノ如キ制度ヲ維持シテ、ドウシテ警察ヲ進歩セシムルコトガ出來マスカ、本員ガ評シテ前世紀ノ生殘リノ品物ト云ウタノハ是デアル、象ニアラズシテ、恐ラクハ他ノ動物デハナイカト本員ハ思フ、親シムベカラザルモノダト云フ性質ヲ持テ居ルノハ此譯デアラウト思ヒマス、本員ハ玆ニ明言スル(簡單々々)ト呼フ者アリ(簡單ニヤルコトハ出來ナイ、本員ハ徒ラニ諸君ヲ勞スルノデハナイ、言ハナケレバナラヌ事ガアルカラ言フデアル、(同ジコトデアル)ト呼フモノアリ)一ツモ同ジコトデアナイデアアル、後トテ速記録ヲ御調ベ下サイ、本員自身ハ警視廳ニ向テ感情ノ反對ヲ持テ居ルモノデハナイ幸ニシテ本員ノ實験ニ據リマスルト、本員ガ暴人ニ襲ハレタ場合ニ警察官ノ保護ヲ受ケタ歴史ハ持テ居リマスケレドモ、併ナガラ本員ハ、演說會場デ妨ケラレテ集會ニ於テ、大ニ亂暴ヲ加ヘラレタト云フ歴史ハ一ツモ記憶シテ居リマセヌ、ソレ故ニ本員ハ感情ヲ以テ議論スルモノデハアリマセヌ、本員ハ今日此生活ニ困難デアルトコロノ巡査諸君——前ニ申上ゲマシタ横濱ノ警察官ガ國民ノ後援ヲ得タト反對デアッテ、其居所ノ札ヲ取去ラナケレバナラヌト云フ警察官、此警察官ノ諸君ニ向テ、本員ハ滿腹ノ同情ヲ表サナケレバナラヌ、併ナガラ公ケノ事ヲ制度上カラ論ズルニ至テハ、唯今申シタ如ク論ジテ、此進歩ト改良トヲ促スノ必要ヲ感ズルデアリマス、決シテ人物ノ上カラ打算スルニアラズシテ——前ノ警視廳總監ヲリシ人ガ、或ハ元老トシテ、或ハ功臣トシテ、内閣員トナリ、其他ノ紳士トナッテ殘テ居ラル、人々ハ、少シモ亂暴ヲスル人デナイト云フコトヲ見、其人物ノ如何ニアラズシテ、其制度竝ニ歴史ノ如何ニアルト云フコトニ著目ヲシタナラバ、直チニ此問題ノ解決ハ出來ルデアラウト思ヒマス、制度ノ缺點ニアリト一言ニシテ盡スコトガ出來ルデアラウト思フ、本員ノ希望スルトコロハ、此理由書ニモアル如ク、總テノ物ヲ分析シテシマツテ、警保局ニ屬スル事務ハ、警保局ニ屬セシメ、内務大臣之ヲ指揮スルノハ、結構デアルト思フ、之ヲ通ジテ司法警察官ヲ使フノハ、恰モ各地方デ警察官ヲ使フ如クニシタナラバ差支ナイト思フ、民事ノ如キ斯ウ云フ品物ヲ商ヒタイトカ、或ハ特許ヲ得タイトカ、或ハ製造所ノ瓦斯ノコトヲ見テ貴フトカ云フヤウナコトハ、一ツモ國事ノ鎮壓ニ屬シテ居ラヌ、是ハ民事デアアル、此民事ハ、實ニ府民ニ取ッテハ大切ナル事柄デアッテ今日許可ヲ得レバ利益デアアルモノヲ、三箇月モ延バサレタト云フガタメニ、市民ガ非常ニ困難ヲ感ズルト云フコトハ、紳士ノ眼ニハ少シモ感シマセヌケレドモ、下層ノ者ニ取ッテハ非常ニ困難ヲ感ズルデアリマス、是等ノコトニ對シテ、府市民民ガ警視廳ニ同情ヲ表セズシテ、反情ヲ呈スルト云フノハ、勢ヒノ然ラシムルトコロデ、之ヲ近ツキ易ク親シ易キヤウニシ、民事ノ取扱モ便利ニ取扱フ警察ヲ立テ、貴ヒタイト思フデアアル、又刑事トシテモ前ニ申シマシタ如ク、警視廳監ガ殆ド内閣大臣ト權力ヲ爭フ如キ制度ヲ立テ、置イテ、是ト進退ヲ決スル、警視廳部ト云フモノニ向テ官等ノ低い、權力ノ低い檢事ガ、之ヲ自由自在ニ使フ

云フコトハムツカシイコトデアアル、況ヤ内閣ガ政治的犯罪、行政的腐敗ヲ抑ヘヨト云フ聲ヲ掛ケタ時分ニ、此警視廳檢事ノ耳目手足トナル一機關デアルト云フコトヲ思フタナラバ、司法權ニ尊敬ヲ與ヘル人ハ、此際改革ヲ必要トスル感シガ起ラナケレバナラヌ、原君ト松田君ト膝ヲ組ンデ御相談ニナッタナラバ、原君ハ松田君ノ主張ニ對シテ同情ヲ表セラレテ、檢事局ノタメニ一言ヲ費サル、トコロガナケレバナラヌ、總テノコトガ發達シタ歴史ガ違テ居ルノト、是カラ内閣ニ這入ルヤウナ人ガ、内閣ノ機密ニ與ッテ居ッテ、警察力ヲ一手ニ握ッテ居ルヤウナコトデハ、行政上ノ腐敗ヲ破ル檢事ノ力ヲ得ラナイデアッテ、前ニ申シタ如ク民事上ノ便利ヲ缺キ、行政上ノ腐敗ヲ來スモノデアリマスカラ、明治十年カラ十四年マデ續イタ制度ヲ再ヒ惹起シテ、今ニ方デモ、人民ガ大ニ此公ケノ事ニ心ヲ寄セタ其時代カラ見レバ、市政モ興リ、市ノ費用ヤ府ノ費用モ多クシテ、其他警察ノ出張所、巡査ノ費用ノ如キモ多ク出スト云フ、此市政府政ニ對シテ相當ナル根柢ニ改革ヲ加ヘルト云フコトハ、誠ニ今日ノ實務的ノ考デアッテ、更ニ虛言デモナケレバ、更ニ感情ニ訴ヘテ此論ヲ爲シタ譯デアリマセヌカラ、本員ハ此理由ヲ以テ原内務大臣ニ再斷ヲ望ムデアアル、内閣モ之ニ同意セラレ、殊ニ檢事局ノタメニ松田君ガ率先シテ同意セラレ、政友會ノ諸君モ亦之ニ同意セラレテ、表決上盲判ヲ捺サレヌコトヲ、切ニ希望致シマス

(討論終結ト呼フ者アリ)

(奥野市次郎君登壇)

○奥野市次郎君 諸君、私ハ此大勢既ニ定マリタル警視廳ノ存廢問題ニ付イテ、之ヲ提出致サレマシタルコロノ諸君ノ熱誠ニ對シテ、深ク感ズルデアリマス、此諸君ノ熱誠ニ感シマスケレドモ、遺憾ナガラ諸君ノ御論旨ニ對シテハ贊同ヲ表スルコトガ出來ヌノデス、此建議案ノ御趣意ハ理由書ニ明カニ書イタルノデ、他ノ諸君ノ段々御高論ヲ承リマシタケレドモ、多クハ枝葉ニ涉ッテ居ルコトバカリデアッテ、一向本論ノアルトコロヲ詳ニ闡明セラレタト云フコトハ、不幸ニシテ本員ノ耳ニスルコトガ出來ナカッタデアアル、故ニ本員ハ矢張此理由書ニ付イテ一應ノ辯明ヲ致シテ、サウシテ尙諸大家ノ演說ニ付イテ、批評ヲ試ミヤウト思フノデス、蓋シ批評ヲ試ミルト云フコトハ本員ノ希望デハナイ、ケレドモサウ云フ考デ此事ヲ御出シニナッタナラバ、益々之ニ贊成スルコトガ出來ナイヤウニナルカラ、已ムヲ得ズ此一言ヲ致サザルヲ得ヌデアリマス、理由書ニハ時勢ノ進退ニ伴ハナイト云フコトガアル、時勢ノ進退ニ伴ウテ制度ノ變革ヲ來スト云フコトハ、當然ノコトデアッテ、決シテ此警視廳ノ問題バカリデナイデアアル、總テノ事皆時勢ノ推移ニ從ッテ、制度ノ變更ヲ致スト云フコトハ當然ノコトデアリマス、今警視廳ノ歴史ニ最モ精通セラハ、トコロノ島田君ノ講座ヲ拜聽致シマシテ、(笑聲起ル)警視廳ノ起ラザリシ以前、警視廳ノ起リヨリ以來、今日ニ至ルマデノ經過ヲ詳ニ御述ベニナリマシテ、吾々實ニ得ルトコロ甚ダ少カラヌデアリマスガ、此講座ヲ拜聽シテ見テモ、警視廳存置以來幾多ノ變遷ヲ經來ッテ居ルト云フコトハ明カデアアル、又此警視廳ノ制度ガ惡イ、警視廳ノ制度ガ惡イカラ、之ヲ廢メナケレバナラヌト云フ議論、是ガ則チ提出者ノ主論デアリマスガ、私ハ所謂舊實ニ依ラバ之ヲ奈何、何ゾ必シモ改メ作ラント云フコトデ、若シ之ヲ改メテ改革ヲ加ヘデサウシテ用井ルニ足ラナラバ、必シモ之ヲ廢スルノ必要ハナイト思フ、是亦

議論ノ岐カル、トコロデアル、提出論者ハ固ヨリ廢止スルヨリ外ニ活カスベキトコロノ途ガ  
ナイト言ハル、ガ、本員等ハ之ヲ廢サズトモ、制度ノ罪ニアラズシテカラニ、之ヲ統監スル  
コロノ人、其宜シキヲ得ザルヨリ、今日マデノ禍害ヲ生ジタモノデアルカラ、組織ノ上ニ改  
良ヲ加ヘ、其統監スル人ヲ得タナラバ、今日マデノ如キ弊害ハナイト斯様ニ論スルカ  
ラ、即チ此議論ガ反對ト贊成トニ岐レルデアル、贊否ノ岐ル、トコロ極メテ單純デア  
ル、之ヲ存スルコト云フ論ニ對シテハ、今日マデノ警視廳ハ獨立官衙デアルカラ、權力ガ過  
大デアル、權力ガ過大デアルカラ、之ヲ濫用スルノ弊ガアルト斯ウ言フ、諸君獨立ノ官衙  
デアルカラ權力ヲ濫用スルノ弊ガアルト言ハル、ガ、若シ之ヲ東京府知事ニ委任シタナ  
ラバ、其權力ヲ濫用スルコト云フノ弊ノナイト云フコトハ、ドウシテ左様斷定ガ出來ルノデ  
アルカ、警視廳監ハ固ヨリ時ノ内閣ノ奏薦ニ依テ任命セラレタル一人ノ役人デアル、東  
京府知事モ亦時ノ内閣ノ奏薦ニ依テ就任スルコトコロノ一ツノ役人デアル、肥塚君ノ如  
キ人ガイツデモ東京府知事ヲナスコト下サレバ宜シイノデアルガ、併シドウモ東京府知事ハ  
官吏デアル、民選ニ成ル者デハナイノデアル、故ニ若シモ蠻勇ヲ振フトコロノ内閣ガアリ、  
即チ非立憲ノ内閣員ガ非立憲ノ人間ヲ奏薦シテ、東京府知事ニ其權力ヲ附與シテ御  
覽ナサイ、ドンナコトニナルカ、島田君ハ唯今人民ト親シムヤウニシナケレバナラヌト言ハ  
レタガ、平生民政ヲ執ルトコロノ警察官ガ、人民ニ親切デアラナラバ、人民モ亦之ニ  
親ミ敬フト云フ信念ガ生ズルト言ハレタガ、ソレハ善意ヲ以テ見タトキデアル、善キ人ガ  
出タトキデアル、即チ立憲ノ人ガ東京府知事ニテ居ルトキハソレデ宜シイデゴザイ  
マセウケレドモ、上ニ藩閥ノ政府アリ、上ニ非立憲ノ政府ガアテ、其奏薦ニ依テデナ  
タ、其選任ノ人ガ府知事ニテタトキハ、如何デアルカ、之ニ獨立誇大ノ警察權ヲ持  
シメタナラバ、恰モ虎ニ翼ヲ添ヘタルガ如クニ、諸君ガ最モ忌嫌フトコロノ佛蘭西ノ二世  
拿破崙時代ノ「ポリスガバメント」ヲ再演スルコトガアラウト思フノデス、吾々ハ警察ノ弊  
ヲ嘆ズルコト年久シイノデアル、島田君ハ曩ニ明治二十年以來迫害ヲ被タト云フコト  
ヲ言ハレタガ、私共不肖ナガラ爾來政治上ニ立テ幾多ノ迫害ヲ受ケ、幾多ノ困難ニ  
遭遇シタル點ニ於テハ、敢テ島田君ノ後ヘニ落チヌノデアル、此時分ニ於テ私ハ、「ポリス  
ガバメント」ヲ我日本ニ現出セラレタルニアラザルヤヲ疑フタトモアルノデアル、警視廳  
ト云フモノヲ別立シテ置イテモ、今日マデ中央及府縣ニ於テ隨分其弊ノ極點ニ達シタコ  
トモアルノデアル、然ルニ地方ノ此民政ニ直接ノ關係アル府知事ニ、過大ノ權力ヲ與  
フルコトニナレバ、宛然タル佛蘭西ノ「ポリスガバメント」ヲ我帝國ノ首府ニ演出スルノデ  
アル、此點カラ東京府知事ニ任スノハ絕對ニ私共反對デアアル、何ゾ諸君ハ進シテ東京市  
廳ニ屬セシメナイノデアルカ、市長ナラバ市會カラ選ンダトコロノ純然タル公吏デアル、  
純然タル公吏デアデ、此公吏ハ藩閥若クハ非立憲的、左様ナモノニ頓著ナクシテ諸  
君ノ意思ノ儘ニ選舉スルコトガ出來ルデハナイカ、其東京市民ノ意思ニ依テ、公選ニ  
依テ舉ゲラレタトコロノ市長ニ此權力ヲ移シタト云フナラバ、私ハ諸君ノ議論ニ對シテ  
ハ一遍ノ再考ヲスルノ餘地ナキニアラズト雖モ、之ヲ府知事ニ任セルト云フノ議論ニ對シ  
テハ、私ハドウシテモ支離滅裂ヲ免レヌト思フノデアリマス、(ヒヤ／＼ノ聲起ル)又事  
務ノ統一ヲ缺クト云フコトニ付イテハ、前々カラ皆反對ノ意見ヲ持テ居ル人カラモ十分  
辯明ニナタノデアリマスガ、私ハ警察權ダケガ統一ヲ缺イテ居ルカラト云テ、何モ東京市

民ヲシテ適歸スルトコロヲ知ラシメヌト云フ程ノコトハナイト思フ、國ノ政治、府縣ノ政  
治——府縣ノ仕事ガ皆府縣知事ニ委任シテアルカト云ヘバサウデナイ、或ハ任シタモ  
ノモアリ、任セヌモノモアル、誠ニ區々ニ別レテ居ルノデアル、サレバ是ノ如キコトヲ悉ク皆  
府縣知事ニ任スカト云フニ、行政ノ一部ヲ割イテ任セルアラズンバ、統一ガ出來ナイ  
ト云フコトニナルノデアルガ、私ハ唯警察權ダケヲ捉マヘテ、統一ガ付カヌカラ警視廳ガ  
不必要デアルト云フコトハ、餘リニ警察權ニ重キヲ置キ過ギタル議論デアラウト思フ、ソ  
レカラ獨立ノ官衙トシナケレバナラヌト云フコトガ、理由書ノ結論ニアルノデアル、私ハ  
之ニ對シテ益々獨立ノ官衙トシナケレバナラヌト云フ信念ヲ持テ居ルモノデアル、曩ニ肥  
塚君又ハ島田君ナドモ仰シヤッタガ、獨ニ大隈伯板垣伯ノ聯立内閣ノトキニモ板垣伯ガ  
此意見ヲ持出シタト云フコトハ、板垣伯カラ私ハ聞イテ居ル、ソレハ事實デアル、東京バ  
カリデナイ、大阪ノ警察モ獨立セシメナケレバナラヌト云フコトモ聞イテ居ル、今日モ尙其  
意見ヲ持テ居ルノデアリマス、何トナレバ我國維新以來、此封建ノ制度ハ頽レ、郡縣  
ノ新シキ時代ニ入リマシタケレドモ、封建ノ餘習ハ各所ニ殘テ居ルノデアル、東京ナド  
ニハ殊ニ多ク殘テ居ル、博徒ノ繩張ト云フコトハ、封建ノ餘習デアル、拘摸ノ繩張ト  
云フコトモ、封建ノ餘習デアル、仕事師ノ繩張ト云フコトモ封建ノ餘習デアル、此等ガ警  
察トドノヤウナ關係ヲ持テ居ルカ、私共ノ聞クトコロニ據レバ、拘摸ノ繩張ト稱シテ、拘  
摸ノ親分ガアルノデアル、何カ紛失シタモノヲ出シテ呉レイト云ヘバ、警察ハ其者ニ依  
テ諸君ノ失ウタトコロノモノヲ探シ出スノデアル、或ハ博徒ノ繩張、或ハ仕事師ノ繩張、是  
等ハ皆一個ノ封建ノ餘習ヲ存シテ居ルノデアル、ナゼ存シテ居ルカ、今ノ警察ノ力デハ獨  
立ヲシテ置イテ權力ヲ過大ニ付シテ置イテモ、彼等ニ據ラナケレバ何モ出來ナイト云フ實  
蹟デアル、諸君、本當デスヨ、(ヒヤ／＼ノト呼フ者アリ)若シ獨立ノ官衙ニアラズ、權力  
ヲ縮小シタナラバ、何等ノコトモ出來ナクナル、府知事ニ隸屬スレバ宜シイト云フ江間  
君ノ御説デアアルガ、名前ガ變テ府知事ニ隸屬スレバ宜シイト云フコトナレバ、權力ヲ  
縮小シテ此獨立ノ官衙デナイコトニ致シタナラバドウデアルカ、今日ノ權力ハ過大デア  
ルト云フガ、獨立ノ官衙デアデモ、封建ノ餘習タルトコロノ弊ノ取締ハ容易ニ付カナイノデ  
アル、是以下ニ權力ガ落チタナラバ、蓋シ私ハ見ルニ忍ビザルコトガ起テ來ルト思フ、故  
ニ私ハ獨立ノ官衙ト致シテ置クト云フコトガ宜シイト云フノミナラズ、更ニ進ンデ之  
ヲ十分ニヤラナケレバナラヌト思フノデアル、(「簡單々々」ト呼フ者アリ)簡單ト云フ諸  
君ノ演説ガ長イカラ、私ノモ長イノデアル、(「ヤリ給ヘ」謹聽々々)ト呼フ者アリ)私ハ此  
大體ノ理由書ニ付イテ意見ヲ述ベテ見マスレバ、悉ク諸君ノ警視廳ヲ廢止スルト云フ  
意見ニハ贊成スルコトハ出來ヌノデアリマスノミナラズ、前カラ諸君ノ御演説ニナタトコロ  
ノ御趣意ヲ承デ見ルト、斯ウ云フコトデアル、江間君ハ曰ク、警察ノ改良ヲスルコトハ  
警視廳ノ廢止ト云フコトハ、別問題デアアル、警視廳ヲ廢止ラシテモ、警察ハドウシテモ改  
良ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ、江間君ノ御説デアデ、シテ見ルト是ハ警視廳ノ廢止ハ  
主ニアラズシテ、警察ノ改良ガ主ニナルヤウデアル、又江間君ハ曰ク、名ガ變テ知事ニ隸  
屬シタナラバ宜シイト云フ、若シ果シテサウナラバ、警視廳ト云フ名ガ氣ニ食ハナイカラ廢  
止スベシト云フ、一片ノ感情論ニ過ギヌノデアル、又江間君ハ曰ク、警視廳ハ内閣以外  
ニ責任ハ持タヌモノデアルト云フ、然ラバ府縣知事ニ隸屬スル警察ハ府縣令ニ對シテ何

警責任ヲ持チマス、眞逆持ツトハ仰シヤラナイデアラウ(「ノウ」ト呼フ者アリ)左様  
ナコトハ仰シヤラナイ管デア、肥塚君ハ曰ク、原君ノ言ハ分ニ過ギテ居ル、内閣大臣ガ  
自分ノ在職中、必ズ之ヲヤルカラ安心シロト言ハレタ、其一言ハ分ニ過ギテ居ルト言ハ  
レタ、ツレハ何故デアアルカト云フ、即チ肥塚君ノ豫言ニ依ルト、現内閣ノ壽命ハ先ヅ  
二年デアラウト云フデア、若シ肥塚君ノ豫言ノ如クニ現内閣ノ壽命ガ二年シカ無イト  
シタラバ、此次ノ内閣ハ誰ガ取ルカ、眞逆ニ番閣ニ逆戻リラスルト云フヤウナ詰ラナイ  
考ヲ持テ御居デニナルマイ、此次ニ御請取ニナル内閣ハ、必ズ肥塚君ガ本大臣ト言ハ  
レルトコロノ内閣デアラウト思フデア、故ニ今日ノ西園寺内閣ガ不幸ニシテ、短  
命ニシテ倒レ、ト雖モ、次ニ起ルトコロノ内閣ハ、又政黨内閣デア、政黨内閣ノ壽命  
ハ決シテ二年三年ニアラズ、二百年モ、三百年モ、五百年モ、我帝國ノアラン限、我憲法  
ノ存セシ限リ、此政黨内閣ハ存立セバナラヌモノト信ズルノ、肥塚君ハ二年デア倒レル  
カラ、其後ノ内閣ハドウ云フモ取ルヤラウト云フハ、如何ニ政黨内閣ニ御不熱心ナ  
方デアアルカト、私ハ竊ニ嘆息スルデアリマス、肥塚君曰ク、此九月五日ノ騷動ノ  
如キハ、誰ガ號令ヲシタデア、警視總監ニアラズ、内務大臣ニ非ズ、總理大臣ニ  
非ズ、誰ガシタノカ、即チ制度ガ號令ヲシタデア、制度ガ號令シタト云ヘバ、其責任  
ノ所在ハ何所ヘ往クデア、警視總監ガシタラバ、警視總監ノ責任、内務大臣ガ  
シタラバ内務大臣ノ責任、總理大臣ガシタラバ總理大臣ノ責任デア、ソレデハナイ  
警視廳ト云フ制度ガ然ラシメタモノデアルト言フナラバ、肥塚君ハ前内閣ノタメニ責任  
解除論者デアルト言ハナケレバナラス、我ハ制度ガランドニ向テ責任ノ所在ヲ持タサ  
ウト云フモノデア、確カニ政治上ノ責任ハ、其人ニ依テ問ハナケレバナラヌト思ヒマス、島  
田君ノ御演說ハ、前ニ申述ベシト通、長イ間ノ歴史ヲ吾ニ講義ヲナサデ下サツタ  
デア、後進ト致シテハ深ク島田君ニ感謝ヲ致シマスケレドモ、島田君ハ其演說ノ冒  
頭ニ於テ、原君——内務大臣ハ改革ヲ十分ニスルカラ安心シロト云フコトデアツケレ  
ドモ、ドウ云フ改革ヲスルノカ、安心ガ出來ナイト御自身デ仰ヤデ置キナガラ、語ッテ審  
カナラズ、自分ガドウヤウナ改良ヲスルト云フ内容ヲ茲ニ具陳セラレナカッタノハ、竊ニ私  
ノ嘆ズルトコロデアリマス、何故原内務大臣ニ向テ其事ヲ責メラル、ナラバ、自分ハ提出  
者タラザルモ、賛成者ノ一人トシテ具體的ニ此改正ノ案ヲ此所ヘ出シテ、サウシテ吾  
ニ聽カセナイデアリマス、(「ヨセ」ト呼フ者アリ)ヨストヨサヌトハ、我輩ノ權能ニ在ルノデ  
アデ、君達木葉等ノ言ニ依テヨストヨサヌトハ、故ニ私ハ自分ノ言フコトダケ言ツタラ止  
メルデアリマス、長ク饒舌ロト言デモ饒舌リハシマセヌ、此問題ハ委員會デモ——  
請願委員會デモ、隨分諸君ガ口ヲ酸クシ、耳ニ聒抵ノ出來ル程言ツタリ聽イタリシタコ  
トデア、此問題ハ是ダケ討論ニナツタナラバ、是ダケデモ警視廳ハ禍ナル哉——否  
サ警視廳ノ廢止案ガ禍ナル哉、是ノ如キ廢止ノ建議案ナドト云フモノヲ長イコト此議場  
ニ擧ゲシメテ置タト云フコトハ、吾々議員ノ面目ニ關スル次第デアリマス、此邊デ即  
決テ否決スルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、是デ止メマス

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ勸諭ニ定規ノ賛成ガアリマス

(「アリマス」賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス、ソレデハ討論終結ニ御同意ノ  
御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數デアリマス、討論ハ終結致シマシタ

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採決ノ方法ニ付テ御話ヲ致シマス、野上嘉平君外諸君ヨ  
リ成規ノ賛成ヲ以テ、記名投票ヲ以テ、本案ヲ採決セラレンコトヲ請求ガゴザイマシタ、  
ソレデ衆議規則ノ、第二百二十七條ニ據リマシテ、記名投票ヲ以テ採決スルトニ致シマス  
尙諸君ニ念ノタメニ申上ゲマス、此警視廳廢止案ニ賛成ノ御方ハ白ノ札ヲ御持參、  
警視廳廢止ニ反對ノ御方ハ青ノ札ヲ御持參ニアルヤウニ願ヒマス——閉鎖——點呼

○議長(杉田定一君) 投票漏レハアリマセヌカ——投票漏レハアリマセヌカ——閉鎖

——開匣

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

(林田書記官朗讀)

出席議員 二百七十五

可トスル者 百

否トスル者 百七十五

(參照)

(本案賛成者氏名)

|          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 松本 長平君   | 安念次左衛門君 | 安島 重三郎君 | 佐藤 伊助君  |
| 大熊 三之助君  | 關野 善次郎君 | 伊夫伎 資躬君 | 合田 福太郎君 |
| 井上 精一郎君  | 關 春 茂君  | 朝倉 鐵藏君  | 井手武右衛門君 |
| 星野 仙藏君   | 小田 文行君  | 川島 瀧藏君  | 望月 長夫君  |
| 村松 龜一郎君  | 齋藤 勘七君  | 久保田與四郎君 | 市田 兵七君  |
| 井上 要君    | 山口 達太郎君 | 河井 重藏君  | 愛澤 寧堅君  |
| 鈴木 久次郎君  | 石田 仁太郎君 | 佐々木 正藏君 | 高橋 金治君  |
| 飯島 省三郎君  | 澤 來 太郎君 | 鞍谷 清慎君  | 木村 半兵衛君 |
| 梅野 初實君   | 野上 嘉平君  | 角田 眞平君  | 關口 安太郎君 |
| 平島 松尾君   | 須見 千次郎君 | 田村 惟昌君  | 首藤 陸三君  |
| 西村 丹治郎君  | 江藤 新作君  | 大津 淳一郎君 | 坂口 仁一郎君 |
| 加藤 政之助君  | 柴 四 朗君  | 堀田 連太郎君 | 守屋 此助君  |
| 波多野 傳三郎君 | 中西 新作君  | 肥 塚 龍君  | 神崎 東藏君  |
| 大石 熊吉君   | 天野 重平君  | 星 松三郎君  | 入江 武一郎君 |
| 竹村 眞貞君   | 林 謙 三君  | 西村 眞太郎君 | 野木 善三郎君 |
| 田寺 敬信君   | 安 田 勳君  | 菅澤 重雄君  | 清水 隆德君  |
| 東尾 平太郎君  | 藤崎 朋之君  | 石田 貫之助君 | 米田 武八郎君 |

江間 俊一君 早速 整爾君 小林 仲次君 松井 源内君  
板倉 中君 大竹 貫一君 神藤 才一君 富島 暢夫君  
濱田 國松君 高橋 勝七君 島田 三郎君 小川 平吉君  
加瀬 禮逸君 荒谷 桂吉君 松原 九郎君 齋藤 宇一郎君  
青地 雄太郎君 山田 平太郎君 花井 卓藏君 淺野 陽吉君  
佐藤 庫喜君 國谷 亨君 尾崎 行雄君 近江谷 榮次君  
山口 熊野君 箕浦 勝人君 米田 實君 武富 時敏君  
福井 三郎君 森田 卓爾君 乾 奈良吉君 犬養 毅君

〔本案反對者氏名〕

尾見 濱五郎君 駒林 廣運君 是永 歲太郎君 矢島 中君  
關根 柳介君 高梨 哲四郎君 田中 喜太郎君 岡田 治衛武君  
矢島 浦太郎君 嶺山 時善君 小河 源一君 野尻 邦基君  
安達 謙藏君 鈴木 藤三郎君 森 秀次君 橋本 久太郎君  
湯山 壽介君 久保 伊一郎君 松家 德二君 坂元 英俊君  
井上 與一郎君 星野 長太郎君 谷澤 龍藏君 宮部 襄君  
武市 庫太郎君 中村 清一郎君 淺羽 靖君 持田 若佐君  
横堀 三子君 城 重雄君 三輪 猶作君 雄倉 茂次郎君  
武藤 金吉君 藻寄 鉄五郎君 東 一左右君 栗原 宣太郎君  
岩本 晴之君 關 信之介君 大淵 龍太郎君 永見 寛二君  
寺井 純司君 南條 吉左衛門君 川真 田德三郎君 福留 清四郎君  
藤井 牧太君 松本 大吉君 荒川 五郎君 松田 吉三郎君  
横山 寅一郎君 石塚 重平君 向坂 弘君 渡邊 敬昌君  
田中 定吉君 初木 卿太郎君 山口 小一君 美禰 龍彦君  
柚木 慶二君 山本 幸彦君 鈴木 惣兵衛君 島海 哲四郎君  
齋藤 珪次君 佐々 友房君 瀧口 吉真君 遠山 正和君  
七里 清介君 丹後 直平君 澤田 佐助君 大戸 復三郎君  
兼松 齋君 荻野 芳藏君 石井 信君 奥村 善右衛門君  
横田 虎彦君 瀨下 秀夫君 宮崎 榮治君 久保 彦太郎君  
柳田 藤吉君 遠藤 良吉君 米澤 紋三郎君 天野 藤三君  
大野 久次君 三浦 盛徳君 元田 肇君 上野 彌一郎君  
遊田 研吉君 蘆田 鹿之助君 征矢 野半彌君 鳥山 敬二郎君  
福島 美之助君 神戶 松之輔君 水暮 武太夫君 濱名 信平君  
丸山 嵯峨一郎君 林 小一郎君 阿部 德三郎君 武満 義雄君  
三輪 傳七君 景山 甚右衛門君 吉植 庄一郎君 古賀 庸藏君  
小澤 愛次郎君 西村 專太郎君 江藤 哲藏君 廣瀬 久政君

中倉 万次郎君 高橋 安爾君 村野 常右衛門君 池松 豐記君  
福岡 精一君 中西 六三郎君 栗原 亮一君 牧野 元君  
松田 正久君 古井 由之君 菅原 傳君 新井 章吾君  
横井 甚四郎君 改野 耕三君 佐藤 虎次郎君 中西 光三郎君  
奥野 市次郎君 青柳 信五郎君 長 晴登君 山本 佛二郎君  
後藤 文一郎君 中村 雄藏君 河原 林義雄君 毛里 保太郎君  
長谷場 純孝君 山崎 真純君 内山 吉太君 山森 隆君  
中林 友信君 粕谷 義三君 竹越 與三郎君 島津 良知君  
安藤 新太郎君 江原 素六君 築山 和一君 恆松 隆慶君  
野田 卯太郎君 森本 駿君 松浦 五兵衛君 池田 惟貞君  
立川 雲平君 植場 平君 上埜 安太郎君 栗塚 省吾君  
多田 作兵衛君 鈴木 友治郎君 宮古 啓三郎君 工藤 善助君  
前島 元助君 宮本 嘉樂君 長谷川 豐吉君 由布 惟義君  
根本 正君 森 茂生君 神前 修三君 川原 茂輔君  
植木 元太郎君 村松 愛藏君 林 小參君 石川 清君  
漆 昌巖君 永島 龜代司君 北村 左吉君 原 敬君  
内藤 魯一君 西山 彰君 藤 金作君

關スル建議案

第八 精神病學科設置ニ關スル建議案(山根正次君外一名提出)

○山根正次君 私ハ此案ハ次會ニ願ヒタイト思ヒマス

○議長(杉田定一君) 本案ハ提出者ヨリ之ヲ次會ニ延期ヲシタイト云フコトヲ申出  
デマシタガ、御異議ナシアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○竹越與三郎君 本員モ次キノ請願委員長ノ報告モ次會ニ廻シテ貰ヒタイ

〔賛成々々ノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 請願委員長カラ、第十、第十一ノ日程モ、次會ニ延期ヲ致  
シタイト云フコトヲ申出デマシタ、御異議ナシアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト思ヒマス、御諮リ申スコトガアリマス、山本繁  
造君病氣ノタメ、本日ヨリ一週間ノ請願願ガ出テ居リマス、許シテ御異議ハゴザイマセ  
ヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、報告ガアリマス

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

利根川高水工事急施ニ關スル建議案

提出者 吉植庄一郎君 齋藤 珪次君 木暮 武太夫君

宮本 嘉樂君 飯島省三郎君 新井 章吾君

宮古啓三郎君

○議長(杉田定一君) 委員ノ氏名及次會ノ日程ハ、追テ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後五時十六分散會